

シラバス（授業計画）

（ 昼 間 部 ）

2 0 2 6



名古屋文化学園保育専門学校

目 次

【昼間部】

社会学	1	健康指導法	33	子どもの保健	65
日本語表現	2	人間関係指導法	34	子どもの食と栄養	66
英会話Ⅰ	3	人間関係指導法（午前）	35	子どもの食と栄養（午前）	67
英会話Ⅱ	4	環境指導法	36	乳児保育Ⅰ	68
英会話Ⅲ	5	言葉指導法	37	乳児保育Ⅰ（午前）	69
英検対策Ⅰ	6	表現（音楽）指導法	38	乳児保育Ⅱ	70
英検対策Ⅱ	7	表現（造形）指導法	39	子どもの健康と安全	71
多文化共生Ⅰ	8	教育原理	40	障がい児保育	72
多文化共生Ⅱ	9	教育原理（午前）	41	社会的養護Ⅱ	73
多文化共生Ⅲ	10	教職概論	42	児童文化	74
多文化共生Ⅳ	11	教育心理学	43	子育て支援	75
保育英語	12	幼児の特別支援教育	44	音楽基礎	76
異文化コミュニケーション	13	教育課程総論	45	ピアノ実技Ⅰ	77
生物学	14	教育方法論	46	ピアノ実技Ⅱ	78
自然科学概論	15	教育相談	47	基礎造形	79
海外フィールドワーク	16	教育相談（午前）	48	あそびと造形	80
就職実務	17	基礎実習	49	あそびと造形（午前）	81
日本国憲法	18	教育実習Ⅰ	50	あそびと運動Ⅰ	82
情報機器演習	19	教育実習事前事後指導Ⅰ	51	あそびと運動Ⅱ	83
一般英語	20	教育実習Ⅱ	52	こどもと音楽Ⅰ	84
体育講義	21	教育実習事前事後指導Ⅱ	53	こどもと音楽Ⅰ（午前）	85
体育実技	22	教育実習事前事後指導Ⅱ（午前）	54	こどもと音楽Ⅱ	86
野外活動	23	教職実践演習	55	こどもと音楽Ⅱ（午前）	87
こどもと健康	24	保育原理Ⅰ	56	こどもと音楽Ⅲ	88
こどもと人間関係	25	保育原理Ⅱ	57	表現技術演習（身体）Ⅰ	89
こどもと人間関係（午前）	26	子ども家庭福祉	58	保育実習Ⅰ（児童福祉施設等）	90
こどもと環境	27	社会福祉	59	保育実習指導Ⅰ（児童福祉施設等）	91
こどもと言葉	28	子ども家庭支援論	60	保育実習Ⅰ（保育所等）	92
こどもと言葉（午前）	29	子ども家庭支援論（午前）	61	保育実習指導Ⅰ（保育所等）	93
こどもと表現	30	社会的養護Ⅰ	62	保育実習Ⅱ	94
保育指導法総論	31	子ども家庭支援の心理学Ⅰ	63	保育実習指導Ⅱ	95
保育指導法総論（午前）	32	子ども家庭支援の心理学Ⅱ	64	保育実践演習	96

保 育 科

昼 間 部

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	社会学			担当教員	西村 博史		
全体目標	社会と個人の密接なかかわりを念頭に置きながら、学生自身が保育者としてこれからかかわる子ども・家庭をとりまく社会問題を現代的な文脈で理解ができるようになること						
一般目標	本学で学ぶ教育・保育・子育てに関するスキルや方法論などを、俯瞰して再検討・再解釈ができる						
到達目標	保育現場で生じる現象や諸問題について、これまでの教育・保育・子育てにおける「当たり前」を問い直しながら考察し実践的対処ができるようになる。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	社会学の概要と本講義の意義について説明する			事前学習 事後学習	シラバスを読んでおく 講義内容について復習する	
	②	保育士の専門性とは			事前学習 事後学習	保育士の専門性について考えておく 講義内容について復習する	
	③	児童精神科の現状			事前学習 事後学習	関連する報道について調べておく 講義内容について復習する	
	④	保育現場をとりまくジェンダーの諸課題			事前学習 事後学習	関連する報道について調べておく 講義内容について復習する	
	⑤	能力主義をかんがえる① できることはよい、か			事前学習 事後学習	関連する項目について整理しておく 講義内容について復習する	
	⑥	能力主義をかんがえる② “自己責任”は本当か？			事前学習 事後学習	関連する項目について調べておく 講義内容について復習する	
	⑦	演習① なぜいじめ・差別はなくなるか			事前学習 事後学習	演習内容について考えをまとめる 講義内容について復習する	
	⑧	子どもの意思決定支援はどのようにして可能か			事前学習 事後学習	関連する項目について調べておく 講義内容について復習する	
	⑨	児童虐待についての社会学的視点			事前学習 事後学習	関連する項目について調べておく 講義内容について復習する	
	⑩	虐待からのリカバリー			事前学習 事後学習	関連する項目について調べておく 講義内容について復習する	
	⑪	家族について			事前学習 事後学習	関連する項目について調べておく 講義内容について復習する	
	⑫	女性・子どもの貧困			事前学習 事後学習	関連する報道について調べておく 講義内容について復習する	
	⑬	自由とは何か(あそびと社会)			事前学習 事後学習	関連する項目について考えておく 講義内容について復習する	
	⑭	演習② 社会的課題を前にして、保育士にできることは			事前学習 事後学習	演習内容について考えをまとめる 講義内容について復習する	
⑮	まとめ 筆記試験			事前学習 事後学習	これまでの講義内容を整理しておく これまでの学習を振り返る		
学習上の留意点	1 筆記用具を持参し、自分の講義ノートを作成すること 2 講義や演習に積極的かつ受容的態度で参加すること 3 関連する報道に関心を持ち、調べてみること 4 講義内で行うワークに主体的にとりくむこと						
成績評価の方法	①定期試験 70% ②平常点 30% (リアクションペーパーや演習への参加態度)、あからさまな居眠り、スマホいじりなど受講態度に問題がある場合は、減点評価をする。			教科書	適宜資料配布する		
				参考資料	立岩真也 私的所有論 勁草書房 1997		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位	
科目名	日本語表現			担当教員	倉兼 清子	小学校教員として実務経験有		
全体目標	幼児がことばを学び、ことばで考え、表現する力をつける重要な環境の一部としての自覚を持ち、「聞く、話す、読む、書く」力の大切さを再認識するとともに、豊かな日本語表現ができる力をつける。							
一般目標	日本語の基礎的・基本的事項についての知識・理解をいっそう深める。言語表現の実践的な諸能力を高める。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介・スピーチ・朗読・小論文発表などを通して、考えを伝え合う力をつける。 四季の変化の中での暮らし・文化に培われてきた豊かな日本語にふれ、日本語表現に活かす意欲を持つ。 自分の幼時の言葉に関するエピソードを知るとともに、幼児の言語生活に関心を持つ。 							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	授業計画	学習上の留意事項	スピーチの目的と方法を知る	事前学習	シラバスから学習内容を知る		
			教科書活用・資料の整理について	自己紹介	事後学習	教科書を概観する		
	②	小論文を書く	(1) 共通テーマ「幼児の育ちと言葉」	幼児の言葉について話し合う	事前学習	幼児の言葉のエピソードを聞く		
					事後学習	教科書「小論文の書き方」予習		
	③	小論文を書く	(2) 各自のテーマを発表する	構成メモを作る	事前学習	各自のテーマを考える		
					事後学習	資料を検討する		
	④	小論文を書く	(3) 構成メモをもとに記述する	読み合い校正する	事前学習	当て字・差別用語など調べる		
					事後学習	諸記録等に段落を意識して書く		
	⑤	文字を正しく書く	字源を知る[漢字・平仮名・片仮名]	漢語・和語・外来語の表記を理解する	事前学習	自分の姓名の由来を調べる		
					事後学習	興味を持った文字を調べる		
	⑥	豊かな会話表現	(1) 四季に関することばを会話に生かす	二十四節気・七十二候・5節句を知る	事前学習	季節感あることばを探す		
					事後学習	季節感と表現に関心を持つ		
	⑦	豊かな会話表現	(2) 敬語を使う	時・場・相手に応じた言葉遣いを考える	具体例で演習	事前学習	敬語に関して迷うことを振り返る	
					事後学習	相手意識を持って話す		
⑧	豊かな会話表現	(3) 敬語に関しての疑問を話し合う	敬語の練習問題を解く	事前学習	敬語を意識した会話に留意する			
				事後学習	敬語を使った会話を心掛ける			
⑨	豊かな会話表現	(4) 成語の成り立ちと意味・活用を考える	成語を使って短文を作り発表し合う	事前学習	好きな成語を見つける			
				事後学習	会話に成語を活かす			
⑩	文章表現	(1) 手紙(礼状)はがきの書き方を知る	用件が伝わる表現を考える	事前学習	手紙を出す相手の住所を調べる			
				事後学習	実習の礼状の下書きをする			
⑪	文章表現	(2) 実習の礼状の下書きを添削しあう	封書・返信はがきなどのマナーを知る	事前学習	季節にあった時候の挨拶を考える			
				事後学習	機会を捉え学習したことを実践			
⑫	文章表現	(3) 子どもの詩・子どもについての論評等から	子どもの表現と心について考える	事前学習	幼児の「つぶやき」に留意する			
				事後学習	幼児のことばから心にふれる			
⑬	スピーチ	(1) テーマ「自分を見つめて」原稿を書く	成長と展望	事前学習	自分の内面を見つめる			
				事後学習	原稿の校正をする			
⑭	スピーチ	(2) スピーチ	既習事項について質疑	事前学習	スピーチ練習			
				事後学習	学習内容の確認・復習			
⑮	試験	(筆記・意見文) 講評		事前学習	総合演習			
				事後学習	資料整理			
学習上の留意点	<p>学びあう時間を充実させ、幼児の育ちに関わる自信と誇りが持てるように、ことばで表現する力を磨こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> よく聴き、よく考え、はっきり話す。 資料をしっかりと読む。 文字を丁寧に書く。 質問する。 							
成績評価の方法	筆記試験 60%			受講態度 20%	教科書 保育者になるための国語表現 田上貞一郎著 萌文書林			
	作品(小論文・スピーチ原稿) 20%			20%				参考資料 「言葉の知識百科」三省堂 「子どもの感性を育む」NHK

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位	
科目名	英会話 I			担当教員	米田 充			
全体目標	英会話の題材の理解と、幼保英検の確実な合格のための語句・表現・会話の学習							
一般目標	英会話のスキットの語句と表現を覚える 幼児に対する独特な英語に親しむ							
到達目標	テキストの内容に沿い幼保英検に必要な英会話力を身に付ける							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	Chapter1 Scene1			事前学習	当該Sceneの発音練習		
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	②	Chapter1 Scene2,3			事前学習	当該Sceneの発音練習		
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	③	Chapter2 Scene1,2			事前学習	当該Sceneの発音練習		
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	④	Chapter2 Scene3,4			事前学習	当該Sceneの発音練習		
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	⑤	Chapter2 Scene5			事前学習	当該Sceneの発音練習		
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	⑥	Chapter3 Scene1,2			事前学習	当該Sceneの発音練習		
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	⑦	Chapter3 Scene3,4			事前学習	当該Sceneの発音練習		
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
⑧	Chapter4 Scene1,2			事前学習	当該Sceneの発音練習			
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑨	Chapter4 Scene3,4			事前学習	当該Sceneの発音練習			
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑩	Chapter5 Scene1,2			事前学習	当該Sceneの発音練習			
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑪	Chapter5 Scene3,4			事前学習	当該Sceneの発音練習			
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑫	Chapter5 Scene5,6			事前学習	当該Sceneの発音練習			
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑬	Chapter5 Scene7,8			事前学習	当該Sceneの発音練習			
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑭	総合			事前学習	既習範囲の発音練習			
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑮	まとめと試験			事前学習	試験対策			
				事後学習	総復習			
学習上の留意点	英会話授業の前に与えられた音源を使って何度も発音練習をしておくことを求めます。 関連語句、表現の練習を欠かさないように努めてください。							
成績評価の方法	最終試験 リスニングテスト 平常点(授業態度、授業参加状況)で60点 上記テスト40点 で成績判定			教科書	オリジナル教材			
				参考資料	幼児教育・保育英語検定協会『幼保英検4級テキスト』ブックフォレ			

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	英会話Ⅱ			担当教員	米田 充		
全体目標	英会話の題材の理解と、幼保英検の確実な合格のための語句・表現・会話の学習						
一般目標	英会話のスキットの語句と表現を覚える 幼児に対する独特な英語に親しむ						
到達目標	テキストの内容に沿い幼保英検に必要な英会話力を身に付ける						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① Chapter6 Scene1				事前学習	当該Sceneの発音練習	
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	② Chapter6 Scene2				事前学習	当該Sceneの発音練習	
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	③ Chapter6 Scene3				事前学習	当該Sceneの発音練習	
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	④ Chapter7 Scene1				事前学習	当該Sceneの発音練習	
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	⑤ Chapter7 Scene2				事前学習	当該Sceneの発音練習	
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	⑥ Chapter7 Scene3,4				事前学習	当該Sceneの発音練習	
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	⑦ Chapter8 Scene1,2				事前学習	当該Sceneの発音練習	
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
⑧ Chapter8 Scene3,4				事前学習	当該Sceneの発音練習		
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
⑨ Chapter8 Scene5				事前学習	当該Sceneの発音練習		
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
⑩ Chapter9 Scene1,2				事前学習	当該Sceneの発音練習		
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
⑪ Chapter9 Scene3,4				事前学習	当該Sceneの発音練習		
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
⑫ Chapter10 Scene1,2				事前学習	当該Sceneの発音練習		
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
⑬ Chapter10 Scene3				事前学習	当該Sceneの発音練習		
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
⑭ 総合				事前学習	既習範囲の発音練習		
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
⑮ まとめと試験				事前学習	試験対策		
				事後学習	総復習		
学習上の留意点	英会話授業の前に与えられた音源を使って何度も発音練習をしておくことを求めます。 関連語句、表現の練習を欠かさないように努めてください。						
成績評価の方法	最終試験 リスニングテスト 平常点(授業態度、授業参加状況)で60点 上記テスト40点 で成績判定			教科書	オリジナル教材		
				参考資料	幼児教育・保育英語検定協会『幼保英検4級テキスト』ブックフォレ		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位	
科目名	英会話Ⅲ			担当教員	Anthony Agustin			
全体目標	幼児教育現場で使う英語表現を身につける							
一般目標	テキストのスキットの表現を練習し、活用できるようにする テキストのスキットの拡張表現を覚える							
到達目標	決まり文句を覚えることから、自己表現を英語でできるようにする							
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	Chapter1 Scene1			事前学習	当該Sceneの表現練習		
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	②	Chapter1 Scene2,3			事前学習	当該Sceneの表現練習		
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	③	Chapter1 Scene4,5,6			事前学習	当該Sceneの表現練習		
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	④	Chapter2 Scene1,2			事前学習	当該Sceneの表現練習		
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	⑤	Chapter2 Scene4,6			事前学習	当該Sceneの表現練習		
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	⑥	Chapter3 Scene1,2			事前学習	当該Sceneの表現練習		
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	⑦	Chapter4 Scene1,2			事前学習	当該Sceneの表現練習		
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
⑧	Chapter5 Scene1,2			事前学習	当該Sceneの表現練習			
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑨	Chapter5 Scene8,9			事前学習	当該Sceneの表現練習			
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑩	Chapter6 Scene1,2			事前学習	当該Sceneの表現練習			
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑪	Chapter6 Scene6,7			事前学習	当該Sceneの表現練習			
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑫	Chapter7 Scene1,2			事前学習	当該Sceneの表現練習			
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑬	Review			事前学習	当該Sceneの表現練習			
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑭	Review			事前学習	当該Sceneの表現練習			
				事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑮	まとめと試験			事前学習	試験対策			
				事後学習	授業の総復習			
学習上の留意点	毎回、スキット内容をクラウドの音源を利用して練習しておく。 常に声を出して発音練習をしておくことを求めます。							
成績評価の方法	試験は聞き取りテスト 平常点(授業態度、授業参加状況)で60点 上記テスト40点 で成績判定			教科書	プリント教材			
				参考資料	幼児教育・保育英語検定協会『幼保英検3級テキスト』ブックフォレ			

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	英検対策 I			担当教員	米田 充		
全体目標	英会話の題材の理解と、幼保英検の確実な合格のための語句・表現・文法の学習						
一般目標	英会話のスキットの語句と表現を覚える 品詞による用途の違いを覚え、英検の対策に利用する 幼児に対する独特な英語に親しむ						
到達目標	語句・表現についてはQuizletを利用し、普段から暗記練習をできるようにする 基本的な文法問題集で語句の用法を理解する						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	Chapter1 Scene1 文法 lesson1	事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	②	Chapter1 Scene2,3 文法 lesson2	事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	③	Chapter2 Scene1,2 文法 lesson3	事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	④	Chapter2 Scene3,4 文法 lesson4	事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑤	Chapter2 Scene5 文法 lesson5	事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑥	Chapter3 Scene1,2 文法 lesson6	事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑦	Chapter3 Scene3,4 文法 lesson7	事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑧	Chapter4 Scene1,2 文法 lesson8	事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑨	Chapter4 Scene3,4 文法 lesson9	事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑩	Chapter5 Scene1,2 文法 lesson10	事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑪	Chapter5 Scene3,4 文法 lesson11	事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑫	Chapter5 Scene5,6 文法 lesson12	事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑬	Chapter5 Scene7,8 文法 lesson13	事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑭	総合 文法 lesson14	事前学習 事後学習	既習範囲の発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
⑮	まとめと試験	事前学習 事後学習	試験対策 授業の総復習				
学習上の留意点	スキットの解説は英会話の事前準備として行います。英会話授業の前に与えられた音源を使って何度も発音練習をしておくことを求めます。また、英検の対策として出題傾向についても言及します。 文法では、英検の対策が主体です。Quizletを十分活用し、関連語句、表現の練習を欠かさないように努めてください。						
成績評価の方法	Chapter毎のミニテスト20点 試験は英検の模試形式20点			教科書	オリジナル教材 スーパー英語 Vol.2		
	平常点(授業態度、授業参加状況)で60点 上記テスト40点 で成績判定			参考資料	幼児教育・保育英語検定協会『幼保英検4級テキスト』ブックフォレ		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	英検対策Ⅱ			担当教員	米田 充		
全体目標	英会話の題材の理解と、幼保英検の確実な合格のための語句・表現・文法の学習						
一般目標	英会話のスキットの語句と表現を覚える 品詞による用途の違いを覚え、英検の対策に利用する 幼児に対する独特な英語に親しむ						
到達目標	語句・表現についてはQuizletを利用し、普段から暗記練習をできるようにする 基本的な文法問題集で語句の用法を理解する						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	Chapter6 Scene1 総合1,2,3	事前学習	当該Sceneの発音練習	事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	②	Chapter6 Scene2 文法 lesson15	事前学習	当該Sceneの発音練習	事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	③	Chapter6 Scene3 文法 lesson16	事前学習	当該Sceneの発音練習	事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	④	Chapter7 Scene1 文法 lesson17	事前学習	当該Sceneの発音練習	事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	⑤	Chapter7 Scene2 文法 lesson18	事前学習	当該Sceneの発音練習	事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	⑥	Chapter7 Scene3,4 文法 lesson19	事前学習	当該Sceneの発音練習	事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	⑦	Chapter8 Scene1,2 文法 lesson20	事前学習	当該Sceneの発音練習	事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	⑧	Chapter8 Scene3,4 文法 lesson21	事前学習	当該Sceneの発音練習	事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	⑨	Chapter8 Scene5 文法 lesson29	事前学習	当該Sceneの発音練習	事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	⑩	Chapter9 Scene1,2 文法 lesson30	事前学習	当該Sceneの発音練習	事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	⑪	Chapter9 Scene3,4 文法 lesson31	事前学習	当該Sceneの発音練習	事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	⑫	Chapter10 Scene1,2 文法 lesson32	事前学習	当該Sceneの発音練習	事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	⑬	Chapter10 Scene3 文法 lesson33	事前学習	当該Sceneの発音練習	事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
	⑭	幼保英検 総合4,5,7	事前学習	既習範囲の発音練習	事後学習	Quizletで単語・表現の練習	
⑮	まとめと試験	事前学習	試験対策	事後学習	授業の総復習		
学習上の留意点	スキットの解説は英会話の事前準備として行います。英会話授業の前に与えられた音源を使って何度も発音練習をしておくことを求めます。また、英検の対策として出題傾向についても言及します。 文法では、英検の対策が主体です。Quizletを十分活用し、関連語句、表現の練習を欠かさないように努めてください。						
成績評価の方法	Chapter毎のミニテスト20点 試験は英検の模試形式20点			教科書	オリジナル教材 スーパー英語 Vol.2		
	平常点(授業態度、授業参加状況)で60点 上記テスト40点 で成績判定			参考資料	幼児教育・保育英語検定協会『幼保英検4級テキスト』ブックフォレ		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	多文化共生 I			担当教員	小野 克志		
全体目標	国籍、地域、民族、宗教や性別などの違いだけでなく、異なる環境で生育する子どもの背景、価値観や考え方を理解し、それらを受け入れながら、豊かな保育、教育の実践を目指していく。						
一般目標	海外の保育、幼児教育、子育て支援の実際を学び、日本との共通点、違い、多様性を理解し、日本の子どもを取り巻く環境の目指すべき方向性について、自らの視点、考え方を活かし実践していくことを考える。						
到達目標	多様な価値が混在する社会で、保育者としての立場を意識しながら、自分と異なった背景、考え方、生活スタイルを持つ他者との共存、理解を進めていけるよう学ぶ。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 多文化共生保育・教育とは	事前学習	シラバス下読み	事後学習	小テストに向けての復習		
	② 外国につながる子どもの保育・教育・子育て支援	事前学習	シラバス下読み	事後学習	小テストに向けての復習		
	③ 日本の多文化政策の事例 ～入管政策と外国人労働者の受け入れについて～	事前学習	シラバス下読み	事後学習	小テストに向けての復習		
	④ 日本の民族的マイノリティについて	事前学習	シラバス下読み	事後学習	小テストに向けての復習		
	⑤ 海外の保育・幼児教育のオーバービュー	事前学習	シラバス下読み	事後学習	小テストに向けての復習		
	⑥ フィンランドの保育・子育て支援	事前学習	シラバス下読み	事後学習	小テストに向けての復習		
	⑦ イタリアの保育・幼児教育(レッジョ・アプローチなど)	事前学習	シラバス下読み	事後学習	小テストに向けての復習		
	⑧ オーストラリアの日本人保育者について	事前学習	シラバス下読み	事後学習	小テストに向けての復習		
	⑨ ニュージーランドの保育・幼児教育①(テ・ファリキ)	事前学習	シラバス下読み	事後学習	小テストに向けての復習		
	⑩ ニュージーランドの保育・幼児教育②(ラーニングストーリー)	事前学習	シラバス下読み	事後学習	小テストに向けての復習		
	⑪ ニュージーランドの日本人保育者との交流	事前学習	シラバス下読み	事後学習	小テストに向けての復習		
	⑫ 外国籍の園児がいる保育施設でのフィールドワーク	事前学習	シラバス下読み	事後学習	小テストに向けての復習		
	⑬ オランダの教育・保育 (イエナプランなど)	事前学習	シラバス下読み	事後学習	小テストに向けての復習		
	⑭ 子どもの発達、レジリエンス(諸外国の事例から)	事前学習	シラバス下読み	事後学習	まとめのテストに向けての復習		
⑮ まとめ、試験	事前学習	シラバス下読み	事後学習	授業総復習			
学習上の留意点	日頃から新聞やニュースの報道に触れて、世界で起こっていること、海外の文化などを知り、自らの興味や視野を広げておくこと。						
成績評価の方法	授業の参加状況や受講態度 50%			教科書	なし (必要に応じて、プリントを配布する)		
	小テスト 25%				参考資料	『テ・ファリキ』 NZ Early childhood curriculum 『世界の保育の質評価』 明石書店 『なぜ世界の幼児教育・保育を学ぶのか』 ミネルヴァ書房	
まとめテスト 25%							

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	多文化共生Ⅱ			担当教員	小野 克志		
全体目標	海外における保育・幼児教育の潮流、各国が行う少子化対策、こどもの権利、多文化共生社会における多様性の尊重などについて主体的に学び、保育実践に活かす知識、技術を獲得することを目指す。						
一般目標	海外留学を経験し、異なる社会、文化に対する意識を高める。自ら積極的に情報を収集し、グループワークなどを通して、他者と協働して物事を遂行する力を身に付ける。						
到達目標	留学生活を経験し、幅広い視野と知識、教養、専門性を得て、異文化適応力、忍耐力、そして自ら課題を見出し解決する力、論理的思考などを身に付けていくことを目指す。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① イントロダクション				事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	授業内配布資料の確認	
	② オーストラリアの保育・幼児教育①(基本情報)				事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	授業内配布資料の確認	
	③ オーストラリアの保育・幼児教育②(国の質枠組み The NQF)				事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	授業内配布資料の確認	
	④ 映像「ゴールドコースト、バイロンベイ、シドニーの旅」から英語表現を学ぶ				事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	授業内配布資料の確認	
	⑤ 多国籍料理に親しむ①(オーストラリア料理)				事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	授業内配布資料の確認	
	⑥ 行政の多文化共生への取り組み～多文化保育・教育を踏まえて～				事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	授業内配布資料の確認	
	⑦ 韓国の子育て支援の現状				事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	授業内配布資料の確認	
⑧ 映像「エアーズロック、タスマニア、メルボルンの旅」から英語表現を学ぶ				事前学習	シラバス下読み		
				事後学習	授業内配布資料の確認		
⑨ オーストラリアの園児に贈るクリスマスカードの製作				事前学習	シラバス下読み		
				事後学習	授業内配布資料の確認		
⑩ カナダで保育士として働く～卒業生の紹介～				事前学習	シラバス下読み		
				事後学習	授業内配布資料の確認		
⑪ 親子日本語教室ボランティア				事前学習	シラバス下読み		
				事後学習	授業内配布資料の確認		
⑫ 留学生との交流会				事前学習	シラバス下読み		
				事後学習	授業内配布資料の確認		
⑬ オーストラリアの保育士養成校について				事前学習	シラバス下読み		
				事後学習	授業内配布資料の確認		
⑭ 多国籍料理に親しむ②(アジアフュージョン料理)				事前学習	シラバス下読み		
				事後学習	まとめテストの準備		
⑮ まとめ、試験				事前学習	まとめテストの準備		
				事後学習	授業総復習		
学習上の留意点	日頃から新聞やニュースの報道に触れて、世界で起こっていること、海外の文化などを知り、自らの興味や視野を広げておくこと。						
成績評価の方法	授業の参加状況や受講態度 50%			教科書	なし (必要に応じて、プリントを配布する)		
	発表 25%				参考資料	『Understanding Early Childhood Education & Care in Australia』 Joanne Ailwood 『海外で羽ばたく日本人保育士』Parade Books 『おとなの基礎英語』 NHK出版	
まとめテスト 25%							

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	多文化共生Ⅲ			担当教員	小野 克志		
全体目標	海外での保育実習経験を通して、国際的な視野を持った保育者としての素地を養う。異なる環境で生育する子どもの背景、価値観や考え方を理解し、それらを受け入れながら、豊かな保育、教育の実践を目指していく。						
一般目標	個別発表を中心とした授業を通して、海外への興味や視野を広げ、深まった知識を正確に他者へ伝えていく経験、練習を重ね、積極性を伴った実践力を身に付けていく。						
到達目標	実践的な英語を学びつつ、異なる文化や考え方を持つ人々と触れ合い、他者への理解を深めていく。基本的な英語でのコミュニケーション能力を身に付け、保育現場で積極的に現地の子どもや保育者、保護者と関わり、自らの保育を伝えていく。						
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	イントロダクション			事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	振り返り	
	②	ジェンダーとダイバーシティ			事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	授業内配布資料の確認	
	③	教育・保育の未来について考える			事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	授業内配布資料の確認	
	④	国際理解と国際協調			事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	授業内配布資料の確認	
	⑤	多文化共生社会における保護者支援～諸外国の事例から～			事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	授業内配布資料の確認	
	⑥	アジアの英語教育事情			事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	授業内配布資料の確認	
	⑦	北欧の幼児教育・子育て支援(スウェーデンなど)			事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	授業内配布資料の確認	
⑧	オーストラリア附属園教員によるオンライン講義			事前学習	シラバス下読み		
				事後学習	振り返り		
⑨	外国籍の園児がいる保育施設でのフィールドワーク①(施設見学)			事前学習	フィールドワーク準備		
				事後学習	振り返り		
⑩	外国籍の園児がいる保育施設でのフィールドワーク②(保育実践)			事前学習	フィールドワーク準備		
				事後学習	振り返り		
⑪	英語ニュースをLIVEで学ぶ			事前学習	シラバス下読み		
				事後学習	授業内配布資料の確認		
⑫	親子日本語教室ボランティア			事前学習	ボランティア準備		
				事後学習	振り返り		
⑬	海外の日本人保育者によるオンラインワークショップ			事前学習	事前準備資料の確認		
				事後学習	振り返り		
⑭	グループディスカッション			事前学習	シラバス下読み		
				事後学習	振り返り		
⑮	定期試験			事前学習	シラバス下読み		
				事後学習	授業総復習		
学習上の留意点	日頃から新聞やニュースの報道に触れて、世界で起こっていること、海外の文化などを知り、自らの興味や視野を広げておくこと。						
成績評価の方法	・試験(発表) 50%			教科書	なし (必要に応じて、プリントを配布する)		
	・授業参加状況や受講態度 50%				参考資料	『Understanding Early Childhood Education & Care in Australia』Joanne Ailwood 『世界の幼児教育・保育改革と学力』咲間まり子 編 『なぜ世界の幼児教育・保育を学ぶのか』泉千勢 編	

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	多文化共生IV			担当教員	小野 克志		
全体目標	海外での保育実習経験を通して国際的な視野を持った保育者としての素地を養う。異なる環境で生育する子どもの背景、価値観や考え方を理解し、それらを受け入れながら、豊かな保育、教育を目指していく。						
一般目標	個別発表を中心とした授業のなかで情報を共有し、海外への興味や視野を広げ、深まった知識を他者に伝えていく経験、練習を重ね、積極性を伴った実践力を身に付けていく。						
到達目標	諸外国の保育、幼児教育、子育て支援のあり方を学び、その共通点と多様性を理解し、それらの日本の目指すべき方向性について、自らの視点、考え方を構築し、日本の保育・教育現場に活かすことのできる力を養成する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	イントロダクション			事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	個人発表準備	
	②	国際的な視点から考える保育者の専門性			事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	個人発表準備	
	③	多文化保育実践施設での保育実習①(施設見学)			事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	実習準備	
	④	多文化保育実践施設での保育実習②(保育実践)			事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	実習の振り返り	
	⑤	諸外国の保育、教育、子育て事情 プレゼンテーション準備①(民族)			事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	個人発表準備	
	⑥	諸外国の保育、教育、子育て事情 プレゼンテーション準備②(環境)			事前学習	関係情報収集	
					事後学習	個人発表準備	
	⑦	諸外国の保育、教育、子育て事情 プレゼンテーション準備③(ビジネス)			事前学習	現地情報収集	
					事後学習	個人発表準備	
⑧	諸外国の保育、教育、子育て事情 プレゼンテーション準備④(文化)			事前学習	関係情報収集		
				事後学習	個人発表準備		
⑨	諸外国の保育、教育、子育て事情 プレゼンテーション準備⑤(政治)			事前学習	関係情報収集		
				事後学習	個人発表準備		
⑩	プレゼンテーションと質疑応答①(民族)			事前学習	関係情報収集		
				事後学習	個人発表準備		
⑪	プレゼンテーションと質疑応答②(環境)			事前学習	関係情報収集		
				事後学習	個人発表準備		
⑫	プレゼンテーションと質疑応答③(ビジネス)			事前学習	関係情報収集		
				事後学習	個人発表準備		
⑬	プレゼンテーションと質疑応答④(文化)			事前学習	関係情報収集		
				事後学習	個人発表準備		
⑭	プレゼンテーションと質疑応答⑤(政治)			事前学習	関係情報収集		
				事後学習	配布資料の再確認		
⑮	試験・まとめ			事前学習	配布資料の再確認		
				事後学習	授業総復習		
学習上の留意点	日頃から新聞やニュースの報道に触れて、世界で起こっていること、海外の文化などを知り、自らの興味や視野を広げておくこと。						
成績評価の方法	試験(発表評価を含む)	50%		教科書	なし (必要に応じて、プリントを配布する)		
	授業参加状況や受講態度	50%			参考資料	『Understanding Early Childhood Education & Care in Australia』 Joanne Ailwood	

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	保育英語			担当教員	小野 克志		
全体目標	保育に必要な英語の基礎を身につける 基礎英語力(Reading/Writing/Speaking/Listening)を高め、コミュニケーション能力を高める 他言語、異文化・習慣の理解を深める						
一般目標	英語の基礎的ヒアリング、スピーキング能力を習得する 英語を使って自分を表現する練習を行う 外国にルーツのある園児や保護者の良い理解者になれるよう、経験を積み重ねていく						
到達目標	保育に関する専門的英単語、表現を学び、実践に生かせる力を身につける 英語をコミュニケーションツールとして楽しく学ぶ						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション	事前学習	シラバス下読み	事後学習	オリエンテーションの振り返り	
	②	Self-Introduction & Background Information 自己紹介と家庭調査	事前学習	テキスト予習	事後学習	小テスト事前学習	
	③	The Map of a Nursery School 保育所の園舎	事前学習	テキスト予習	事後学習	小テスト事前学習	
	④	Arrival & Things Children Need 登園と園児の持ち物	事前学習	テキスト予習	事後学習	小テスト事前学習	
	⑤	Indoor & Outdoor Games 園児の遊びと遊具	事前学習	テキスト予習	事後学習	小テスト事前学習	
	⑥	Annual School Calendar & Holidays 年間行事と祝日	事前学習	テキスト予習	事後学習	小テスト事前学習	
	⑦	Feelings & Emotions 園児の喜怒哀楽	事前学習	テキスト予習	事後学習	小テスト事前学習	
	⑧	Daily Schedule 日課	事前学習	テキスト予習	事後学習	小テスト事前学習	
	⑨	Lunchtime ランチタイム	事前学習	テキスト予習	事後学習	小テスト事前学習	
	⑩	Toilet Training トイレ・トレーニング	事前学習	テキスト予習	事後学習	小テスト事前学習	
	⑪	Dealing with Fights けんか	事前学習	テキスト予習	事後学習	小テスト事前学習	
	⑫	Injuries & Illnesses けがや病気	事前学習	テキスト予習	事後学習	小テスト事前学習	
	⑬	Graduation 卒園	事前学習	テキスト予習	事後学習	小テスト事前学習	
	⑭	総まとめ	事前学習	授業内容を振り返る	事後学習	テスト対策、準備	
⑮	定期テスト	事前学習	テキストの総復習	事後学習	授業全体をととしての復習		
学習上の留意点	積極的な態度で授業に臨んでください。 習熟状況等により、授業展開が変わることがあります。						
成績評価の方法	授業参加状況及び受講態度	50%	教科書	『保育英語の練習帳②-現場のエピソードを楽しく学ぼう!』宮田 学[編] 高橋妙子[著] 萌文書林			
	レポート	10%					
	小テストを含む試験	40%	参考資料				

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	異文化コミュニケーション			担当教員	荒木 弘子		
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育現場において外国につながる子どもたちが増加する中で生じた課題を知り、彼らが差別されることなく、健やかに園生活を送ることができるようにするためにはどうすべきかを考える。 ・文化的背景の違いを理解し、外国につながる子どもや保護者がどのような悩みを抱えているのかを考える。 						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育現場で有用な外国語の語彙や表現を学び、同時にコミュニケーションスキルを身につける。 ・各国で展開される就学前の保育や教育について学び、日本との違いを理解する。 ・生活文化や食文化、時間感覚などをめぐる異文化間差異を知り、各自の「常識」との違いを理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる文化の捉え方や接し方を学び、保育現場でよりよいコミュニケーションを取ることができるようになる。 ・外国につながる子どもや保護者が抱える悩みに寄り添えるようになる。 						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション コミュニケーションとは			事前学習	シラバスの概要を読む。	
					事後学習	授業で紹介する5ヶ国についての下調べをおこなう。	
	②	国①の文化と言語			事前学習	予習ノートを用い、予習をする。	
					事後学習	授業ノートを用い、復習をする。	
	③	国①で展開される就学前教育・保育			事前学習	予習ノートを用い、予習をする。	
					事後学習	授業ノートを用い、復習をする。	
	④	国②の文化と言語			事前学習	予習ノートを用い、予習をする。	
					事後学習	授業ノートを用い、復習をする。	
	⑤	国②で展開される就学前教育・保育			事前学習	予習ノートを用い、予習をする。	
					事後学習	授業ノートを用い、復習をする。	
	⑥	国③の文化と言語			事前学習	予習ノートを用い、予習をする。	
					事後学習	授業ノートを用い、復習をする。	
	⑦	国③で展開される就学前教育・保育			事前学習	予習ノートを用い、予習をする。	
					事後学習	授業ノートを用い、復習をする。	
⑧	国④の文化と言語			事前学習	予習ノートを用い、予習をする。		
				事後学習	授業ノートを用い、復習をする。		
⑨	国④で展開される就学前教育・保育			事前学習	予習ノートを用い、予習をする。		
				事後学習	授業ノートを用い、復習をする。		
⑩	国⑤の文化と言語			事前学習	予習ノートを用い、予習をする。		
				事後学習	授業ノートを用い、復習をする。		
⑪	国⑤で展開される就学前教育・保育			事前学習	予習ノートを用い、予習をする。		
				事後学習	授業ノートを用い、復習をする。		
⑫	中間のふりかえり 異なる文化の捉え方・接し方			事前学習	国①～⑤のふりかえりをする。		
				事後学習	授業内容を実践する		
⑬	発表準備			事前学習	発表に関わる事柄を調べる。		
				事後学習	グループで協力して発表の準備をおこなう。		
⑭	発表			事前学習	グループで協力して発表の準備をおこなう。		
				事後学習	発表の反省をおこなう。		
⑮	まとめ 外国につながる子供たちが抱える問題			事前学習	全授業内容を復習する。		
				事後学習	学修内容を整理し保育の場で活用できるよう見直す。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布するプリントを用い、予習・復習をおこなうこと。 ・授業では韓国、中国、ベトナム、ネパール、フィリピン、ブラジル、ペルー、ケニアのいずれかの国にルーツのある講師の話聞く。事前にそれぞれの国についての下調べをおこなった上で、授業には興味を持って積極的に参加すること。 						
成績評価の方法	・授業参加状況、受講態度			20%	教科書	・必要に応じて適宜配布	
	・提出物(授業の記録)			30%		参考資料	『多文化に会うブックガイド』読書工房 2011年
・発表(テーマ:歌)(第14回授業)			20%				
・レポート(テーマ:料理)			30%				
以上を総合的に評価する。							

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	生物学			担当教員	鈴木 恒一		
全体目標	人間の発生から乳児期における発育・発達の理解を深める。						
一般目標	人間の生殖のメカニズムとともに、これに影響を及ぼす因子について理解を深める。						
到達目標	1. 動物の様々な生殖形式を説明することができる。 2. 母親のお腹の中で胎児を保護する方法について説明することができる。 3. 胎児期から乳児期に悪影響を及ぼす要因とその対策方法について説明することができる。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション I 動物の生殖の形式			事前学習	動物の生殖の形式について調べる	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	②	DVD 原始哺乳類「カモノハシ」 課題レポート作成			事前学習	「カモノハシ」について調べる	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	③	II 人間の生殖 1. 卵子と精子 2. 卵子と精子の発生			事前学習	BABIES p1～2を熟読する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	④	3. 染色体とは? 4. 人間の染色体 5. 卵子・精子の形成の過程と染色体の変化			事前学習	BABIES p21～22を熟読する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑤	6. 生殖細胞形成の特性 7. 卵巣での卵子の成熟 8. 精巣での精子の成熟			事前学習	BABIES p3～4を熟読する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑥	DVD 男が消える 人類滅亡 崩壊するY染色体 課題レポート作成			事前学習	性染色体について調べる	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑦	III 赤ちゃんはいつ頃生まれるの 1. 受精 新しい生命の始まり			事前学習	BABIES p5～8を熟読する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
⑧	2. へその緒と胎盤			事前学習	BABIES p6を熟読		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑨	3. 胎盤の主な働き 4. 出産予定日について			事前学習	BABIES p15～16を熟読する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑩	IV ピルの作用の仕組みと効果 1. 女性のホルモンの仕組み 2. ピルとは 3. ピルの仕組みと効果			事前学習	女性ホルモンについて調べる		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑪	V 子どもの先天奇形とその要因 1. 遺伝子及び染色体因子 ①常染色体異常			事前学習	性染色体異常について調べる		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑫	2. 環境因子 ①化学物質(アルコール・喫煙)			事前学習	有害な感染因子について調べる		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑬	②化学物質(薬剤) ③感染因子(ウイルス)			事前学習	有害な化学物質について調べる		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑭	④感染因子(細菌・原虫)			事前学習	化学物質の影響について調べる		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑮	試験及びまとめ			事前学習	これまでの授業内容を振り返る		
				事後学習	15回の講義内容をまとめる		
学習上の留意点	*授業は、必ずBABIES・BABIES 資料編及び筆記用具を持参すること。 *理解しやすい授業に努めるが、分からないことはそのままにせず、積極的に質問すること。 *必要に応じて資料を配布するため、資料がない者は取りに来ること。						
成績評価の方法	*定期試験 80% *レポート 20%			教科書	『BABIES』 『BABIES 資料編』		
				参考資料	「生物 -ヒトを知る-」 黒田充恵・黒田晃生著 開成出版		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	自然科学概論			担当教員	才賀 美奈	自然体験活動インストラクターとして実務経験有	
全体目標	乳幼児期における自然とのかかわりが、豊かな感性を育み、好奇心、探究心、思考力、表現力等の『人間力』の土台を形成する大きな要素であることをふまえて、子どもたちが自然の中で主体的に自由に遊び込み、自然をよく知り、生活と自然がよくつながり、子どもたちも保育者も自然と共に育っていくことができることを目標とする。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者自身が普段から自然の変化に意識を向け、楽しんだり不思議に思ったりする「感性を研ぎ澄ませておくこと」ができるようになる。 ・保育者として、人々の生活と様々な身近な自然(動植物、環境、現象、生命)とのつながりの重要性をとらえ、乳幼児期にある子どもたちが自然の中で遊び込める環境を作れるようになる。または自然と子どもの介在者となり、相互に良い働きかけができる。 ・乳幼児期のあらゆる発達段階において保育に自然を活用することの有効性をよく理解し、行動に移せる知識を身につける。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児がふれることができる身近な自然物(動植物・自然現象)について、保育者自身が主体的に興味を持ち、乳幼児と共にその世界を楽しむことができるようになる。 ・身近な植物の名前や特性を知り、乳幼児の遊びに取り入れる方法を知る。 ・「乳幼児期の発達段階」に応じた継続的な野外体験(野外活動)を、安全に配慮して企画・実施できるようになる。 						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	① 「自然に出会う」①五感を使って自然を体感する(身近な自然探し)	授業ガイダンス・[稲の栽培]種の話(初)			事前学習	「小さい頃に遊んだ自然」を思い出す	
					事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く	
	② 「自然に出会う」② ～植物編～	春の植物の特性にフォーカスを当てて遊ぶ。・[稲の栽培]初撒き			事前学習	この季節にどんな植物があるか観察しておく	
					事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く	
	③ 「自然に出会う」③ ～小さな生きもの編～	春に出会う虫などの小さな生きものを探し、観察を行う。			事前学習	幼児期の生きものとの思い出集め	
					事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く	
	④ 「自然に出会う」④ ～土と水編～	土や水を使って遊ぶ(泥団子づくり)。			事前学習	幼児期の泥遊びの思い出集め	
					事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く	
	⑤ 「自然に出会う」⑤ ～木編～	木にふれて遊ぶ。・[稲の栽培]田植え			事前学習	幼児期に木で遊んだ思い出集め	
					事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く	
	⑥ 「自然と暮らしをつなぐ」① ～泥染め編～	泥を染色に活用できることを知る(ベンガラ泥染めを楽しむ)。			事前学習	布染めの模様をリサーチしておく	
					事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く	
	⑦ 「自然と共に子どもが生まれること」	乳幼児期の子どもの発達における自然の役割について考える。			事前学習	自分が行いたい保育をイメージしておく	
					事後学習	ジャーナルを書く	
⑧ 「様々な自然の形態と全国で行われる自然保育」	自然を活用した保育の実践事例を知り、その特徴や効果について考える。			事前学習	自分の「自然観」を考えてみる		
				事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く		
⑨ 「保育現場よる自然環境の違いと取り組み」	季節・保育環境・保育のねらい等による「自然との付き合い」の違いを考える。			事前学習	自分の身の回りの自然を観察してくる		
				事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く		
⑩ 「自然とリスクマネジメント」① ～保育における自然とリスク～	野外保育活動をするときに、注意したいリスクとハザードについて学ぶ。			事前学習	これまでのヒヤリハットを思い出しておく		
				事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く		
⑪ 「自然とリスクマネジメント」② ～注意を要する生物と対処～	自然界で過ごす際に注意したいハチ・ヘビ・有毒昆虫など生物のことをよく知る。			事前学習	危険がある生物について調べてくる		
				事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く		
⑫ 「自然とリスクマネジメント」③ ～注意を要する植物と対処～	自然界で過ごす際に注意したい有毒な植物のことをよく知る。			事前学習	危険がある生物について調べてくる		
				事後学習	リスクマネジメントのまとめ・ジャーナルを書く		
⑬ 「自然と暮らしをつなぐ」② ～草木染め編～	四季折々の植物が染色に活用できることを知る(草木染めを楽しむ)。			事前学習	染める布の下準備をする		
				事後学習	染めた布のアイロンがけをする		
⑭ 「様々な季節の自然遊び」	自然遊びを企画しクラス内で実践、意見交換を行う。[稲の栽培]稲刈り			事前学習	四季折々の自然遊びを整理する		
				事後学習	遊びの考察・ジャーナルを書く		
⑮ 試験、まとめ	ジャーナルのまとめ・稲の成長観察のまとめ			事前学習	前期授業を自身のジャーナルからふりかえる		
				事後学習	保育でやってみたいことを具現化する		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、毎回の授業では近くの自然探し(主に市政資料館の庭)に出かけます。服装には留意してください。 ・フィールドワークを重んじるため、必要に応じて授業内容を変更、または入れ替えを行うことがあります。 ・本授業は、「ワーク(遊び)・学び・ジャーナル(振り返りと分析)」の3つの柱によって構成します。 ・4月～9月にかけて育つ稲の生長を、補助し記録することを授業の一部とみなします。 ・自然を「感じることを大切に、学生の皆さんの興味関心そして遊び心があふれることを期待します。 						
成績評価の方法	①提出物(授業ごとのジャーナル)30%	自然科学を学びながら自らの中に生まれた感情をとらえ表現する			教科書	『自然保育の素』	
	②稲の栽培(栽培と生長日記レポート)30%	コンアナを使った稲作を通して「植物の生長」を観察・記録・考察する				森のようちえん全国ネットワーク連盟 ミツイパブリッシング	
	③定期試験(レポート)40%	自己の気づき・学びを自ら評価表現する			参考資料	『センス・オブ・ワンダー』	
その他	授業参加状況や受講態度を考慮して評価			レイチェルカーゾン著 上遠恵子訳 新潮社 『子どもと自然』 編著者 大豆生田啓友 著者 出原大 小西貴士 Gakken			

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	集中	授業形態	演習	単位数	4単位
科目名	海外フィールドワーク			担当教員	小野 克志		
全体目標	「オーストラリア語学研修・保育実習プログラム」に参加し、オーストラリア、日本両国の幼児教育・保育の違いを肌で感じながら、多文化、多様性に対応できるグローバルな視点を持つ保育者を目指す						
一般目標	海外の幼児教育・保育を現地で学び、専門性、語学力、コミュニケーション能力、異文化理解力などを獲得することを目標としている。						
到達目標	多様な価値が混在する社会で、保育者としての立場を意識しながら、自分と異なった背景、考え方、生活スタイルを持つ他者との共存、理解を進めていけるよう学ぶ。						
授業のながれ	[授業内容]						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修期間 8月、約2週間実施 ・ 研修内容 オーストラリア保育実習プログラムでは、原則、1クラス実習生1名にて園児、教員、保護者との交流する。オーストラリアの保育現場を直接体験することで、日本との保育観、教育観の違い、英語のコミュニケーションの楽しさ、異文化環境における自己管理、協働性などを学ぶ。 ・ 事前指導 附属園教員によるオンラインのワークショップを実施し、オーストラリアの保育事情、生活情報などを学ぶ機会を設ける。合わせて、異文化理解、危機管理、生活マナーなどについても学ぶ機会を設ける。保育現場で使う基本英会話を事前学習し、簡単な手遊び、絵本読み聞かせの準備も行う。 ・ 事後指導(帰国後) <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人研修レポートの提出・総括 ・ 保育実習報告会(グループ発表・写真共有) 						
学習上の留意点	日頃から新聞やニュースの報道に触れて、世界で起こっていること、海外の文化などを知り、自らの興味や視野を広げておくこと。						
成績評価の方法	事前事後の指導を含め、保育実習の取り組み、プレゼンテーションなどを総合的な学びとして評価する。また、海外保育実習での経験から感じたこと、反省点、そして今後の目標などを客観的にまとめたレポートを提出する。	教科書	なし (必要に応じて、プリントを配布する)				
		参考資料	『なぜ世界の幼児教育・保育を学ぶのか』 ミネルヴァ書房				

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	就職実務			担当教員	藤井 由佳		
全体目標	次年度に控えた就職活動へ向けて、必要とされる知識を学ぶ。 また、社会人として求められる基本的なマナーを身につける。						
一般目標	敬語や立ち居振る舞い、マナーを習得する。 就職試験の面接対策として、自己分析を深めて自分自身をよく知る。						
到達目標	1.正しい言葉遣いに関しては、演習問題への取り組みなど机上の学習のみならず、 授業内での使用はもちろん、普段の生活から気をつけて習得を目指すこと。 2.テキストやワークシートの質問事項について文章化することにより、自分を再認識して、 自己PRや志望動機などを、より自分らしいものにする。						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション(授業内の約束事)・社会人になるとは 基本動作(立つ姿勢・お辞儀の仕方)			事前学習 事後学習	シラバス確認 講義で学んだ基本動作の練習	
	②	敬語の基本(尊敬語・謙譲語・丁寧語) 基本動作(椅子の座り方)			事前学習 事後学習	テキスト下読み 課題の取り組み(敬語練習問題)	
	③	敬語(間違えやすい敬語、使い分けの混同、二重敬語) 敬語演習			事前学習 事後学習	テキスト下読み 課題の取り組み(敬語演習問題)	
	④	敬語表現のロールプレイング 発声練習			事前学習 事後学習	テキスト下読み 敬語の総復習	
	⑤	面接試験準備(自己分析) 基本動作(歩き方)			事前学習 事後学習	テキスト下読み 自己分析ワークシート1・2作成	
	⑥	敬語表現のロールプレイング 基本動作(名刺の受け渡し)			事前学習 事後学習	テキスト下読み 自己分析ワークシート3作成	
	⑦	効果的な話し方・聞き方 面接試験でのコミュニケーションの取り方			事前学習 事後学習	テキスト下読み 自己分析ワークシート4・5作成	
	⑧	電話話法の基本 アポイントメントの取り方			事前学習 事後学習	テキスト下読み ロールプレイング発表練習	
	⑨	電話対応のロールプレイング (ペア演習発表)			事前学習 事後学習	テキスト下読み ロールプレイング発表練習	
	⑩	電話対応応用のロールプレイング (ペア演習発表)			事前学習 事後学習	テキスト下読み 電話対応の総復習	
	⑪	面接の目的と形式 自己分析実施の留意点(志望動機・長所・短所)			事前学習 事後学習	テキスト下読み 自己分析ワークシート6作成	
	⑫	訪問の準備 様々な場面での席次			事前学習 事後学習	テキスト下読み 自己分析ワークシート7作成	
	⑬	ビジネス文書の基本 就職活動におけるソーシャルメディアの活用			事前学習 事後学習	テキスト下読み お礼状作成	
	⑭	面接室でのマナー・受け答えの仕方 質疑応答			事前学習 事後学習	テキスト下読み 試験対策	
⑮	試験・まとめ			事前学習 事後学習	試験対策 総復習		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始までに授業には関係ない物を片付け、必要な物を整えておくこと。 ・ロールプレイングは、積極的な態度で授業に臨むこと。 ・挨拶、ルール、時間管理、期限の徹底 ・授業を妨害する行為をした場合は退出の上、その講義を欠席扱いとする。 						
成績評価の方法	授業参加状況・受講態度 30% 実技・ロールプレイング 30% 試験 40% 以上を総合的に評価			教科書 参考資料	「これだけは知っておきたい! 面接対策&ビジネスマナー」 「付属ワークブック」 (株)ウィネット		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	日本国憲法			担当教員	岩崎 郁人		
全体目標	日本国憲法の成り立ちを知り、現在の日本国への理解を憲法的な視点で高める。						
一般目標	日本国憲法の条文の趣旨、大日本帝国憲法との違いなどを理解する。						
到達目標	自身の生活とのつながりも踏まえ、日本国憲法を身近なものとしてとらえる。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① ガイダンス、日本国憲法の目的				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	② 日本国憲法の三大原則				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	③ 基本的人権の尊重				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	④ 身体・精神の自由				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑤ 経済活動の自由など				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑥ 平等権				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑦ 社会権				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑧ 請求権				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
				事後学習	講義内容の復習。		
⑨ 平和主義				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑩ 国会				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑪ 内閣				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑫ 司法				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑬ 地方自治				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑭ 憲法改正				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑮ 試験。まとめ。				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
学習上の留意点	抽象的な内容や語句の暗記にとどめるのではなく、自分自身との関連を発見し、それをアウトプットできるように主体的な学習を目指す。						
成績評価の方法	授業参加状況および受講態度 (受講態度には学生の状況に応じて課す レポートや発表なども含める) 50% 筆記試験 50%			教科書	「図解による憲法のしくみ第2版」 (自由国民社) 神田 将著		
				参考資料	必要に応じて、プリントの配布		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	情報機器演習			担当教員	中村 勇翔		
全体目標	情報技術 (ICT) を活用した保育を展開できる保育者となることを目標とする。						
一般目標	情報機器への理解を深め、機器の利用方法を学ぶ。 様々なアプリケーションへの理解を深める。						
到達目標	情報機器の基礎的な知識や操作方法、情報機器を用いて何ができるのかを学ぶ。 文章や図表の作成、表計算、プレゼンテーション資料の作成を習得する。						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	① 受講ガイダンス、情報機器の操作説明 Windowsの基本操作とフォルダ作成	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	② 文章作成① グラフィック要素	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	③ 文章作成② 書式設定	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	④ 文章作成③ 表の作成	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑤ 文章作成④ グラフィック要素	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑥ プレゼンテーション① 入力操作の基本	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑦ プレゼンテーション② 素材の利用	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑧ プレゼンテーション③ メディアの利用とアニメーション効果	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑨ 表作成① 入力操作の基本	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑩ 表作成② 表の作成と編集、数式と参照	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑪ 表作成③ グラフ機能と素材の挿入	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑫ 表作成④ 関数	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑬ 課題の説明と評価方法	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑭ Officeを利用した課題の作成	事前学習	授業資料の確認	事後学習	授業資料の復習・課題		
	⑮ 試験、まとめ	事前学習	試験対策	事後学習	授業の総復習		
学習上の留意点	課題提出があるため、欠席しないこと パソコンの操作に自信がない場合は、授業資料の予習を行うこと 不明な点は教員に積極的に質問すること						
成績評価の方法	課題…30%	教科書	「学生のためのかんたんWord Excel PowerPoint入門」 技術評論社				
	小テスト…30%		参考資料				
	最終試験…40%						

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	一般英語			担当教員	米田 充		
全体目標	映画「ハリーポッター」を題材に、基本的な表現、イギリス英語とアメリカ英語の違いを知る。原書を読むための基本的な和訳法を身につける。						
一般目標	各セクションの重要表現を聞き取り、復唱、書き取りをすることで表現に慣れ親しむ。英文の構造を段階を追って学び、和訳法へ適用させる。						
到達目標	テキストのヒントを参考に、ピックアップされた表現を繰り返し聞いてなんとか真似をして復唱する。英文の構造を解析する練習を繰り返し、和訳の準備を整えてから、和訳を実践していく。原書を辞書を引きながら読み進められる自信をつける。						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	① 併行する学習の方法と目標の説明。 Section1のリスニング hope/thinkの違いなど			事前学習	シラバスを読んでおく	
					事後学習	重要表現の復唱練習	
	②	② 動詞の発見とその周辺の語句			事前学習	テキストの要点の先読み	
					事後学習	練習問題で実践練習	
	③	③ Section2のリスニング get up/wake upの違い、命令文、数の尋ね方など			事前学習	word listのチェック	
					事後学習	重要表現の復唱練習	
	④	④ 主語の発見、主語の前の余分な語句について			事前学習	テキストの要点の先読み	
					事後学習	練習問題で実践練習	
	⑤	⑤ Section3のリスニング Why/Becauseの呼応, too/eitherの使い方			事前学習	word listのチェック	
					事後学習	重要表現の復唱練習	
	⑥	⑥ 語句のまとめ 修飾語＋名詞、前置詞＋名詞			事前学習	テキストの要点の先読み	
					事後学習	練習問題で実践練習	
	⑦	⑦ Section4,5のリスニング Excuse me, but、疑問詞＋不定詞の用法			事前学習	word listのチェック	
					事後学習	重要表現の復唱練習	
⑧	⑧ 和訳の順序 基礎和訳と調整和訳の仕方			事前学習	テキストの要点の先読み		
				事後学習	練習問題で実践練習		
⑨	⑨ Section6,7のリスニング 大きな数字の読み方、What's＋場所、Here we are			事前学習	word listのチェック		
				事後学習	重要表現の復唱練習		
⑩	⑩ 2つ以上の文、つながりの理解 等位接続詞と従位接続詞			事前学習	テキストの要点の先読み		
				事後学習	練習問題で実践練習		
⑪	⑪ Section8,9のリスニング 発音練習、Can you/Could youの違いなど			事前学習	word listのチェック		
				事後学習	重要表現の復唱練習		
⑫	⑫ つなぎの理解2 間接疑問文と関係代名詞			事前学習	テキストの要点の先読み		
				事後学習	練習問題で実践練習		
⑬	⑬ Section10のリスニング Do you mind..に対する答え方			事前学習	word listのチェック		
				事後学習	重要表現の復唱練習		
⑭	⑭ 和訳の実践もしくは園での場面英会話 原書からの英文にもチャレンジ			事前学習	要点の復習		
				事後学習	練習問題で実践練習		
⑮	⑮ 試験、まとめ			事前学習	教材の見直し		
				事後学習	まとめの理解		
学習上の留意点	リスニングの授業は概ね英語で行いますが、細かなことにとらわれることなく、感覚で理解に努めるように。書き取りの際、スペルチェックできるように、辞書を用意しておくとい良いでしょう。和訳法の授業は日本語で行います。テキストへの書き込みは必ずしてください。その都度提出を求めます。						
成績評価の方法	平常授業での提出プリントの完成度 60% プリント提出できない場合は-5点 プリント書き込みが不十分な場合は-3点 期末定期試験 40% プリントと試験の合計点で最終評価する			教科書	オリジナル教材		
				参考資料			

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	1単位
科目名	体育講義			担当教員	山内 隆治	幼児体操教室講師として実務経験有	
全体目標	からだの仕組みを知り、より効果的にトレーニングできる知識を学ぶ。						
一般目標	幼児体育における知識を学び、後期の実技へと繋げる。						
到達目標	幼児体育種目に現場で対応できる知識を習得する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション (今後の授業の進め方)			事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	授業内容の把握	
	②	幼児体育と学校体育カリキュラム (幼児体育カリキュラム内容)			事前学習	幼児体育種目の確認	
					事後学習	カリキュラム内容の把握	
	③	運動あそび (運動あそびの種類)			事前学習	運動あそびの種類確認	
					事後学習	運動あそびの内容把握	
	④	運動発達と運動あそび (あそびとしての運動の重要性)			事前学習	運動の重要性を確認	
					事後学習	運動発達の環境について把握	
	⑤	運動発達と運動あそび (運動発達の時代変化)			事前学習	運動発達の時代変化を確認	
					事後学習	運動発達の時代変化を把握	
	⑥	運動発達、体力の分類、成就率 (運動発達の段階と年齢区分)			事前学習	運動発達のしくみ確認	
					事後学習	体力の分類の構図を把握	
	⑦	器械体操段階指導 (マット後転、跳び箱開脚跳び、鉄棒逆上がり)			事前学習	器械体操の段階指導法確認	
					事後学習	器械体操の段階指導法把握	
	⑧	リーグ戦、トーナメント戦の表の作成 (表の作成方法)			事前学習	リーグ戦、トーナメント戦の違い確認	
				事後学習	表の作成方法の把握		
⑨	器械体操補助法 (マット、跳び箱、鉄棒)			事前学習	器械体操の補助法確認		
				事後学習	器械体操の補助法把握		
⑩	水あそび、プールあそび (注意ポイント、あそびの種類)			事前学習	注意ポイントなどの確認		
				事後学習	学年別のあそび方把握		
⑪	ボール運動 (0～3歳までのボール運動)			事前学習	ボールの運動形態確認		
				事後学習	3歳までのボール運動把握		
⑫	ボール運動、縄運動 (3歳からのボール運動)			事前学習	ボールと縄の運動形態確認		
				事後学習	ボールと縄の段階指導把握		
⑬	運動神経、コーディネーショントレーニング (コーディネーショントレーニングとは)			事前学習	運動の基本を確認		
				事後学習	コーディネーショントレーニングとは		
⑭	運動会種目 (組体操、バルーンの種目)			事前学習	運動会種目の確認		
				事後学習	組体操、バルーンの動き把握		
⑮	定期試験まとめ			事前学習	試験範囲の確認		
				事後学習	評価内容の把握		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント教材が中心となります。 ・幼児体育という未知の内容に興味をもって臨みましょう。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 80% ・平常点(授業態度、授業参加状況) 20% 			教科書	なし		
				参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期における運動発達と運動遊びの指導 ・0歳からのボール遊び運動 ・幼児体育指導経験による幼児体育種目 		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	実技		単位数	1単位
科目名	体育実技			担当教員	山内 隆治		幼児体操教室講師として 実務経験有	
全体目標	からだの仕組みを知り、より効果的にトレーニングできる知識を学ぶ。							
一般目標	幼児体育における知識、及び器械体操の補助法を学ぶ。							
到達目標	補助法等、現場で対応できる知識を習得する。							
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	バルーン、運動あそび (じゃんけんゲーム)			事前学習	バルーンの動き確認		
					事後学習	じゃんけんゲームの種目習得		
	②	マット運動 (開脚前転、後転)			事前学習	ストレッチ体操内容確認		
					事後学習	開脚前転、後転の習得		
	③	器械体操補助法 (マット)			事前学習	マットの補助法再確認		
					事後学習	マットの補助法習得		
	④	マット運動 (実技テスト)			事前学習	ストレッチ体操内容確認		
					事後学習	開脚前転、後転の習得		
	⑤	ドッジボール (ノーマルドッジ、王様ドッジ)			事前学習	ドッジボールのルール確認		
					事後学習	ドッジボールの動き取得		
	⑥	ドッジビー (スローイング・ゲーム)			事前学習	ドッジビーのルール確認		
					事後学習	スローイングの習得		
	⑦	ドッジビー (パスゲーム)			事前学習	ドッジビーのルール確認		
					事後学習	パスのタイミング習得		
	⑧	縄跳び (大縄)			事前学習	ストレッチ体操内容確認		
				事後学習	縄に入るタイミングの習得			
⑨	ポートボール (ドリブル、ゲーム)			事前学習	ストレッチ体操内容確認			
				事後学習	ゲーム内容の確認			
⑩	器械体操補助法 (鉄棒)			事前学習	鉄棒の補助法確認			
				事後学習	鉄棒の補助法把握			
⑪	バレーボール (オーバー・アンダーパス、ゲーム)			事前学習	ストレッチ体操内容確認			
				事後学習	オーバー・アンダーパス習得			
⑫	バレーボール (サーブ、ゲーム)			事前学習	ストレッチ体操内容確認			
				事後学習	サーブの打ち方習得			
⑬	バレーボール (サーブレシーブ、ゲーム)			事前学習	ストレッチ体操内容確認			
				事後学習	サーブレシーブ習得			
⑭	講義 (ストレッチ体操図解)			事前学習	ストレッチ体操留意点の確認			
				事後学習	ストレッチ体操種目習得			
⑮	定期試験まとめ			事前学習	試験範囲の確認			
				事後学習	評価内容の把握			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の出来る服装で出席すること。 ・体育館シューズを用意すること。 ・装飾品は、はずして出席すること。 							
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実技 (50点) ・定期試験 (50点) ・平常点(授業態度、授業参加状況) 			教科書	なし			
				参考資料	・幼児体育指導経験に基づく実技内容			

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	集中	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	野外活動			担当教員	浦田 一	幼稚園教諭・保育教諭として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が自然と遊ぶことで育つ感性を、自らの体験を通して学ぶ。 ・保育者としてそれぞれの体験を効果的に幼児に支援する具体的方法を学ぶ。 ・自己のコミュニケーション方法を仲間との共同生活、自然を通じた活動から考え直す。 						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ありのままの自然(水、光、暑さ、涼しさ等)を体験する楽しさや苦しさ、達成感を味わう。 ・食事、クラフトなど自然を利用することで得られる感謝の念や工夫の楽しさを知る。 ・活動を通じ協力することの具体的な意味を理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然活動を通して自己の体力や気持ちをコントロールする必要性を学ぶ。 ・集団生活を通して協力して生活することの大切さを感じる。 ・幼児の具体的活動方法と援助技術を学ぶ。 						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	野外教育について【講義】 社会環境の変化、自然への理解について学習する			事前学習 事後学習	シラバスの考察 授業内容の理解	
	②	オリエンテーション【講義】 環境、意義、方法や服装などの準備物について			事前学習 事後学習	しおり、プリント学習 授業内容の理解	
	③	環境理解【演習】 *開校式 お泊まり保育の意義、環境の変化や注意事項について			事前学習 事後学習	しおり、プリント学習 実践内容の理解	
	④	自然探索【演習】 *ウォークラリー 山中を楽しく歩くことで達成感、協力、幼児指導法を学ぶ			事前学習 事後学習	しおり、プリント学習 実践内容の理解	
	⑤	自然と共生【演習】 *クラフト 工夫することの楽しさ、創意工夫のすばらしさを知る			事前学習 事後学習	しおり、プリント学習 実践内容の理解	
	⑥	自然と食【演習】 *飯盒炊飯 協力することで得られる食の楽しさややりがいを感じる			事前学習 事後学習	しおり、プリント学習 実践内容の理解	
	⑦	自然と明暗と暖かさ【演習】 *キャンプファイヤー 明りの大切さ、仲間、有限な自然を利用することを学ぶ			事前学習 事後学習	しおり、プリント学習 実践内容の理解	
	⑧	自然と衛生管理【演習】 *入浴 入浴を通して、衛生管理の配慮事項等について学習する			事前学習 事後学習	しおり、プリント学習 実践内容の理解	
	⑨	自然と健康管理【演習】 *就寝 自然の中で寝泊まりする自己の心の変化を知る			事前学習 事後学習	しおり、プリント学習 実践内容の理解	
	⑩	自然と目覚め【演習】 *朝の体操 爽快感と心と身体を目覚めさせる方法を学ぶ			事前学習 事後学習	しおり、プリント学習 実践内容の理解	
	⑪	仲間と対話【演習】 *朝食 食事の時間の重要性を感じる			事前学習 事後学習	しおり、プリント学習 実践内容の理解	
	⑫	環境整備【演習】 *清掃 自然や環境、物を大事にする大切さを知る			事前学習 事後学習	しおり、プリント学習 実践内容の理解	
	⑬	自然を探す【演習】 *野外ゲーム 活動環境と幼児の遊び方、危険、導き方を学ぶ			事前学習 事後学習	しおり、プリント学習 実践内容の理解	
	⑭	振り返り①【講義】 *グループ・ディスカッション 感得したものや学習成果について話し合う			事前学習 事後学習	実践の振り返り 自己評価	
⑮	振り返り② *レポート提出 自然への認識、理解の深まりについてなどレポート提出			事前学習 事後学習	実践の振り返り 自己評価		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に配布されたプリントやしおりを熟読しておく。 ・慣れない生活に備え自己の健康管理に留意する。 ・自然を理解するように努め、積極的に活動に参加する。 ・集団生活の規律を厳守する。 						
成績評価の方法	授業参加状況	30%	教科書	「配布プリント」			
	授業への取り組み姿勢	40%		「山のくらししおり」			
	事後レポート作成内容	30%	参考資料	「園外保育・山のくらし」			
				「キャンプの図鑑」 「親子で楽しむキャンプ術」 「はじめてのキャンプ」			

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと健康			担当教員	鈴木 恒一		
全体目標	領域「健康」の指導に関する幼児期の身体の発育、及びそれに伴う運動機能の発達などの専門的事項についての知識を身に付ける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する。 ・幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の定義と乳幼児期の健康の意義を説明できる。 ・乳幼児期の体の発達の特徴を説明できる。 ・幼児期における運動遊びの留意点について説明することができる。 						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 1. 健康とは? (1)健康の定義 (2)健康の捉え方	事前学習 事後学習	自分にとって“健康”とは何か考える 授業内容を振り返る			
	②	(3)子どもの健康のために 2. 乳幼児の身体発育 (1)発育・発達とは? (2)スキヤモンの発育曲線	事前学習 事後学習	「発育」と「発達」の違いを調べる。 授業内容を振り返る			
	③	(3)生理的早産説 3. 乳幼児の器官の発育 (1)骨格系の発育 (2)骨の働き	事前学習 事後学習	人間の骨格の種類について調べる 授業内容を振り返る			
	④	(3)頭蓋、脊柱、歯、について 4. 乳幼児の筋肉の発育 (1)筋肉の発育 (2)筋肉の種類	事前学習 事後学習	人間の筋肉の働きについて調べる 授業内容を振り返る			
	⑤	(3)筋肉の働き (4)ミルキングアクション作用 5. 運動の発達と運動遊び (1)運動の発達	事前学習 事後学習	ミルキングアクションについて調べる 授業内容を振り返る			
	⑥	(2)遊ぶことの意味 (3)子どもの遊びに必要な『四つの間』 (4)幼児の運動遊びの留意点	事前学習 事後学習	“遊び”とは?について考える 授業内容を振り返る			
	⑦	6. 乳幼児の運動機能の発達 (1)運動の発生 (2)運動のメカニズム	事前学習 事後学習	運動のメカニズムを調べる 授業内容を振り返る			
	⑧	試験、まとめ	事前学習 事後学習	これまでの学びをまとめる 学びの応用のついて考える			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> * 授業は必ず筆記用具を準備して臨む。 * わからないことは、そのままにせず積極的に質問する。 * 必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。 						
成績評価の方法	・定期試験 100%			教科書	『こどもと健康 資料編』		
				参考資料	シードブック 保育内容健康 【第3版】 「幼稚園教育要領」 「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	こどもと人間関係			担当教員	北川 順子		幼稚園教諭として実務経験有	
全体目標	子どもが身近な人に関わる意義、そして重要性について理解する。							
一般目標	子どもの心身の発達と身近な人的環境との関係性について理解を深める。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが身近な人に関わる重要性について説明することができる。 子どもを取り巻く環境の変化とその課題について、人間関係の視点から自らの考えを発言や文章によって示すことができる。 							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	オリエンテーション 子どもを取り巻く人間関係			事前学習	現代の幼児教育の課題について調査しておく。		
					事後学習	授業内容の振り返り		
	②	領域「人間関係」とは「ねらい」及び「内容」			事前学習	教科書の該当箇所を読む。		
					事後学習	授業内容の振り返り		
	③	乳児期の人間関係			事前学習	教科書の該当箇所を読む。		
					事後学習	授業内容の振り返り		
	④	1歳以上3歳未満児の人間関係			事前学習	教科書の該当箇所を読む。		
					事後学習	授業内容の振り返り		
⑤	3歳以上児の人間関係			事前学習	教科書の該当箇所を読む。			
				事後学習	授業内容の振り返り			
⑥	子どもの人間関係と社会性・道徳性 家庭や地域の連携			事前学習	教科書の該当箇所を読む。			
				事後学習	授業内容の振り返り			
⑦	保育者が紡ぐ『人間関係』			事前学習	教科書の該当箇所を読む。			
				事後学習	授業内容の振り返り			
⑧	試験及びまとめ			事前学習	授業内容全体の理解を深めておく。			
				事後学習	授業内容全体を振り返り、自分自身の考えをまとめる。			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 授業は必ず筆記用具を準備して臨む。 わからないことはそのままにせず積極的に質問する。 必要に応じて資料を配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。 							
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 試験 60% 平常点 40%(提出物、受講態度) 			教科書	ワークで学ぶ保育内容(株)みらい			
	以上を総合的に評価する			参考資料	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び解説書 必要に応じて適宜配布する。 			

シラバス(授業計画)

部	昼間部 午前コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと人間関係			担当教員	森 里美	保育士として 実務経験有	
全体目標	子どもが身近な人に関わる意義、そして重要性について理解する。						
一般目標	子どもの心身の発達と身近な人的環境との関係性について理解を深める。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが身近な人に関わる重要性について説明することができる。 子どもを取り巻く環境の変化とその課題について、人間関係の視点から自らの考えを発言や文章によって示すことができる。 						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① オリエンテーション 子どもを取り巻く人間関係	事前学習	現代の幼児教育の課題について調査しておく。			事後学習	授業内容の振り返り
		事後学習	授業内容の振り返り				
	② 領域「人間関係」とは「ねらい」及び「内容」	事前学習	教科書の該当箇所を熟読しておく。			事後学習	授業内容の振り返り
		事後学習	授業内容の振り返り				
	③ 乳児期の人間関係子どもの人間関係と社会・道徳性	事前学習	教科書の該当箇所を熟読しておく。			事後学習	授業内容の振り返り
		事後学習	授業内容の振り返り				
	④ 1歳以上3歳未満児の人間関係	事前学習	教科書の該当箇所を熟読しておく。			事後学習	授業内容の振り返り
		事後学習	授業内容の振り返り				
⑤ 3歳以上児の人間関係	事前学習	教科書の該当箇所を熟読しておく。			事後学習	授業内容の振り返り	
	事後学習	授業内容の振り返り					
⑥ 子どもの人間関係と社会・道徳性 家庭や地域との連携	事前学習	教科書の該当箇所を熟読しておく。			事後学習	授業内容の振り返り	
	事後学習	授業内容の振り返り					
⑦ 保育者が紡ぐ『人間関係』	事前学習	教科書の該当箇所を熟読しておく。			事後学習	授業内容の振り返り	
	事後学習	授業内容の振り返り					
⑧ 試験及びまとめ	事前学習	授業内容全体の理解を深めておく。			事後学習	授業内容全体を振り返り、自分自身の考えをまとめる。	
	事後学習	授業内容全体を振り返り、自分自身の考えをまとめる。					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 授業は必ず筆記用具を準備して臨む。 わからないことはそのままにせず積極的に質問する。 必要に応じて資料を配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 60% 提出物、受講態度 40% 			教科書	ワークで学ぶ保育内容「人間関係」(株)みらい		
				参考資料	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び解説書 必要に応じて適宜配布する。 		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと環境			担当教員	鈴木 恒一		
全体目標	幼児を取り巻く環境や、幼児と環境との関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身に付ける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児を取り巻く環境と、幼児の発達にとっての意義を理解する。 ・幼児期の思考・科学的概念の発達を理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達に影響を及ぼす幼児を取り巻く環境（人的環境、物的環境、社会的環境、自然環境等）の重要性について説明できる。 ・乳幼児の認知的発達の特徴と道筋を説明できる。 ・乳幼児の物理的、数量・図形との関わりの事象に対する興味・関心、理解の発達を説明できる。 						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 1. 環境とは？ (1)環境とは (2)幼児にとって「身近な環境」とは	事前学習 事後学習	“環境”とは何か考える 授業内容を振り返る			
	②	2. 領域「環境」において育むもの (1)保育とは (2)「幼稚園教育要領」等における保育の目標 (3)領域「環境」の「ねらい」と「内容」	事前学習 事後学習	“保育”とは何か考える 授業内容を振り返る			
	③	(4)育みたい資質・能力 (5)保育の特性とは (6)乳児保育と5領域との関係	事前学習 事後学習	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」等を熟読する 授業内容を振り返る			
	④	3. 乳幼児の心の発達 (1)感受性とは (2)感受性の発達	事前学習 事後学習	“感受性”とは何か考える 授業内容を振り返る			
	⑤	(3)思考の発達 (4)ひとり遊びの意味	事前学習 事後学習	子どもの“思考”について考える 授業内容を振り返る			
	⑥	(5)言葉とは (6)言葉と思考の関係 (7)繰り返しの意味	事前学習 事後学習	様々な環境に関わることの意味について考える 授業内容を振り返る			
	⑦	(8)イメージとは (9)模倣とイメージ (10)ごっこイメージ	事前学習 事後学習	“イメージ”とは何かを考える 授業内容を振り返る			
	⑧	試験、まとめ	事前学習 事後学習	これまでの学びをまとめる 学びの応用のついて考える			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> *授業は必ず筆記用具を準備して臨む。 *わからないことは、そのままにせず積極的に質問する。 *必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 80% ・提出物 20% 			教科書	『こどもと環境 資料編』		
				参考資料	「幼稚園教育要領」 「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	こどもと言葉			担当教員	鈴木 照美		幼稚園教諭として 実務経験有	
全体目標	領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な専門的事項に関する知識を身に付ける。							
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間にとって言葉の意義や機能を理解する。 ・乳幼児の言葉の発達の過程について理解する。 ・言葉に対する感覚を豊かにする保育実践について理解する。 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「言葉」のねらい及び内容について、発達の過程を踏まえたうえで説明することができる。 ・豊かな言葉を育む様々な遊びを理解し、いくつかの遊びを習得する。 ・児童文化財等の意義や必要性が分かり、自分なりの言葉で説明できる。 							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	言葉とは何か			事前学習	シラバスを読む。		
					事後学習	配付資料読み返す。		
	②	ねらい及び内容並びに配慮事項について 乳児期の園児の発達について			事前学習	領域「言葉」のねらい及び内容を読む。		
					事後学習	配付資料を読み返す。		
	③	言葉の発達と幼児理解 ～満1歳以上3歳未満の園児の保育①～			事前学習	教育・保育要領の乳児期及び満1歳以上満3歳未満児の基本的事項を読む。		
					事後学習	配付資料を読み返す。		
	④	言葉の発達と幼児理解 ～満1歳以上3歳未満の園児の保育②～			事前学習	要領、教育・保育要領の満3歳以上の園児の基本的事項を読む。		
					事後学習	配付資料を読み返す。		
⑤	言葉の発達 ～満3歳以上の園児の保育～ (話すこと、聞くこと、集団の中で使う言葉)			事前学習	美しい言葉(話し言葉、書き言葉)を見付ける。			
				事後学習	配付資料を読み返す。			
⑥	言葉に対する感覚を豊かにする実践(言葉遊びなど)			事前学習	言葉遊びを見付ける。			
				事後学習	配付資料を読み返す。			
⑦	豊かな言葉を育む児童文化財(絵本・物語・紙芝居など)			事前学習	絵本及び紙芝居を探す。			
				事後学習	授業で取り上げた絵本・児童書及び紙芝居を読む。			
⑧	試験、まとめ			事前学習	総復習			
				事後学習	試験内容について振り返り			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説や配布資料を読み、知識を習得し、理解する。 ・ 多くの絵本や言葉を豊かにする遊びに触れ、積極的に授業に参加する。 ・ 事前学習及び事後学習に主体的に取り組む。 							
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 70% ・受講態度 16% ・課題への取組 14% 			教科書	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			
				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」			

シラバス(授業計画)

部	昼間部 午前コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと言葉			担当教員	和田 直子	幼稚園教諭として 実務経験有	
全体目標	領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な専門的事項に関する知識を身に付ける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間にとって言葉の意義や機能を理解する。 ・乳幼児の言葉の発達の過程について理解する。 ・言葉に対する感覚を豊かにする保育実践について理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「言葉」のねらい及び内容について、発達の過程を踏まえたうえで説明することができる。 ・豊かな言葉を育む様々な遊びを理解し、いくつかの遊びを習得する。 ・児童文化財等の意義や必要性が分かり、自分なりの言葉で説明できる。 						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	言葉とは何か			事前学習	シラバスを読む。	
					事後学習	配付資料を読み返す。	
	②	「領域 言葉」のねらい及び内容			事前学習	領域「言葉」のねらい及び内容を読む。	
					事後学習	配付資料を読み返す。	
	③	言葉の発達①乳児期から3歳児の前期ごろまで			事前学習	教育・保育要領の乳児期及び満1歳以上満3歳未満児の基本的事項を読む。	
					事後学習	配付資料を読み返す。	
	④	言葉の発達②3歳児後半から修学前まで			事前学習	要領、教育・保育要領の満3歳以上の園児の基本的事項を読む。	
					事後学習	配付資料を読み返す。	
⑤	保育の中の言葉(話すことと聞くこと、集団の中で使う言葉)			事前学習	美しい言葉(話し言葉、書き言葉)を見付ける。		
				事後学習	配付資料を読み返す。		
⑥	言葉に対する感覚を豊かにする実践(言葉遊びなど)			事前学習	言葉遊びを見付ける。		
				事後学習	配付資料を読み返す。		
⑦	豊かな言葉を育む児童文化財(絵本・物語・紙芝居など)			事前学習	絵本及び紙芝居を探す。		
				事後学習	授業で取り上げた絵本・児童書及び紙芝居を読む。		
⑧	試験、まとめ			事前学習	総復習		
				事後学習	試験内容について振り返り		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説や配布資料を読み、知識を習得し、理解する。 ・ 多くの絵本や言葉を豊かにする遊びに触れ、積極的に授業に参加する。 ・ 事前学習及び事後学習に主体的に取り組む。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 70% ・課題提出 30% 			教科書	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		
				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと表現			担当教員	堀田 彩乃・浦田 一	幼稚園教諭、保育教諭として実務経験有	
全体目標	領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身に付ける。						
一般目標	幼児の表現の姿や、その発達を支援する。 身体・造形・音楽表現などの様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。						
到達目標	幼児の遊びや生活における領域「表現」について理解する。 様々な表現を感じる・みる・聴く・楽しむことを通してイメージを豊かにし、幼児の表現活動に活用する。						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	幼児期の表現の特性やそれを受け止めることの重要性について(担当:堀田)			事前学習	シラバス確認、領域「表現」について要領を読む	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	②	遊びや生活の中の表現、手遊び(担当:堀田) ・他者や環境との関わりについて			事前学習	好きな手遊びができるように準備しておく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	③	表現遊び、模倣遊び、なりきりの表現(担当:堀田) ・イメージを表現したり演じたりして遊ぶ楽しさ			事前学習	イメージや感性を豊かにする	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	④	表現「造形」における教材例(担当:堀田) ・幼児の創造性と描画能力の発達について			事前学習	必要な道具を準備しておく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑤	遊びと創造性(担当:浦田) ・遊びから生まれる表現とは			事前学習	幼児期に好んでいた「遊び」を整理する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑥	ごっこ遊び、模倣遊び(担当:浦田) ・遊びの理論と幼児の表現			事前学習	自分が経験したごっこ遊びについて整理する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑦	絵本と表現(担当:堀田) ・発達、経験に合った絵本、イメージの共有について			事前学習	好きな絵本を選び準備しておく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
⑧	お話ごっこの制作①(担当:堀田) ・内容、製作物、動きの表現について			事前学習	必要な道具を準備しておく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑨	お話ごっこの制作②(担当:堀田) ・動き、音、声色などを工夫し、演じたり表現したりする			事前学習	必要な道具を準備しておく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑩	お話ごっこの制作③(担当:堀田) ・リハーサル			事前学習	必要な道具を準備しておく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑪	お話ごっこの発表(担当:堀田)			事前学習	必要な道具を準備しておく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑫	歌唱表現・音探し・楽器の表現(担当:堀田) ・季節、行事、生活の歌、身近な音の表現について			事前学習	生活の中で聴こえる音を意識して聴いておく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑬	音楽遊び、廃材を使った簡易楽器作り(担当:堀田) ・廃材を使い楽器を製作し、音を自由に表現する			事前学習	必要な道具を準備しておく		
				事後学習	これまでの授業の内容をまとめる		
⑭	幼児の表現活動を考える(担当:堀田) ・主体的な表現を支える援助について、まとめ			事前学習	これまでの授業の内容をまとめる		
				事後学習	これまでに学んだことや課題を確認する		
⑮	試験、まとめ(担当:堀田)			事前学習	これまでに学んだことや課題をまとめる		
				事後学習	領域「表現」について理解し、幼児の表現活動に活用する		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具、ファイルを準備して授業に臨むこと ・授業内容に応じて事前に連絡する準備物を用意すること ・課題や授業内では積極的に自分の意見を述べ、表現豊かに取り組むこと ・領域「表現」について幼児との表現活動をイメージしながら参加すること 						
成績評価の方法	授業参加・取り組み	15%	教科書	幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省)／幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)／保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省)／幼児のうたとあそび(株式会社みらい)			
	グループワーク・発表等	20%		参考資料	幼稚園教育要領解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 保育所保育指針解説		
	課題・提出物	15%					
	試験	50%					

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	保育指導法総論			担当教員	加藤 由美	保育士として実務経験有	
全体目標	幼稚園教育及び保育所保育等は園生活全体を通して総合的に指導するという考え方を理解し、乳幼児教育・保育の環境を構成し実践するために必要な知識を身につける。特に、具体的な乳幼児の姿と関連づけながら遊びの中でどのような経験をしているのかについて学び、5領域のねらい及び内容とのつながりを確認し、遊びを通して育つことを理解する。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児教育・保育の基本を踏まえた幼稚園・保育所・認定こども園における指導の考え方を理解する。 ・指導計画の考え方を理解し、乳幼児の発達の過程を見通した指導計画を作成する。 ・乳幼児の興味や関心、発達の実情などに応じた具体的な指導の在り方を理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の教育における見方・考え方や遊びを通しての総合的な指導の意義と保育者の役割を理解し説明できる。 ・具体的な乳幼児の姿を関連づけながら環境を構成し、実践するために必要な知識や技能を身につける。 ・模擬保育を通して、ねらい及び内容に沿って総合的に指導する力をつける。 						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① オリエンテーション	「保育内容」をどう捉えるか			事前学習	教科書を読んでおく(P9～13)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	② 社会の変化と「保育内容」の歴史的変遷	教育要領等における「保育内容」の考え方			事前学習	教科書を読んでおく(P19～23)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	③ 「領域」をどう捉えるか	保育における「ねらい」及び「内容」の考え方			事前学習	教科書を読んでおく(P14～18)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	④ 乳児の遊びの捉え方と保育者の援助				事前学習	教科書を読んでおく(P24～28)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	⑤ 3歳未満児の遊びの捉え方と保育者の援助				事前学習	教科書を読んでおく(P29～33)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	⑥ 3歳以上児の遊びの捉え方と保育者の援助				事前学習	教科書を読んでおく(P34～38)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	⑦ さまざまな配慮を必要とする子どもの保育				事前学習	教科書を読んでおく(P102～117)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
⑧ 模擬保育(保育内容の実践)①				事前学習	模擬保育にむけて準備する		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑨ 模擬保育(保育内容の実践)②				事前学習	模擬保育にむけて準備する		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑩ 保育内容としての活動の捉え方	子ども主体の活動の在り方			事前学習	教科書を読んでおく(P54～61)		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑪ 保育内容の計画と実践(指導計画の考え方)	活動・行事をどう捉え、どう実践するか			事前学習	教科書を読んでおく(P86～101)		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑫ 小学校との接続・連携をふまえた保育				事前学習	教科書を読んでおく(P118～128)		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑬ 保育者の専門性を向上させるには	子どもにとっての保育者の役割			事前学習	教科書を読んでおく(P129～156)		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑭ 幼児期の教育・保育の基本	子どもにとっての保育者の役割			事前学習	これまでの学びを整理しておく		
				事後学習	指導計画を立案する		
⑮ 試験・まとめ				事前学習	学んだことを振り返る		
				事後学習	自分自身の課題を明確にする		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者を目指す者としての意識を持ち、意欲的・積極的に授業に臨む。 ・グループワークやグループ活動においては、活発に意見交換し、学び合いの精神を持って取り組む。 						
成績評価の方法	定期試験 40%			教科書	「新・保育内容総論 保育って、おもしろい」(教育情報出版)		
	授業参加状況や受講態度 20%				参考資料	幼稚園教育要領解説	
提出物(授業のプリント内容、課題等) 40%			保育所保育指針解説				
					幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説		
					その他適宜授業で紹介する		

シラバス(授業計画)

部	昼間部 午前コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	保育指導法総論			担当教員	林 美春		
全体目標	幼稚園教育及び保育所保育等は園生活全体を通して総合的に指導するという考え方を理解し、乳幼児教育・保育の環境を構成し実践するために必要な知識を身につける。特に、具体的な乳幼児の姿と関連づけながら遊びの中でどのような経験をしているのかについて学び、5領域のねらい及び内容とのつながりを確認し、遊びを通して育つことを理解する。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児教育・保育の基本を踏まえた幼稚園・保育所・認定こども園における指導の考え方を理解する。 ・指導計画の考え方を理解し、乳幼児の発達の過程を見通した指導計画を作成する。 ・乳幼児の興味や関心や発達の実情などに応じた具体的な指導の在り方を理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の教育における見方・考え方や遊びを通しての総合的な指導の意義と保育者の役割を理解し説明できる。 ・具体的な乳幼児の姿を関連づけながら環境を構成し、実践するために必要な知識や技能を身につける。 ・模擬保育を通して、ねらい及び内容に沿って総合的に指導する力をつける。 						
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 「保育内容」をどう捉えるか			事前学習	教科書を読んでおく(P1～6)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	②	保育内容の歴史の変遷 「領域」をどう捉えるか			事前学習	教科書を読んでおく(P7～17)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	③	幼稚園・保育所・認定こども園について 現代に求められる保育の基本と保育内容			事前学習	教科書を読んでおく(P18～41)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	④	乳児の遊びと保育環境			事前学習	教科書を読んでおく(P49)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	⑤	3歳未満児の遊びの捉え方と保育環境			事前学習	教科書を読んでおく(P50～51)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	⑥	3歳以上児の遊びの捉え方と保育環境			事前学習	教科書を読んでおく(P51～52)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
	⑦	子ども理解に基づく評価について さまざまな配慮を必要とする子どもの保育			事前学習	教科書を読んでおく(P72～83)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する	
⑧	「保育内容」小テスト			事前学習	これまで学んだことを整理する		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑨	保育内容の計画(指導計画の考え方)			事前学習	これまで学んだことを整理する		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑩	保育内容の計画(指導計画の実践)			事前学習	これまで学んだことを整理する		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑪	小学校との接続・連携をふまえた保育 家庭や地域との連携と保育内容			事前学習	教科書を読んでおく(P84～98)		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑫	模擬保育(保育内容の実践)前半			事前学習	模擬保育にむけて準備する		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑬	模擬保育(保育内容の実践)後半			事前学習	模擬保育にむけて準備する		
				事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑭	保育の多様な展開について			事前学習	教科書を読んでおく(P99～113)		
				事後学習	指導計画を立案する		
⑮	試験・まとめ			事前学習	これまで学んだことを振り返る		
				事後学習	自分自身の課題を明確にする		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者を目指す者としての意識を持ち、意欲的・積極的に授業に臨む。 ・グループワークやグループ活動においては、活発に意見交換し、学び合いの精神を持って取り組む。 ・シラバスの内容は変更することがあります。 						
成績評価の方法	定期試験	50%	教科書	子ども中心の実践に学ぶ 保育内容総論 (建帛社)			
	授業参加状況や受講態度	20%					
	提出物(授業のプリント内容、課題等)	30%	参考資料	幼稚園教育要領解説 保育所保育指針解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説			
				その他適宜授業で紹介する			

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	健康指導法			担当教員	丹羽 加奈子	保育士として実務経験有	
全体目標	領域「健康」に示されたねらい及び内容について、関連する専門領域と含め理解し、幼児の発達に即して、主体的・対話的に学び、実際の保育場面を想定し、保育を構想する方法を身につける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「健康」のねらいと内容を理解する。 ・幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「健康」に関わる具体的な指導場面を想定した保育方法を身につける。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「健康」のねらい及び内容、並びに全体構造を理解している。 ・領域「健康」に示されたねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点を理解している。 ・様々な計画があることを知り、領域「健康」をふまえた上で、より子どもにふさわしい計画を考えられるようになる。 						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	領域「健康」とは 保育における子どもの健康・発達 保育内容の領域「健康」			事前学習	幼稚園教育要領「健康」の所を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	②	領域「健康」の展開 乳児保育における3つの視点と展開 領域「健康」の展開			事前学習	保育所保育指針を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	③	保育の過程 保育の計画 指導計画の作成 保育の実践			事前学習	教科書P44～51を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	④	大人とのかかわりの実践 アタッチメントの形成の重要性 乳児の成長に寄り添うかかわり			事前学習	教科書P54～60を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑤	身体とのかかわりの実践 安心・安全な生活の中で形成される生活リズム			事前学習	教科書P62～68を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑥	基本的な生活習慣を身につける実践 子ども自らが気づけるような保育者のかかわり			事前学習	教科書P70～77を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑦	さまざまな遊びの実践 グループワーク 子どもの運動遊びの重要性			事前学習	教科書P80～95を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
⑧	さまざまな遊びの計画 グループワーク 子ども達にふさわしい遊びを計画する			事前学習	計画の内容を考えておく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑨	環境とかかわりながら遊ぶとは 環境とかかわって遊ぶことの重要性			事前学習	教科書P98～109を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑩	食べることを楽しむかかわり 食育基本法と食育ピストグラム 食育における保育者のかかわり			事前学習	教科書P112～116を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑪	健康や安全教育 子ども自身が健康の大切さに気づく			事前学習	教科書P120～125を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑫	遊びを通した総合的な指導の展開 主体的・対話的で深い学びにつながる活動実践			事前学習	教科書P130～139を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑬	小学校との連携・接続 接続カリキュラムとその実践			事前学習	教科書P140～144を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑭	領域「健康」にかかわる現代的課題 現代の子どもの生きる社会の実態			事前学習	教科書P146～154を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑮	試験・まとめ これまでの振り返りをする			事前学習	学んだことを復習する		
				事後学習	授業内容が実践につながるように復習する		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業には必ず筆記用具を準備し積極的に取り組み、分からないことはそのままにせず質問すること ・子どもや幼児教育に関心を持って、保育者を目指すものとして自覚をもって学ぶこと ・日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見る習慣にすること ・必要に応じて資料配布する。当日欠席した場合は、必ず取りに来ること 						
成績評価の方法	・定期試験 60% ・授業参加状況・課題 40% (授業での取り組み・グループワーク・レポート作成 等) 以上を総合的に評価する			教科書	実践例から学びを深める保育内容・領域 健康指導法 わかば社 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」		
				参考資料	保育内容 健康 榎沢良彦・入江礼子 編著 建帛社 領域 健康 無藤隆 監修 萌文書林		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	人間関係指導法			担当教員	北川 順子	幼稚園教諭として 実務経験有	
全体目標	幼児が園生活を通して、集団の中で育ち、社会とつながりを持ちながら豊かな人間関係を育てるために、幼児教育においてはよくみたい資質・能力を理解し、領域「人間関係」のねらいと内容について理解を深める。幼児の発達に即した主体的・対話的で深い学びを実現するため、振り返りや見通しを持って、具体的な保育場面をイメージして、実践力を身につける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・3指針・要領に示された、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する。 ・幼児期の子どもの「人とかかわり」の発達過程を理解し、保育者の援助や環境構成の在り方等、保育現場を想定した具体的な実践方法を身につける。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・3指針・要領の基本をふまえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を含めた総合的な見方を理解できる。 ・領域「人間関係」の特性や、環境構成などにおける、教材の効果的な活用法を理解し、想定した保育場面に生かすことができる。 						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	ガイダンス	領域人間関係が目指す子どもの育ち・保育者の視点	事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	②	子どもの生活の中で育まれる人間関係		事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	③	子どもの遊びの中で育まれる人間関係		事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	④	多様な配慮と保育構想		事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑤	保護者支援とは		事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑥	保育展開と指導計画		事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑦	模擬保育の計画・準備		事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑧	指導計画の準備・リハーサル		事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑨	指導計画の実践 模擬保育1回目		事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑩	指導計画の実践 模擬保育2回目		事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑪	模擬保育のふりかえり 指導計画の添削		事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑫	子ども理解と集団理解のための記録		事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑬	幼児期の終わりまでに育ってほしい「人間関係」とは		事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑭	地域連携と保育の構想		事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
⑮	試験・まとめ		事前学習 事後学習	これまでの学びの確認。 まとめの内容を把握する。			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に授業に臨んでください。 ・日々の授業で、子どもの姿をイメージし、実際の場面で生かすことができるように取り組みましょう。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験 50% ・平常点 20% (提出物、受講態度) ・指導計画の演習参加 30% 			教科書	ワークで学ぶ保育内容「人間関係」(株)みらい		
	以上を総合的に評価する			参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び解説書 ・必要に応じて適宜配布する。 		

シラバス(授業計画)

部	昼間部 午前コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	人間関係指導法			担当教員	清水 千里	保育士として 実務経験有	
全体目標	乳幼児期に育みたい資質・能力を理解し、領域「人間関係」のねらいと内容について理解を深める。乳幼児の発達に即した主体的・対話的で深い学びを実現するため、振り返りや見通しを持って、具体的な保育場面をイメージして、実践力を身につける。						
一般目標	乳幼児教育の発達の特性を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解し、保育者の援助や環境構成の在り方等、保育現場を想定した具体的な実践方法を身につける。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児教育の特性、領域「人間関係」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。 ・乳幼児の心情、認識、思考及び動き等を踏まえた環境の重要性を理解し、保育構想に活用することができる。 ・指導計画の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導計画を作成することができる。 						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 領域「人間関係」の構造			事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	②	子どもの生活の中で育まれる人間関係①子どもの生活体験			事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	③	子どもの生活の中で育まれる人間関係②生活環境の工夫			事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	④	子どもの遊びの中で育まれる人間関係①子どもの遊び体験			事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	⑤	子どもの遊びの中で育まれる人間関係②遊び環境の工夫			事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	⑥	保育の展開と指導計画 ①グループ編成 ②指導計画の作成			事前学習	様々な保育実践のイメージを持って臨む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	⑦	指導計画に基づく保育実践 3歳以上児クラスの保育実践1			事前学習	指導計画を具体的に実行できるようにしておく。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
⑧	保育実践の振り返りと指導計画作成			事前学習	様々な保育実践のイメージを持って臨む。		
				事後学習	授業内容を振り返る。		
⑨	指導計画に基づく保育実践 3歳以上児クラスの保育実践2			事前学習	指導計画を具体的に実行できるようにしておく。		
				事後学習	授業内容を振り返る。		
⑩	保育実践の振り返り(グループワーク)			事前学習	保育実践の振り返りを行ってしておく。		
				事後学習	授業内容を振り返る。		
⑪	保育実践の振り返りから乳幼児にとっての人間関係を考察			事前学習	乳幼児にとっての人間関係を振り返ってしておく。		
				事後学習	授業内容を振り返る。		
⑫	多様な配慮と保育構想			事前学習	教科書の該当箇所を読む。		
				事後学習	授業内容を振り返る。		
⑬	小学校生活への接続			事前学習	教科書の該当箇所を読む。		
				事後学習	授業内容を振り返る。		
⑭	地域の連携と保育の構想			事前学習	要領・指針の該当箇所を読む。		
				事後学習	授業内容を振り返る。		
⑮	試験 まとめ			事前学習	これまでの学びの確認。		
				事後学習	まとめの内容を把握する。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を守る ・提出物は速やかに出す ・人の話に耳を傾ける ・プリントは1冊のファイルにまとめる ・実践現場をイメージしながら取り組む 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 60% ・提出物 40% 			教科書	ワークで学ぶ保育内容「人間関係」 菊池篤子 みらい		
				参考資料	平成30年幼稚園教育要領解説書 平成30年保育所保育指針解説書 平成30年幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説書		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	環境指導法			担当教員	鈴木 恒一		
全体目標	領域「環境」に示されたねらい及び内容について、関連する専門領域と含め理解し、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、保育を構想する方法を身につける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領等に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「環境」のねらい及び内容を理解する。 ・幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構成する方法を身につける。 						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児期の教育の特性について説明することができる。 2. 領域「環境」の特性及び幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育構想に活用することができる。 3. 領域「環境」の視点から、現代社会における子どもの育ちに関する課題を説明することができる。 						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション I. 子どもの育ちに関わる現代の社会環境とその課題 1 超少子化時代 (1)超少子化時代の実態			事前学習	超少子化時代の課題について考える	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	②	(2)少子化の要因			事前学習	少子化の要因について調べる	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	③	2 幼児教育と早期教育 (1)早期教育とは (2)早期教育の利点 (3)早期教育の批判			事前学習	早期教育について調べる	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	④	II. 子どもの育ちを支える保育環境 1 子どもの育ちを支える人的環境(乳児期) (1)人間の子ども (2)親と子の絆の形成			事前学習	保育者という人的環境に必要な資質を考える	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑤	(3)抱くことの意味について (4)乳児期における人的環境			事前学習	親子の絆の形成方法について考える	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑥	(5)乳児期の重要性 DVD 赤ちゃんが笑わない 課題レポート作成			事前学習	親子の絆の重要性について考える	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑦	2 子どもの育ちを支える人的環境(幼児期) (1)子どもと保育者 (2)応答的受容の関係の構築			事前学習	保育者に必要な子どもへの援助を考える	
					事後学習	授業内容を振り返る	
⑧	【事例】による子どもの内面と保育者の意図の読み取り 3・4歳児			事前学習	事例を熟読して、その場面をイメージする		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑨	【事例】による子どもの内面と保育者の意図の読み取り 4・5歳児 (3)保育者の役割 (4)規範とは			事前学習	授業を振り返り保育者の役割について考える		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑩	3 子どもの育ちを支える物的環境(保育施設) (1)子どもにとってふさわしい保育環境とは (2)子どもにとっての園環境とは			事前学習	子どもにとってふさわしい保育環境を考える		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑪	4 子どもの育ちを支える物的環境(物、自然・生物) (1)物との関わりにおける子どもの育ち (2)物との関わり (3)物の特性と教育的意味 (4)道具という教材			事前学習	様々な物との関わる意義について考える		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑫	(4)道具という教材 (5)自然との関わりにおける子どもの育ち			事前学習	自然教育の意義について考える		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑬	5 子どもの育ちを支える物的環境(数量、図形、文字 標識) (1)数量・図形への興味と認識の育ち (2)子どもの図形の概念の発達 (3)文字・標識への興味と認識の育ち			事前学習	子どもたちが文字に興味を持つための方法を考える		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑭	6 保育における情報機器の活用 (1)メディア教材の活用 (2)メディア教材活用の課題			事前学習	保育における情報機器の活用について考える		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑮	試験、まとめ			事前学習	これまでの学びをまとめる		
				事後学習	学びの応用のついて考える		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> * 授業は必ず筆記用具を準備して臨む。 * わからないことは、そのままにせず積極的に質問する。 * 必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 80% ・提出物 20% 			教科書	『環境指導法 資料編』		
				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	言葉指導法			担当教員	荒木 弘子		
全体目標	乳幼児の言葉の発達について理解できるようになる。また、領域「言葉」とその他の領域との関係を理解した上で、ケーススタディを通して指導方法を工夫できるようになる。さらに、乳幼児期に用いる児童文化財(絵本や紙芝居等)の意義について理解し、教材を保育の場で効果的に活用できるようになる。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の言葉の発達過程を理解し、領域「言葉」に関する指導についての基盤を養う。 ・言葉に対する総合的理解を深める。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育に関する領域「言葉」の意義・ねらい・内容を理解する。 ・乳幼児の生活を豊かにするための児童文化財の活用及び作成の技術を習得する。 ・乳幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 領域の考え方と言葉の育ち			事前学習	シラバスの概要を読む。	
					事後学習	授業内容の振り返りをする。	
	②	領域「言葉」 領域「言葉」のねらいと内容			事前学習	教科書pp.152-157を読む。	
					事後学習	授業内容の振り返りをする。	
	③	子どもの発達と言葉 乳児の発達と言葉 /小テスト①			事前学習	教科書pp.160-169を読む。	
					事後学習	授業内容の振り返りをする。	
	④	子どもの発達と言葉 幼児の発達と言葉			事前学習	教科書pp.169-179を読む。	
					事後学習	授業内容の振り返りをする。	
	⑤	前言語期のコミュニケーションと保育 言語獲得前のコミュニケーション/小テスト②			事前学習	教科書pp.182-191を読む。	
					事後学習	授業内容の振り返りをする。	
	⑥	前言語期のコミュニケーションと保育 コミュニケーションを育むための働きかけ			事前学習	教科書pp.191-199を読む。	
					事後学習	授業内容の振り返りをする。	
	⑦	話し言葉の機能と発達 「話す」ということ/小テスト③			事前学習	教科書pp.202-211を読む。	
					事後学習	授業内容の振り返りをする。	
	⑧	話し言葉の機能と発達 園生活で話す力を育てる			事前学習	教科書pp.211-216を読む。	
				事後学習	授業内容の振り返りをする。		
⑨	書き言葉の発達と保育 文字の読み書きと保育/小テスト④			事前学習	教科書pp.220-227を読む。		
				事後学習	授業内容の振り返りをする。		
⑩	書き言葉の発達と保育 文字の読み書きを支援する方法			事前学習	教科書pp.228-234を読む。		
				事後学習	授業内容の振り返りをする。		
⑪	言葉に関する諸問題 言葉に関する課題/小テスト⑤			事前学習	教科書pp.238-246を読む。		
				事後学習	授業内容の振り返りをする。		
⑫	言葉に関する諸問題 母語が日本語ではない子ども			事前学習	教科書pp.246-253を読む。		
				事後学習	授業内容の振り返りをする。		
⑬	言葉の発達と児童文化財・言葉遊び 児童文化財の概要と意味			事前学習	課題の絵本ノートを振り返る。		
				事後学習	授業内容の振り返りをする。		
⑭	言葉の発達と児童文化財・言葉遊び 児童文化財と言葉の発達			事前学習	絵本の読み聞かせの復習をする。		
				事後学習	授業内容の振り返りをする。		
⑮	試験・まとめ			事前学習	教科書および配布資料を見直す。		
				事後学習	学修内容を整理し保育の場で活用できるよう見直しておく。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回授業の中で手遊びや絵本の読み聞かせを行う。今後の保育や実習に生かせるよう、手遊びは復習し、絵本も授業で紹介するブックリストを参考に積極的に読むこと。 ・グループでの話し合いには積極的に参加し、他者の意見を参考に自分の保育の振り返りができるよう取り組むこと。 						
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度	20%	教科書	馬見塚昭久・小倉直子『保育学生のための「幼児と言葉」 「言葉指導法」』 ミネルヴァ書房 2022			
	小テスト(全6回)	25%					
	提出物(絵本ノート)	15%	参考資料	『保育所保育指針解説』 フレーベル館 2019 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 フレーベル館 2019 『保育内容・言葉』 太田光洋編 同文書院 2018			
	定期試験	40%					
	以上を総合的に評価する。						

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	表現(音楽)指導法			担当教員	藤田 桂子 桐生 敬子 奥野 靖子		
全体目標	領域「表現」のねらい及び内容を、乳幼児の育ちと関連付けて具体的に理解する。様々な音楽表現について学習し、保育における実践能力を養う。						
一般目標	子どもの育ちと音楽との関わりについて理解し、年齢や発達に沿った音楽表現の素材を選択する。幼児の表現の芽生えを受け止めて、幼児が生活の中で幼児らしい様々な表現を楽しむことができるようになるための、伸びやかで創造的な音楽表現の援助をおこなうことができる。						
到達目標	自然の中のさまざまな音や季節の移り変わりなどを感じ、表現活動につなげる。様々な音楽教育について知り、指導案を作成して模擬保育をおこなう。総合的な音楽表現指導の一例として、「ドラムジカ」を制作する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	領域「表現」のねらいと内容について乳幼児の育ちと関連付けて理解する。乳児の音楽的表現活動について学習する。			事前学習	教科書の該当部分を読み込む	
					事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り	
	②	乳幼児の具体的な姿を事例と映像から理解し、その表現活動について考える。ユニバーサルデザインの音楽表現の実践を学習する。			事前学習	教科書の該当部分を読み込む	
					事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り	
	③	幼児の音楽的表現活動における心情や認識、思考について学び、幼児の表現に対する援助、指導の方法とその留意点を学習する。			事前学習	教科書の該当部分を読み込む	
					事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り	
	④	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と小学校教育への関連性について考える。インクルーシブな保育を反映した実践を学習する。			事前学習	教科書の該当部分を読み込む	
					事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り	
	⑤	リズムの持つ様々な力について知り、知識を深める。リズムを用いた音楽教育であるリミックに焦点を当てて理論を理解したのち実践する。			事前学習	教科書の該当部分を読み込む	
					事後学習	配布資料を読み込む	
	⑥	自然界の様々な音を情報機器を用いて録音したうえでオノマトペに変換し、創造的なリズム遊びを制作する。			事前学習	教科書の該当部分を読み込む	
					事後学習	発表準備	
	⑦	創作したリズム遊びをグループごとに発表する。相互評価をおこない、お互いに意見を言い合う。			事前学習	提出課題準備	
					事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り	
⑧	総合的な音楽表現指導の一例として、「ドラムジカ」を制作する。脚本を作成し選曲をおこない、作成道具についても話し合う。			事前学習	資料準備		
				事後学習	個人練習		
⑨	「ドラムジカ」の脚本を完成させ、読み合わせをおこなう。同時に演出プランを考える。道具の作成を開始する。			事前学習	個人練習		
				事後学習	個人練習		
⑩	引き続き「ドラムジカ」を制作する。暗譜し具体的な動きを考える。これまでの学習を生かしグループ内で活発に意見交換をする。			事前学習	個人練習		
				事後学習	個人練習		
⑪	引き続き「ドラムジカ」を制作する。通し稽古をおこないその後振り返りをして改善点を洗い出す。			事前学習	個人練習		
				事後学習	個人練習		
⑫	「ドラムジカ」を完成させ、グループ内でリハーサルをおこなう。			事前学習	個人練習		
				事後学習	個人練習		
⑬	グループごとに「ドラムジカ」を発表する。相互評価をおこない、制作の目的を捉えることができているかを振り返る。			事前学習	個人練習		
				事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り		
⑭	年間の指導案の枠組みを理解したうえで、細案(音楽)の作成方法を学習し、教材研究をおこなう。			事前学習	資料準備		
				事後学習	教材研究		
⑮	作成した指導案に基づきグループワークによる模擬保育をおこなう。相互評価をして対話による振り返りをおこなう。授業のまとめ			事前学習	教材研究		
				事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り		
学習上の留意点	グループ活動を多くおこなうため、他の学生に迷惑になることを考え、授業を欠席しないこと。授業に必要な楽譜等の資料準備は、授業時間外でおこなうこと。						
成績評価の方法	受講態度30% グループワークにおける貢献度20% 提出物20% 発表30% 以上の総合評価とする			教科書	幼稚園教育要領(最新版)、保育所保育指針(最新版)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領(最新版) 一人一人を大切にユニバーサルデザインの音楽表現/萌文書林 幼児のうたとあそび/ふくろう出版		
				参考資料	「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	表現(造形)指導法			担当教員	永井 弘人	特別支援学校教諭(美術)として実務経験有	
全体目標	「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにすることをめざす「表現」について、その内容と背景となる専門領域と関連させた理解を深める。 また、幼児の発達に即して主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえた指導場面を想定した知識・技能・表現力を身に付ける。						
一般目標	幼稚園教育要領等に示された幼児教育の基本を踏まえ、領域「表現」のねらい及び内容を理解する。 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。						
到達目標	幼稚園教育要領等における幼稚園教育の基本、領域「表現」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。 指導案の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 様々な表現を感じる・みる・聴く・楽しむことを通してイメージを豊かにすることができる。						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	幼稚園教育要領等に示された領域「表現」のねらい及び内容の理解と具体的指導の理解について 変遷と改定趣旨(絵画制作から表現へ)			事前学習	シラバスを確認し、幼稚園教育要領等に示された領域「表現」のねらい及び内容を読む。	
					事後学習	重要事項について復習し理解を深める。	
	②	紙で作るおもちゃ(厚紙)① 制作と指導における安全配慮と評価			事前学習	基礎的な知識を確認し、まとめる。	
					事後学習	重要事項について復習し理解を深める。	
	③	紙で作るおもちゃ(紙パック他)② 制作と指導における安全配慮と評価			事前学習	作品のアイデアをまとめる。	
					事後学習	重要事項について復習し理解を深める。	
	④	様々な描画技法の演習 モダンテクニック①(マーブリング他)			事前学習	作品のアイデアをまとめる。	
					事後学習	製作について復習し理解を深める。	
	⑤	様々な描画技法の演習 モダンテクニック②(こすりだし他)			事前学習	作品のアイデアをスケッチする。	
					事後学習	製作について復習し理解を深める。	
	⑥	表現と発達段階 「頭足人」などに見られる発達と表現の関係			事前学習	表現に関するテキストを読んでおく	
					事後学習	重要事項について復習し理解を深める。	
	⑦	表現材料(描画以外の表現) 表現と幼児の主体的な活動を促す言葉がけ			事前学習	教材活用のアイデアをまとめる。	
					事後学習	作品に対する感想や評価の言葉を考える。	
⑧	コラージュ等の技法修得と制作指導について 表現と幼児の主体的な活動を促す言葉がけ			事前学習	コラージュ等のアイデアをまとめる。		
				事後学習	作品に対する感想や評価の言葉を考える。		
⑨	半立体の製作と指導について 表現と幼児の主体的な活動を促す言葉がけ			事前学習	半立体作品のアイデアをまとめる。		
				事後学習	作品に対する感想や評価の言葉を考える。		
⑩	幼児の鑑賞(日本の絵画・彫刻) 幼児の興味関心を促す言葉がけ			事前学習	鑑賞教材のアイデアをまとめる。		
				事後学習	作品に対する感想や評価の言葉を考える。		
⑪	幼児の鑑賞(西洋の絵画・彫刻) 表現と幼児の興味関心を促す言葉がけ			事前学習	鑑賞教材のアイデアをまとめる		
				事後学習	作品に対する感想や評価の言葉を考える。		
⑫	模擬保育の構想と指導案の立て方や評価について 切り絵における指導案例			事前学習	指導案に関するテキストを読んでおく。		
				事後学習	模擬保育に関する指導案(略案)をたてる。		
⑬	造形に関する模擬保育(共同制作)Ⅰ実践と振り返り 季節(夏)を感じる題材による指導計画の立案と実践			事前学習	造形模擬保育の指導案の立案をする。		
				事後学習	課題と成果をまとめる。		
⑭	造形に関する模擬保育(壁面制作)Ⅱ実践と振り返り 季節(冬)を感じる題材による指導計画の立案と実践			事前学習	造形指導案の立案する。		
				事後学習	課題と成果をまとめる。		
⑮	試験・講評 領域「表現」に関するまとめ			事前学習	今までに学んだことや課題等をまとめておく		
				事後学習	知識や技能の整理と確認する。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・表現(造形)に関する知識に基づく指導場面を意識しその理論的背景の認識を深める。 ・事前準備を入念に行った上で、積極的に事例検討やグループ討議を行なう。 ・課題や授業内で自分の考えを述べられるようにする。 ・制作に関する作品は、授業時間内に提出できるようにする。 						
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度	20%		教科書	幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省)		
	提出課題(制作物を含む)	40%			参考資料	「保育をひらく造形表現」 横 英子 「幼児造形の研究」 辻 泰秀 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」	
	試験	40%					

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育原理 (教育に関する社会的、制度的又は経営的事項を含む)			担当教員	溝脇 克弥		
全体目標	(1)教育の基本的概念や理念について、教育(学校)の歴史や思想を学ぶことで理解する。 (2)現代の学校教育に関する社会的事項について、基礎知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。						
一般目標	(1)教育の目的・意義と教育を成り立たせる制度・歴史・文化について、相互関係のうちに理解する。 (2)教育制度や実践の歴史の変遷と、その背後にある教育思想について理解する。 (3)社会変動による教育への影響、ならびにそれに対応するための政策動向や実践現場における具体的取り組みを学ぶ。						
到達目標	(1)教育の基本的概念に関する代表的な考え方や理念について学習する。 (2)西洋と日本における子ども観や教育制度の変遷、代表的な教育思想について学習する。 (3)教育をめぐる近年の状況変化について理解し、それに対応する日本の教育政策や実践の動向を学習する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	ガイダンス	事前学習	これまでの学校経験の振り返り	事後学習	講義内容の復習	
	②	教育の目的と意義 人間の発達をめぐって	事前学習	事前配布プリントを読んでくる	事後学習	講義内容の復習	
	③	教育の思想(1) 教育の萌芽と「子ども」の発見	事前学習	事前配布プリントを読んでくる	事後学習	講義内容の復習	
	④	教育の思想(2) ルソーの教育思想	事前学習	事前配布プリントを読んでくる	事後学習	講義内容の復習	
	⑤	教育の思想(3) 民衆教育と幼稚園	事前学習	事前配布プリントを読んでくる	事後学習	講義内容の復習	
	⑥	教育の思想(4) 教育思想と実践のかかわり	事前学習	事前配布プリントを読んでくる	事後学習	講義内容の復習	
	⑦	中間テスト	事前学習	これまでの学習内容の確認	事後学習	講義内容の復習	
	⑧	教育と学校の歴史(1) 公教育制度の成立	事前学習	事前配布プリントを読んでくる	事後学習	講義内容の復習	
	⑨	教育と学校の歴史(2) 戦前・戦後の日本の教育	事前学習	事前配布プリントを読んでくる	事後学習	講義内容の復習	
	⑩	教育と学校の歴史(3) 子どもの権利をめぐって	事前学習	事前配布プリントを読んでくる	事後学習	講義内容の復習	
	⑪	教育・保育の課題(1) 現代的課題を探る	事前学習	事前配布プリントを読んでくる	事後学習	グループ発表の準備	
	⑫	教育・保育の課題(2) 現代的課題を分析する	事前学習	グループ発表の準備	事後学習	グループ発表の準備	
	⑬	教育・保育の課題(3) 現代的課題を整理し、表現する	事前学習	グループ発表の準備	事後学習	グループ発表の準備	
	⑭	教育・保育の課題(4) これからの教育・保育を考える	事前学習	グループ発表の準備	事後学習	リフレクションシートの記入	
⑮	試験・まとめ	事前学習	これまでの学習内容の確認	事後学習	解答内容の確認		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 講義では全体・一般・到達目標を意識しながら、その目標を達成するために必要な学修を実践してもらいたい。 この講義ではグループワークを行うため、受講者の積極的な参加を求める。 「授業のながれ」は受講者の関心に合わせながら順番を変更することがある。 						
成績評価の方法	定期試験	50%	教科書	なし	参考資料		
	中間テスト	30%					
	提出物/受講態度 (グループワークへの貢献度を含む)	20%				沙見聡幸・伊藤敬・高田文子・東宏行・増田修治(編)『よくわかる教育原理』ミネルヴァ書房、2011年 木村元・沙見聡幸(編)『アクティベート教育学① 教育原理』ミネルヴァ書房、2020年 木村元・小玉重夫・船橋一男『教育学をつかむ』改訂版』有斐閣、2019年 戸江茂博(編)『保育原理』ミネルヴァ書房、2019年 沙見聡幸・武藤隆・大豆生田啓友(編)『アクティベート教育学① 保育原理』ミネルヴァ書房、2019年	

シラバス(授業計画)

部	昼間部 午前コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育原理 (教育に関する社会的、制度的又は経営的事項を含む)			担当教員	長岡 甫		
全体目標	(1)教育の基本的概念、意義、目的について、子ども家庭福祉との関わりの中で理解する。 (2)教育に関する歴史、思想、制度、実践について学び、現代における教育の役割、教育者・保育者としての自らのあり方を考える。						
一般目標	(1)教育の本質及び目標、教育を成り立たせる諸要因とそれらの相互関係について、子ども家庭福祉との関わりの中で理解する。 (2)教育や学校の変遷、その背後にある教育に関する様々な思想について理解する。 (3)社会の変化による教育への影響並びにそれに対応するための教育政策の動向や、教育機関、地域における具体的な取り組みを学ぶ。						
到達目標	(1)教育の基本的概念に関する代表的な考え方や、子ども・教師・家庭・学校・地域といった諸要因、教育と福祉の関連について理解する。 (2)西洋と日本における子ども観や教育の歴史と、代表的な教育家の思想について理解する。 (3)子どもをめぐる近年の状況変化について理解し、それに対応する教育政策の動向を理解する。特に、学校と家庭・地域との連携や生涯学習社会における教育者・保育者の役割やあり方について、具体的な事例をもとに学び、考える。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① ガイダンス				事前学習	学校体験の振り返り	
					事後学習	講義内容の復習	
	② 教育の意義・目的(1)教育の定義について考える				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	③ 教育意義・目的(2)教育の意義・目的、乳幼児期の教育				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	④ 教育と子ども家庭福祉(1)子どもの権利条約と教育				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑤ 教育と子ども家庭福祉(2)地域ぐるみの子育てと教育				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑥ 教育の思想と歴史(1) 諸外国の教育思想				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑦ 教育の思想と歴史(2) 諸外国の教育の歴史				事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑧ 教育の思想と歴史(3) 日本の教育思想と歴史				事前学習	これまでの学習内容の確認	
				事後学習	解答内容の振り返り		
⑨ 教育の制度(1) 近代教育制度の成立				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑩ 教育の制度(2) 戦前日本の教育制度				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑪ 教育の制度(3) 戦後日本の教育制度				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑫ 生涯学習社会における教育(1)社会教育と生涯学習				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑬ 生涯学習社会における教育(2) 社会課題と生涯学習				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑭ 生涯学習社会における教育(3) 教育・保育者と生涯学習				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	講義内容の確認		
⑮ 試験・まとめ				事前学習	これまでの学習内容の確認		
				事後学習	回答内容の確認		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・講義の内容の理解のみに留まらず、それに対する積極的批判をもとに受講者各自が自身の教育・保育に対する見方を養うことを心がけること。 ・グループディスカッションなど発言を求める際には、受講者の主体的な参加を求める。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 60% ・提出物・受講態度 40% 			教科書	なし		
				参考資料	『最新 保育士養成講座』総括編集委員会(編)改訂1版 最新 保育士養成講座 第2巻 教育原理 社会福祉法人 全国社会福祉協議会、2024年 木村元・汐見稔幸(編)『アクティベート教育学① 教育原理』ミネルヴァ書房、2020年		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教職概論			担当教員	溝脇 克弥		
全体目標	教育や保育のニーズが複雑化している現代社会とのかかわりを意識しながら、教職(保育職)が有する役割・資質能力・職務内容について理解を深める。						
一般目標	(1) 日本における教職(保育職)の社会的意義や、求められる役割・資質能力について理解する。 (2) 教育や保育のニーズが複雑化するなかで、学校・園内外の専門家等が連携・協力する必要性を理解する。						
到達目標	(1) 教職(保育職)の意義や職業の特徴、教職に対する社会のまなざしの歴史の変遷について理解する。 (2) 教職(保育職)が担う職務内容に加え、学校・園の運営に関する基本的な事項について理解する。 (3) 社会との関わりをなかで、教職(保育職)の担うべき仕事について理解する。						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	ガイダンス			事前学習	これまでの学校経験の振り返り	
					事後学習	講義内容の復習	
	②	教職・保育者の特徴(1) 社会的役割と職業文化			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	③	教職・保育者の特徴(2) 求められる専門性と資質能力			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	④	教職・保育者の特徴(3) サービスと権利			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	⑤	教職・保育者へのまなざし(1) 教職・保育者への社会的期待			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	⑥	教職・保育者へのまなざし(2) メディア作品を読み解く			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	講義内容の復習	
	⑦	中間テスト			事前学習	これまでの学習内容の確認	
					事後学習	講義内容の復習	
⑧	教職・保育者の働き方(1) 職務内容とその一日			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	講義内容の復習		
⑨	教職・保育者の働き方(2) 労働環境と働き方改革			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	講義内容の復習		
⑩	現代社会における教職・保育者(1) 幼児教育に対する現代的ニーズ			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	講義内容の復習		
⑪	現代社会における教職・保育者(2) 幼児教育の現在と未来			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	講義内容の復習		
⑫	チームでの連携(1) 保護者・同僚・他職種との連携とICT			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	講義内容の復習		
⑬	チームでの連携(2) ジグソー学習の準備			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	ジグソー学習で与えられた課題の準備		
⑭	チームでの連携(3) ジグソー学習によるチーム実践			事前学習	ジグソー学習で与えられた課題の準備		
				事後学習	リフレクションシートを書いてくる		
⑮	試験・まとめ			事前学習	これまでの学習内容の確認		
				事後学習	解答内容の確認		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・講義では全体・一般・到達目標を意識しながら、その目標を達成するために必要な学修を実践してもらいたい。 ・この講義ではグループワークを行うため、受講者の積極的な参加を求める。 ・「授業のながれ」は受講者の関心に合わせながら順番を変更することがある。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 50% ・中間テスト 30% ・提出物/受講態度 20% (グループワークへの貢献度を含む)			教科書	なし		
				参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・油布佐和子『現代日本の教師—仕事と役割—』NHK出版、2015年 ・佐久間亜紀・佐伯胖(編)『アクティベート教育学② 現代の教師論』ミネルヴァ書房、2019年 ・大豆生田啓友・秋田喜代美・汐見稔幸(編)『アクティベート保育学② 保育者論』ミネルヴァ書房、2019年 		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育心理学			担当教員	野田 萌菜		
全体目標	子どもの発達及び学習についての基本的な知識を習得し、多様な視点から保育(教育)実践を行う上で必要となる考え方を習得することを目的とする。						
一般目標	1. 子どもの発達の過程及び特徴を理解し、基礎的知識を身につける。 2. 子どもたちの発達及び学習を支える指導や環境について理解する。						
到達目標	1. 発達に関する代表的な理論を踏まえ、発達の概念や幼児期の発達の過程と特徴を理解している。 2. 学習や動機づけの理論を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション:保育と教育心理学			事前学習	シラバスを確認する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	②	発達と教育(1) 遺伝と環境			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	③	発達と教育(2) 思考やことばの発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	④	学習のしくみ(1) 様々な学習			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑤	学習のしくみ(2) 記憶のメカニズム			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑥	やる気を育てる(1) 「やる気」とは			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑦	やる気を育てる(2) 内からのやる気を育てる			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑧	個人差・知能・性格の理解			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑨	人間関係と社会化(1) 子どもの人間関係			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑩	愛着形成と基本的信頼感			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑪	人間関係と社会化(2) 道徳性と向社会的行動			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑫	特別な支援を要する子どもたち(1) 障害の理解と受容			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑬	特別な支援を要する子どもたち(2) こころの問題			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑭	親の理解と子育て支援			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑮	まとめと試験			事前学習	これまでの学びを確認する		
				事後学習	試験及び授業全体を振り返る		
学習上の留意点	・わからないことがあれば、そのままにせず積極的に質問すること						
成績評価の方法	定期試験	70%		教科書	「教育心理学－保育者を目指す人へ－」 石井 正子・松尾直博(編) 樹村房		
	平常点(受講態度・授業参加状況)	30%			参考資料	適宜、資料を配布する	

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	幼児の特別支援教育			担当教員	永井 弘人	特別支援学校教諭(美術)として実務経験有	
全体目標	特別の支援を必要とする子どもや教育的ニーズのある子どもの特性および生活上の困難さを理解する。 実習で出会った子どもたちについて検討し考察することで、個別支援計画を作成できるようになる。 他の教員間や関係機関と連携し、協働するために必要な知識や支援方法を理解する。						
一般目標	特別の支援を必要とする子どもの障害の特性及び心身の発達を理解する。 教育課程(全体的な計画)から特別な支援を必要とする子どもに対する支援の方法を理解し計画を作成する。 障害はないが特別な教育的ニーズのある子どもの生活上の困難とその対応を理解する。						
到達目標	インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解する。 教育課程の枠組みを踏まえ、個別の支援計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を理解する。 特別な支援を必要とする子どもの特性や生活上の困難さや組織的な連携の必要性について理解する。						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	特別支援教育に関する理念や制度 インクルーシブ教育			事前学習	支援を必要とする子のエピソードをまとめる。	
					事後学習	重要事項を確認する。	
	②	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援① 発達障害等(知的障害のない発達障害…ADHD等)			事前学習	実習で出会った子のエピソード等を準備する。	
					事後学習	発達障害のある子どもについて理解を深める。	
	③	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援② 知的障害及び知的障害を伴う発達障害			事前学習	話し合いの為にエピソードを準備しておく。	
					事後学習	知的障害の有る子どもについて理解を深める。	
	④	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援③ 視覚障害・聴覚障害及び盲聾重複障害			事前学習	生活する上での困難さや特性を理解しておく。	
					事後学習	重要事項を確認する。	
	⑤	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援④ 肢体不自由・病弱・重度・重複障害等を含む様々な障害			事前学習	特別な支援が必要な幼児について整理する。	
					事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。	
	⑥	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援⑤ 障害はないが教育的ニーズのある子ども(虐待や貧困等)			事前学習	特別な支援が必要な幼児について整理する。	
					事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。	
	⑦	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援⑥ 障害はないが教育的ニーズのある子ども(発達障害といじめ)			事前学習	特別な支援が必要な幼児のエピソードや支援をまとめる。	
					事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。	
⑧	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援⑦ 発達障害・愛着障害・トラウマ			事前学習	特別な支援が必要な幼児のエピソードや支援をまとめる。		
				事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。		
⑨	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援⑧ 医ケア・子供ホスピス			事前学習	計画立案に関する配付資料を読んでおく。		
				事後学習	自分や他のグループの発表内容を振り返る。		
⑩	支援計画の意義と方法① 個別の指導計画の理解 事例に基づく意義や活用			事前学習	計画立案に関する配付資料を読んでおく。		
				事後学習	保育計画についての理解を深める。		
⑪	支援計画の意義と方法② 個別の教育支援計画の理解 事例に基づく意義や活用			事前学習	事前配布資料の事例説明について理解する。		
				事後学習	保育計画についての理解を深める。		
⑫	支援体制の連携① 障害の受容 障害に対する保護者の心理			事前学習	事前配布資料の障害受容について理解する。		
				事後学習	実習で経験したり学んだことを整理する。		
⑬	支援体制の連携② 幼稚園・専門関係機関・家庭との連携と支援体制			事前学習	家庭との連携の必要性について考察する。		
				事後学習	連携する上での課題や必要性について理解する。		
⑭	支援体制の連携③ 幼稚園と小学校・特別支援学校(小学部)との連携 就学に向けて			事前学習	就学に向けた支援方法についてまとめる。		
				事後学習	様々な連携についての理解を深める。		
⑮	試験・講評 幼児の特別支援教育に関する知識の整理			事前学習	今までに学んだことや課題等をまとめる。		
				事後学習	知識を整理するとともに支援方法を理解する。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの実習で出会った「特別な支援を必要とする子ども」についてのエピソードや支援方法についてまとめておくこと。 ・事前準備を入念に行った上で、積極的に事例検討やグループ討議を行なうこと。 ・課題や授業内での取り組みはしっかりと自分の考えを述べられるようにすること。 						
成績評価の方法	授業参加状況・課題取り組み	30%		教科書	幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省)		
	グループ討議	10%			参考資料	障害のある子どもへのサポートナビ 松浦俊弥 角田哲哉 新・障害のある子どもの保育 伊藤健次 編 保育者のための障害児保育—理解と実践— 尾野明美 はじめての特別支援教育[改訂版] 柘植雅義他	
	試験	60%					

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育課程総論			担当教員	松葉 百香	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	様々な教育課程・全体的な計画の意義や内容について理解する これまでの幼稚園教育要領・保育指針等の変遷について理解する 幼児教育の制度や内容について学ぶ						
一般目標	教育課程や全体的な計画を考える上で必要なことや計画の大切さについて総合的に学ぶ 部分や一日の指導計画を作成し実践する中で自己課題を見つける。 幼児教育施設に求められることについて学ぶ						
到達目標	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育保育要領」を理解する。 保育現場で必要とされている計画について作成・実施・振り返りながら次につなげていくことができる 様々な教育課程・全体的な計画の意義や内容について理解して、それをもとに計画が作成できる						
授 業 の な が れ	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	保育におけるカリキュラム 教育課程・全体的な計画とは 全体的な計画作成の基本 教育課程	事前学習	幼い頃の園での活動を思い出ししておく	事後学習	学んだことを復習する	
	②	保育における計画の意義 保育の評価 PDCAサイクル 等	事前学習	自分にとっての理想の園を考えておく	事後学習	学んだことを復習する	
	③	幼稚園教育要領と保育所保育指針の変遷 幼稚園教育要領 等 幼稚園教育の基本	事前学習	要領等を見直しておく	事後学習	学んだことを復習する	
	④	幼児教育において育みたい資質能力 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 等	事前学習	指示されたところを読んでおく	事後学習	学んだことを復習する	
	⑤	短期指導計画と長期指導計画 長期指導計画 DVD「幼稚園の一日」	事前学習	5領域を見直しておく	事後学習	学んだことを復習する	
	⑥	指導計画の基礎 DVD「主体的な遊びで育つ子ども」	事前学習	子どもの発達について調べる	事後学習	学んだことを復習する	
	⑦	子ども理解に基づく保育 DVD「わくわくしかけがすごい！」	事前学習	5領域を見直しておく	事後学習	教育実習とつなげて考察する	
	⑧	教育課程と保育 カリキュラムマネジメント 保育評価	事前学習	今までの経験から課題を見つける	事後学習	PDCAサイクルにあてはめて考察する	
	⑨	短期指導計画(1) こどもの遊び 子ども理解 ペーパーシアター	事前学習	幼児期のこどもの遊びについて調べておく	事後学習	ペーパーシアターを仕上げる	
	⑩	短期指導計画(2) 給食・登園 場面から考察する	事前学習	様々なシアターを調べておく	事後学習	学んだことを復習する	
	⑪	子どもの姿から計画する DVD「幼児とのかかわりを考える」	事前学習	シアターを演じられるようにしておく	事後学習	学んだことを復習する	
	⑫	事例からふさわしい計画を考察する 指導計画の記載にあたっての留意事項	事前学習	様々な事例を読んでおく	事後学習	自分の書いた指導計画を見直す	
	⑬	小学校との連携(1) 幼稚園教諭(保育者)の役割・幼稚園幼児指導要録	事前学習	小学校との接続について考えてくる	事後学習	学んだことを復習する	
	⑭	小学校との連携(2) 保育所保育指導要録・幼保連携型認定こども園園児指導要録	事前学習	指導要録を仕上げる	事後学習	学んだことを復習する	
⑮	試験・まとめ これまでの振り返りをする	事前学習	配布プリントや教科書を見直す	事後学習	自分の課題に気づき、今後につなげる		
学習上の留意点	授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること 子どもや幼児教育に関心を持って、保育者を目指すものとして自覚をもって学ぶこと 日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見るようにすること 提出物は丁寧に記述し、見直したうえで期限内に提出すること						
成績評価の方法	定期試験	50%	教科書	「保育・教育カリキュラム論」佐藤康富 大学図書出版 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」			
	授業参加状況・課題 (授業での取り組み・レポート作成・グループワーク・発表 等)	50%		参考資料	教育・保育カリキュラム論 千葉武夫 中央法規 イラストで読む! 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領はわかりBOOK 無藤隆 編 学陽書房		
以上を総合的に評価する							

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育方法論			担当教員	須田 昂宏		
全体目標	これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器の活用に関する基礎的な知識・技能を身につける。						
一般目標	子どもたちを教育するために必要な教育の方法、教育の目的に適した指導技術、情報機器の活用を理解する。						
到達目標	理論編では、優れた教育実践をするために必要な教育方法学の理論を理解する。 実践編では、保育現場で用いられるさまざまな教育方法の概要を理解する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション			事前学習	本授業に期待することを考えてくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	②	理論編(1) 教育・保育の基礎知識①:学校について			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	③	理論編(2) 教育・保育の基礎知識②:幼稚園について(DVDを含む)			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	④	理論編(3) これからの時代の教師像・保育者像としての「反省的実践家」			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑤	理論編(4) これからの時代の学習形態としての「アクティブラーニング」①: DVD			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑥	理論編(5) これからの時代の学習形態としての「アクティブラーニング」②: 解説			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑦	理論編(6) 「形式陶冶と実質陶冶」、「ヒドゥンカリキュラム」			事前学習	事前配布プリントを読んでくる	
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる	
⑧	実践編(1) 絵本、紙芝居、手遊び、ペープサート			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑨	実践編(2) エプロンシアター、ゲーム、折り紙、手作りおもちゃ			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑩	実践編(3) お話			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑪	実践編(4) パネルシアター①: 構想			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑫	実践編(5) パネルシアター②: 作成			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑬	実践編(6) 行事と保育			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑭	教育方法論のまとめ			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑮	試験・講評			事前学習	試験対策をやってくる		
				事後学習	試験の振り返りをする		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業のながれ」の順番は変更することがある。 ・本授業は講義であるが、「聴く」活動のみならず、「書く」、「話し合う」、「発表する」などの活動を非常に多く含む。成績評価が平常点重視なことからもわかるように、特に授業中は能動的・積極的な参加が求められる。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験 50% ・授業参加状況 50% 			教科書			
				参考資料	『幼稚園教育要領』『幼稚園教育要領解説』 『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	教育相談			担当教員	安藤 雅美	臨床心理士・保育カウンセラーとしての実務経験有	
全体目標	心理学的知見の学習を通して、保育士・幼稚園教諭の立場から子どもの支援・保護者支援に対応できる知識・態度・スキルを身に付ける						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の意義と理論を理解する ・教育相談を進める際に必要な基本的知識を理解する 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談に求められる態度、姿勢、スキルを理解する ・教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解している ・クラスメイトとの意見交換を通じて、子ども・保護者支援の多様なアプローチに気付くことができる 						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	① オリエンテーション 教育相談とは	事前学習	自己紹介を考える	事後学習	学んだことを復習する		
	② 教育相談の基礎① 自己理解	事前学習	前回の授業を振り返る	事後学習	配布資料に目を通す		
	③ 教育相談の基礎② 他者理解	事前学習	前回の授業を振り返る	事後学習	配布資料に目を通す		
	④ 相談にのるための技術① カウンセリングマインドとは	事前学習	前回の授業を振り返る	事後学習	配布資料に目を通す		
	⑤ 相談にのるための技術② アクティブ・リスニング	事前学習	前回の授業を振り返る	事後学習	配布資料に目を通す		
	⑥ 子どもを理解する① 心の発達	事前学習	前回の授業を振り返る	事後学習	配布資料に目を通す		
	⑦ 事例検討① 事例を通して問題のとらえ方を理解する	事前学習	前回の授業を振り返る	事後学習	配布資料に目を通す		
	⑧ 子どもを理解する② 発達障害 ペアレントトレーニングという考え方を通して	事前学習	前回の授業を振り返る	事後学習	配布資料に目を通す		
	⑨ 子どもを理解する③ 発達障害 かかわり方を考える	事前学習	前回の授業を振り返る	事後学習	配布資料に目を通す		
	⑩ 事例検討② 事例を通して気になる子どもへの対応を考える	事前学習	前回の授業を振り返る	事後学習	配布資料に目を通す		
	⑪ 保護者への対応	事前学習	前回の授業を振り返る	事後学習	配布資料に目を通す		
	⑫ 事例検討③ 事例を通して保護者対応を考える	事前学習	前回の授業を振り返る	事後学習	配布資料に目を通す		
	⑬ 事例検討④ 発達障害 事例を通して保護者対応を考える	事前学習	前回の授業を振り返る	事後学習	配布資料に目を通す		
	⑭ ふりかえり	事前学習	前回の授業を振り返る	事後学習	配布資料に目を通す		
	⑮ 試験・まとめ	事前学習	前回の授業を振り返る	事後学習	配布資料に目を通す		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークでは積極的に参加し、多様な見方・考え方を得ること ・教材は何度も読み返して、内容の理解に努めること 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験60% ・平常点40% 授業態度 グループワークや演習活動への参加姿勢や態度 提出物			教科書	特に指定しない		
				参考資料	「保育園・幼稚園で使えるカウンセリングテクニック」 誠信書房 「保育者のためのカウンセリングマインド入門」 チャイルド社		

シラバス(授業計画)

部	昼間部 午前コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	教育相談			担当教員	武 蒼一郎		
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達や生活の状況に即して、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉える。 子どもの発達やその過程で生じるつまづきを支援するために必要な基礎的知識や技能を身につける。 						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> 保育・教育相談の意義と理論を理解する。 保育・教育相談を進める際に必要な基礎的知識を理解する。 保育・教育相談の進め方や組織的な取り組み、連携の必要性を理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 保育・教育相談に関する心理学の基礎的な理論や概念を理解する。 保育・教育相談に求められる態度や姿勢、スキルを理解する。 保育・教育相談において他の専門家と連携する意義や必要性を理解する。 						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 保育の場における相談ニーズとカウンセリング・マインド			事前学習 事後学習	シラバスを確認する 授業内容を振り返る	
	②	子どもの発達理解と相談・支援			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	③	保護者への対応—子育て支援の視点から			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	④	事例3保護者からの相談			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑤	発達障害や気になる子どもとは			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑥	発達障害や気になる子どもとその保護者への関わり			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑦	事例2障害のある子ども			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑧	子ども理解のための発達理論とカウンセリング的アプローチ			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑨	保育場面でのカウンセリング技法の活用			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑩	園・地域における専門家との連携による相談・支援1 保育におけるコンサルテーションと事例			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑪	園・地域における専門家との連携による相談・支援2 園・地域における専門家と連携			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑫	事例1虐待が疑われる子ども			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑬	保育者の専門性と相談活動			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
	⑭	基礎的対人関係のトレーニング			事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を予習する 授業内容を振り返る	
⑮	定期試験・まとめ			事前学習 事後学習	これまでの学びを確認する 試験及び授業全体を振り返る		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 教材を何度も読み返して、内容の理解に努めること。 グループワークでは積極的に交流し、様々な意見を得ること。 実際の場面を想像しながら、事例検討やロールプレイに取り組むこと。 						
成績評価の方法	定期試験(70%) 平常点(提出物, 受講態度等)(30%)			教科書	子どもの理解と保育・教育相談 第2版		
				参考資料	毎回の授業で資料を配布する		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	集中	授業形態	実習	単位数	1単位
科目名	基礎実習			担当教員	北川 順子・浦田 一 村上 友香・南部 紗世	幼稚園教諭・保育教諭 として実務経験有	
全体目標	保育者の第一歩を踏み出すために、社会的マナーを含む保育者の心構えと、実習の基礎的な事項を習得する。						
一般目標	附属幼稚園での観察・参加・指導(部分)実習、行事参加・見学実習などをおして、園児や幼稚園の役割を理解する。						
到達目標	部分実習の指導案を作成し、実践することで、学外実習に向けての基礎を培い、不安を解消し自信に繋げる。						
	[授 業 内 容]						
授 業 の な が れ	<ul style="list-style-type: none"> ・おはよう実習 : 登園前に必要な準備および登園時の子どもの受け入れ方を知る ・観察実習 : 園生活の午前中の流れを理解する ・参加実習(午前) : 子どもと積極的にかかわり子どもの特徴を把握する ・指導(部分)実習 : 計画した手遊びなどを子どもたちと楽しむ ・給食実習 : 子どもと食事をしながら会話を楽しみ、コミュニケーションを図る ・プール見学実習 : プール活動を見学して、保育者の援助、配慮を理解する ・運動会観察・参加実習 : 子どもの発達段階や達成感を感じている姿を観察するとともに、保育者の視点で子どもにかかわる ・参加実習(午後) : 午後の子どもの生活・遊びを知る、降園時の様子を知る、降園後の保育者の職務内容を理解する ・マジックミラー観察実習 : 子どもたちの遊びを観察し、保育者の援助、配慮点を理解する ・遊戯会見学実習 : 見学を通して遊戯会の進め方や保育者の動きなどを理解し、近い将来に役立てる 						
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生(保育者)としてのあるべき態度に自ら気づき、身につくように努力すること。 ・観察する力をつけ、見たことを考察できるよう能動的に取り組むこと。 ・記録の提出期限を守ること。 ・行事や状況によっては2年次に行う場合がある。 						
成績評価の方法	平常点(授業参加状況と取り組み姿勢)と提出物 100%			教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育・保育実習テキスト」 ・「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 ・「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 ・「保育の活動・遊びパーフェクトガイド」 		
				参考資料			

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	集中	授業形態	実習	単位数	2単位		
科目名	教育実習 I			担当教員	村上 友香・北川 順子	幼稚園教諭として実務経験有			
全体目標	・幼稚園での体験的な学びの中で、幼児を理解し、実践的な保育を意識的に学ぶ。								
一般目標	・幼稚園での役割や保育者の職務を知る。								
到達目標	・実習に積極的に取り組む中で、自分の課題を見つける。								
	[授 業 内 容]								
授 業 の な が れ	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の期間 後期12月に1週間実施。 ・実習の内容 観察実習・参加実習を行う。 状況に応じて指導実習(部分)を行うこともある。 ・事前訪問 実習開始の約3週間前に実施する。 実習園の概要および実習方針を知る。 ・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。 教員と、園長・実習担当者教諭等との面談終了後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 ・事後訪問 実習終了後、すみやかに実施する。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。 								
学 習 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・能動的に実習に取り組む。 ・実習園と学校に必要なに応じて「報告・連絡・相談」をする。 ・実習園で知れた個人情報の守秘義務を遵守する。 <p>注:本校の実習検討委員会の判断により履修の可否を判断する。</p>								
成 績 評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・実習園の評価を基に実習記録、実習園訪問指導時の状況、オリエンテーションを含む実習の取り組み状況を勘案して評価する。 ・最終的には教育実習 I・II および教育実習事前事後指導の授業を合わせて評価する。 			教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育・保育実習テキスト」 ・「幼稚園教育要領」 ・「幼稚園教育要領解説」 ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 			資料考	<ul style="list-style-type: none"> ・「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 ・実習関係書類

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	実習		単位数	0.5単位
科目名	教育実習事前事後指導 I			担当教員	村上 友香・北川 順子		幼稚園教諭として実務経験有	
全体目標	教育実習事前事後指導とは、幼稚園での教育実習が一人一人の学生にとってより有意義な経験となる事を目指し、実習に必要な基礎的事項について学ぶものである。							
一般目標	講義や事前準備、実習での経験を通し、教育実習の全体構造を具体的に理解する。							
到達目標	保育の知識と情報機器を利用した技術、保育観察の記録・指導案作成の方法を培う。各実習への自己学習課題を明確化していく。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	① オリエンテーション				事前学習	これまでの学習の振り返り		
					事後学習	教育実習全体の流れを確認する		
	② 教育実習の1日の流れ 観察・参加実習とは				事前学習	幼児向けの手遊び、絵本・紙芝居、歌などを調べる		
					事後学習	調べた手遊びなどの活用方法を考える		
	③ 実習生としての心構え (1)姿勢や態度				事前学習	実習生として適切な姿勢や態度を考える		
					事後学習	授業内容を踏まえ、自身を振り返る		
	④ 実習生としての心構え (2)教育実習 I の目標を立てる				事前学習	基礎実習の経験を踏まえ、教育実習 I の目標を考える		
					事後学習	教育実習 I の目標をもとに、「私の心構え」を書く		
	⑤ 教育実習 I の事前準備 (1)実習園について				事前学習	実習園を確認する		
					事後学習	実習園の概要を調べる		
	⑥ 教育実習 I の事前準備 (2)事前訪問について				事前学習	事前訪問の内容を把握する		
					事後学習	事前訪問の内容を確認する		
	⑦ 教育実習 I の事前準備 (3)幼稚園・認定こども園の概要				事前学習	実習園の特徴を理解する		
					事後学習	実習園の特徴を理解する		
⑧ 教育実習 I に向けて (1)実習記録について				事前学習	実習記録の内容を把握する			
				事後学習	実習記録の意味や特徴を理解する			
⑨ 教育実習 I に向けて (2)エピソード記録				事前学習	実習記録の内容を把握する			
				事後学習	エピソード記録の意味や特徴を理解する			
⑩ 教育実習 I に向けて (3)絵本・手遊び等の演習 計画・準備				事前学習	絵本、手遊び等について調べる			
				事後学習	調べた絵本、手遊び等の展開を考える			
⑪ 教育実習 I に向けて (4)絵本・手遊び等の演習 発表・振り返り				事前学習	絵本、手遊び等の発表の準備をする			
				事後学習	発表の振り返りを行う			
⑫ 教育実習 I に向けて (5)事後訪問・お礼状について				事前学習	実習期間中から実習後の流れを確認する			
				事後学習	事後訪問の内容を把握する			
⑬ 教育実習の省察 (1)経験交流・振り返り				事前学習	実習での経験を整理する			
				事後学習	他の学生との交流を踏まえ、自己評価を行う			
⑭ 教育実習の省察 (2)教育実習 II に向けての課題の明確化				事前学習	実習での経験を整理する			
				事後学習	教育実習 II に向けて、作成物を考える			
⑮ 試験・まとめ				事前学習	これまでの学習の振り返り			
				事後学習	自己課題を明確にし、改善の見通しを立てる			
学習上の留意点	実習生(保育者)としての在るべき態度に自ら気づき、身につくように努力すること。 主体的に取り組み、欠席・遅刻をしないこと。 板書した内容だけでなく、関心のある事や必要と思うことを積極的に書き留める。 ※尚、授業の内容は附属幼稚園での実習指導に合わせて適宜変更される。							
成績評価の方法	試験 …70%			教科書	「教育・保育実習テキスト」 「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「保育の活動・遊びパーフェクトガイド」小山朝子他、わかば社			
	提出物・平常点(授業参加状況・参加態度) …30%				参考資料	「幼稚園教育要領解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」		
以上を総合的に評価する								

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	集中	授業形態	実習	単位数	2単位
科目名	教育実習Ⅱ			担当教員	不破 佳子	保育士として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育の実際を体験的・総合的に理解し、教育実践の基礎的な能力と態度を身につける。 ・教育実習Ⅰでの課題を改善し、授業と実習とを関連付けて保育の知識・技術を高める。 ・指導案作成、教材研究、ピアノの練習等、事前準備をすることの大切さに気付き、積極的に実践する。 						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習事前事後指導や保育内容等の授業で学んだことを反映させて、意欲的に取り組む中で保育の質を高める。 ・幼児及び保育環境等に対して適切な観察を行い、幼児の実態をふまえた保育のあり方を理解する。 ・領域や教職に関する専門的な知識・理論・技術等を保育で実践するための基礎を身につける。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児との関わりを通して、その実態や課題を把握するとともに、観察したことを事実即して記録する。 ・幼稚園教育要領及び幼児の実態等をふまえた適切な指導案を作成し、保育を実践し、PDCAサイクルにより振り返る。 ・自分の反省点や課題を見つけて、今後の保育につながるようにする。 						
授業のながれ	[授 業 内 容]						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習の期間 前期 10日間実施。 ・ 実習の内容 実習園の指示に従い、指導計画を作成しない部分実習に加え、指導実習（部分・半日・一日）を行う。 状況に応じて指導実習は、半日・部分を複数回行うこともある。 朝の会、帰りの会、給食等の部分実習やピアノの伴奏については、積極的に随時行う。 ・ 事前訪問 実習開始の約3週間前までに実施。 実習園の概要及び実習方針や実習配属クラスの子どもの様子を知る。 実習に臨むうえで必要なことや準備することについて学ぶ。 ・ 実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。 教員と園長・実習担当教諭等との面談終了後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 ・ 事後訪問 実習終了後速やかに実施。（実習園の指示に従う） 最終日の実習記録や実習を終えて等を記載し持参する。 						
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を送り、心身共に健康に留意する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としてふさわしい態度で臨む。 ・実習園と学校に必要なに応じて「報告・連絡・相談」をする。 ・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守すること。 ・指導案作成、教材研究、保育方法、ピアノ等の事前準備を行ったうえで積極的に実習に臨むこと。 ・事後訪問終了後、速やかに「実習記録」や指示された書類を提出すること。 <p>注：本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。 実習に臨む姿勢や未提出課題等の事前準備が整わない場合は、実習を見送ることがある。</p>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実習園からの評価をもとに、実習前や実習後に指示された課題や提出すべき書類等、実習前後の内容や取り組みを総合的に勘案して評価する。 ・最終的には教育実習Ⅰ・Ⅱ及び教育実習事前事後指導の授業を合わせて評価する。 			教科書	「教育・保育実習テキスト」 「保育の活動・遊びパーフェクトガイド」 小山朝子他 わかば社		
				参考資料	実習関係書類 幼稚園教育要領解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	実習	単位数	0.5単位
科目名	教育実習事前事後指導Ⅱ			担当教員	不破 佳子	保育士として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」についての理解を深める。 ・領域や教職に関する専門的な知識・理論・技術等をふまえ、情報機器や教材を活用し実践力が身につくようにする。 						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事前指導では、実習生として保育活動に参加する意識を高め、実習の記録・計画について具体的に理解する。 ・事後指導では、教育実習の経験により得られた成果と課題を省察し、自己課題を明確にする。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生として遵守すべき義務等について理解するとともに、その責任を自覚して意欲的に実習準備をする。 ・保育者に求められる資質や専門性について学ぶとともに指導計画立案や活動に対しての実践力を身につける。 ・子どもの見方や関わり方など、事例や映像を通して様々な視点から考えられるようになる。 						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	教育実習Ⅱへの取り組みについて・事前訪問に向けて 実習生として遵守すべき義務及び自己課題について			事前学習	教育実習Ⅰを記録等に基づき振り返る	
					事後学習	書類を整えて事前訪問の準備をする	
	②	記録の記入(1)実習記録 教育実習Ⅰの反省をふまえ、実習記録の確認及び課題			事前学習	振り返りをもとに自己課題を明確にする	
					事後学習	「私の心構え」を作成する	
	③	記録の記入(2)エピソード記録 子どもの活動(姿)からエピソード記録を作成する			事前学習	記録の書き方について確認する	
					事後学習	子どもの姿を肯定的に捉えた記述を理解する	
	④	子どもの遊び・保育方法(1)保育技術 主体的な遊びについて考える			事前学習	指導実習の内容について考える	
					事後学習	幼稚園教育要領解説を読んでおく	
	⑤	子どもの遊び・保育方法(2)指導実習について 活動のねらいや保育者の役割を考える			事前学習	指導実習における指導計画を作成する	
					事後学習	幼稚園教育要領解説を読んでおく	
	⑥	子どもの遊び・保育方法(3)指導実習について DVDの映像から、指導実習について学ぶ			事前学習	指導計画の内容を省察する	
					事後学習	幼稚園教育要領解説を読んでおく	
	⑦	子どもの遊び・保育方法(4)指導実習について 子どもの姿から「ねらい」を考えて指導計画を作成する			事前学習	実習の事前準備をする(手遊び・絵本など)	
					事後学習	指導実習の指導計画を作成する	
⑧	実習直前指導 最終確認(実習記録・お礼状・事後訪問) 事後訪問への臨み方			事前学習	実習に臨む心構えを再確認しておく		
				事後学習	実習の直前準備をする		
⑨	事後訪問の確認 「未来の保育者達成シート」について			事前学習	事後訪問に向けて「実習記録」を整える		
				事後学習	未来の保育者達成シート作成		
⑩	教育実習Ⅱを振り返り経験交流 振り返りに基づく自己評価			事前学習	経験交流によりさらに実習を振り返る		
				事後学習	教育実習Ⅱにおける学びについて整理する		
⑪	保育の専門性・子ども理解(1) 子ども主体の保育について学ぶ			事前学習	幼稚園教育要領解説を読んでおく		
				事後学習	子ども主体の保育について理解を深める		
⑫	保育の専門性・子ども理解(2) 保育者の子ども理解と保育者の意図性を学ぶ			事前学習	幼稚園教育要領解説を読んでおく		
				事後学習	子ども主体の保育について理解を深める		
⑬	保育の専門性・子ども理解(3) 保育者の役割について学ぶ			事前学習	幼稚園教育要領等を読んでおく		
				事後学習	3法令の共通するところやポイントを理解する		
⑭	教育実習のまとめ・今後の実習に向けて 遊びを通した総合的な指導について学ぶ			事前学習	子どもの主体性と保育者の意図性について考える		
				事後学習	実習での自分の課題を明確にする		
⑮	まとめと試験			事前学習	教育実習Ⅱ実習記録を見直す		
				事後学習	今後の課題を見つけ次につながるようにする		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること ・子どもや幼児教育に関心をもって、保育者を目指すものとして自覚をもって学ぶこと ・日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見るようにすること ・提出物は丁寧に記述し、見直したうえで必ず期限内に提出すること 						
成績評価の方法	定期試験	30%			教科書	「教育・保育実習テキスト」、幼稚園教育要領解説	
	課題等の提出及び内容	40%				幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説	
	授業参加状況 (授業内での取り組み・グループワーク・レポート等)	30%				保育の活動・遊び パーフェクトガイド小山朝子他 わかば社	
	以上を総合的に評価する				参考資料	「保育実技」久富陽子 萌文書林 「実習における遊びの援助と展開」久富陽子(編著)萌文書林	

シラバス(授業計画)

部	昼間部 午前コース	学期	半期	授業形態	実習		単位数	0.5単位
科目名	教育実習事前事後指導Ⅱ				担当教員	不破 佳子		保育士として 実務経験有
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」についての理解を深める。 ・領域や教職に関する専門的な知識・理論・技術等をふまえ、情報機器や教材を活用し実践力が身につくようにする。 							
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事前指導では、実習生として保育活動に参加する意識を高め、実習の記録・計画について具体的に理解する。 ・事後指導では、教育実習の経験により得られた成果と課題を省察し、自己課題を明確にする。 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生として遵守すべき義務等について理解するとともに、その責任を自覚して意欲的に実習準備をする。 ・保育者に求められる資質や専門性について学ぶとともに指導計画立案や活動に対しての実践力を身につける。 ・子どもの見方や関わり方など、事例や映像を通して様々な視点から考えられるようになる。 							
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	教育実習Ⅱオリエンテーション(実習書類準備)事前訪問に向けて 実習生として遵守すべき義務及び自己課題について			事前学習	教育実習Ⅰを記録等に基づき振り返る		
					事後学習	書類を整えて事前訪問の準備をする		
	②	記録の記入(1)実習記録 教育実習Ⅰの反省をふまえ、実習記録の確認及び課題			事前学習	振り返りをもとに自己課題を明確にする		
					事後学習	「私の心構え」を作成する		
	③	記録の記入(2)エピソード記録 子どもの活動(姿)からエピソード記録を作成する			事前学習	記録の書き方について確認する		
					事後学習	子どもの姿を肯定的に捉えた記述を理解する		
	④	子どもの遊び・保育方法(1)保育技術 主体的な遊びについて考える			事前学習	指導実習の内容について考える		
					事後学習	幼稚園教育要領解説を読んでおく		
	⑤	子どもの遊び・保育方法(2)指導実習について 保育者の役割を考える			事前学習	指導実習における指導計画を作成する		
					事後学習	幼稚園教育要領解説を読んでおく		
	⑥	子どもの遊び・保育方法(3)指導実習について DVDの映像から、指導実習について学ぶ			事前学習	指導計画の内容を省察する		
					事後学習	幼稚園教育要領解説を読んでおく		
	⑦	子どもの遊び・保育方法(4)指導実習について 子どもの姿から「ねらい」を考えて指導計画を作成する			事前学習	実習の事前準備をする(手遊び・絵本など)		
					事後学習	指導実習の指導計画を作成する		
⑧	保育の専門性・子ども理解(1) DVDの映像から保育者の子ども理解と保育者の意図性を学ぶ			事前学習	実習の事前準備をする(シアター練習)			
				事後学習	指導実習に向けての準備をする			
⑨	保育の専門性・子ども理解(2) DVDの映像から子どもへの関わり方を学ぶ			事前学習	幼稚園教育要領等を読んでおく			
				事後学習	3法令の共通するところやポイントを理解する			
⑩	保育の専門性・子ども理解(3) DVDの映像から保育者の役割について学ぶ			事前学習	幼稚園教育要領解説を読んでおく			
				事後学習	子ども主体の保育について理解を深める			
⑪	実習直前指導 最終確認(実習記録の記入の仕方と内容について) 実習中の注意事項等			事前学習	実習の事前準備をする(身だしなみ等)			
				事後学習	実習の直前準備をする			
⑫	実習直前指導 最終確認(お礼状・事後訪問について) 事後訪問への臨み方			事前学習	実習での自分の課題を明確にする			
				事後学習	3法令の共通するところやポイントを理解する			
⑬	事後訪問の確認 「未来の保育者達成シート」について			事前学習	事後訪問に向けて「実習記録」を整える			
				事後学習	経験交流によりさらに実習を振り返る			
⑭	教育実習Ⅱを振り返り経験交流 振り返りに基づく自己評価			事前学習	学び・課題などまとめておく			
				事後学習	教育実習Ⅱにおける学びについて整理する			
⑮	まとめと試験			事前学習	教育実習Ⅱ実習記録を見直す			
				事後学習	今後の課題を見つけ次につながるようにする			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること ・子どもや幼児教育に関心をもって、保育者を目指すものとして自覚をもって学ぶこと ・日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見るようにすること ・提出物は丁寧に記述し、見直したうえで必ず期限内に提出すること 							
成績評価の方法	定期試験	30%			教科書	「教育・保育実習テキスト」、幼稚園教育要領解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 保育の活動・遊び パーフェクトガイド 小山朝子他 わかば社		
	課題等の提出及び内容 授業参加状況 (授業内での取り組み・グループワーク・レポート等)	40% 30%				参考資料	「保育実技」久富陽子 萌文書林 「実習における遊びの援助と展開」久富陽子(編著)萌文書林	
以上を総合的に評価する								

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	2単位
科目名	教職実践演習			担当教員	須田昂宏・村上友香 加藤由美・川上恭代 荒木美恵・南部紗世 不破佳子		幼稚園教諭・保育士 として実務経験有	
全体目標	教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動で学んだことを振り返り、教員としての資質・能力として統合し、全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」をする。							
一般目標	模擬保育を通じて、教職課程の学びの集大成をはかる。							
到達目標	① 使命感・責任感・豊かな感性を持ち、愛情豊かに子どもに接することができる ② 社会性や対人関係能力を身につけ、子ども・保護者・職員などと信頼関係を築くことができる ③ 子どもを理解し、意欲的で活気のあるクラス運営・集団づくりをする力をつける ④ 図画工作、ピアノ伴奏などの保育の表現技術や、保育内容の指導力、計画立案や説明する力をつける							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	ガイダンス(教職実践演習とは、オリエンテーション)			事前学習	シラバスを確認する		
					事後学習	授業内容を復習する		
	②	模擬保育を実施するにあたって(構想)			事前学習	実習を振り返る		
					事後学習	授業内容を復習する		
	③	模擬保育を実施するにあたって(指導案作成)			事前学習	実習を振り返る		
					事後学習	授業内容を復習する		
	④	模擬保育を実施するにあたって(リハーサル)			事前学習	実習を振り返る		
					事後学習	授業内容を復習する		
	⑤	模擬保育1(日常保育)－国語に関するもの－			事前学習	模擬保育の準備をする		
					事後学習	授業内容を復習する		
	⑥	模擬保育2(日常保育)－算数に関するもの－			事前学習	模擬保育の準備をする		
					事後学習	授業内容を復習する		
	⑦	模擬保育3(日常保育)－生活に関するもの－			事前学習	模擬保育の準備をする		
					事後学習	授業内容を復習する		
	⑧	模擬保育4(日常保育)－音楽に関するもの－			事前学習	模擬保育の準備をする		
				事後学習	授業内容を復習する			
⑨	模擬保育5(日常保育)－図画工作に関するもの－			事前学習	模擬保育の準備をする			
				事後学習	授業内容を復習する			
⑩	模擬保育6(日常保育)－体育に関するもの－			事前学習	模擬保育の準備をする			
				事後学習	授業内容を復習する			
⑪	模擬保育7(行事)－七夕－			事前学習	模擬保育の準備をする			
				事後学習	授業内容を復習する			
⑫	模擬保育8(行事)－クリスマス会－			事前学習	模擬保育の準備をする			
				事後学習	授業内容を復習する			
⑬	模擬保育9(行事)－正月－			事前学習	模擬保育の準備をする			
				事後学習	授業内容を復習する			
⑭	模擬保育10(行事)－節分－			事前学習	模擬保育の準備をする			
				事後学習	授業内容を復習する			
⑮	総まとめ(自己課題についてまとめ、試験)			事前学習	授業内容を振り返る			
				事後学習	学びの振り返りをする			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業(演習)には積極的に取り組むこと。 ・演習での取り組みや気づきは演習中の記録とは別に、各自、振り返ることができるようにしておくこと。 ・進んで意見を述べたり、講評をしたりするように心がけること。 ・模擬保育の対象(年少・年中・年長)はくじで決定する。 							
成績評価の方法	試験(総復習) 40%			教科書	特に指定しない			
	模擬保育の発表 30%							
	提出物 30%			参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			
	※履修カルテの提出がない場合はD評価							

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	保育原理 I			担当教員	牛田 弓子	幼稚園教諭として実務経験有	
全体目標	保育の意義を理解したり、保育所保育指針や幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育の基本について学んだりする。また、保育の基盤としての子ども観・保育観を身につけたり、実践における知識・技能の習得とともに子どもの内面理解等保育の専門性を学んだりする。保育の歴史の変遷や思想について学びを深める。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針、幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育の基本を理解する。 ・実践例等から自分の持つ子ども観や保育観を知り、保育の専門性とは何かを考え理解する。 ・今日に至るまでの欧米や日本の保育の歴史と思想の流れや、日本における保育内容の歴史の変遷について学ぶ。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園における保育の基本や保育の意義が理解できる。 ・実践例、事例等から子どもの内面理解の仕方を学び、保育の専門性を身につけることができる。 ・欧米や日本の保育の歴史や思想及び日本の保育内容の変遷について理解できる。 						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	保育とは何か、保育原理とは何かを学ぶ。			事前学習	(教)3～15Pを読み内容を把握する。	
					事後学習	授業内容を振り返り要点を整理しておく。	
	②	保育の基盤としての「子ども観」「保育観」について考える。			事前学習	(教)19～32Pを読み内容を把握する。	
					事後学習	授業内容を振り返り要点を整理しておく。	
	③	子ども理解(I)子どもの「行為」の意味について考える。			事前学習	(教)37～43Pを読み内容を把握する。	
					事後学習	授業内容を振り返り要点を整理しておく。	
	④	子ども理解(II)子どもの「発達」の見方について学ぶ。			事前学習	(教)44～51Pを読み内容を把握する。	
					事後学習	授業内容を振り返り要点を整理しておく。	
	⑤	保育の専門性について考える。 (I)カウンセリングマインドの意義			事前学習	(教)40～43Pを読み内容を把握する。	
					事後学習	授業内容を振り返り要点を整理しておく。	
	⑥	保育の専門性について考える。 (II)カウンセリングマインドの進め方			事前学習	配布プリントを読み内容を把握する。	
					事後学習	授業内容を振り返り要点を整理しておく。	
	⑦	保育所保育指針の基本的理解をする。 (I)基本原則・基本的事項			事前学習	保育指針4～12Pの総則を読み内容を把握する。	
					事後学習	授業内容プリントを見直し要点を確認する。	
⑧	保育所保育指針の基本的理解をする。 (II)保育の内容等			事前学習	保育指針13～31Pの保育内容を読み内容を把握する。		
				事後学習	授業内容プリントを見直し要点を確認する。		
⑨	幼稚園教育要領の基本的理解をする。			事前学習	教育要領5～13Pの総則を読み内容を把握する。		
				事後学習	授業内容プリントを見直し要点を確認する。		
⑩	幼保連携型認定こども園教育・保育要領の基本的理解をする。			事前学習	教育・保育要領4～16P総則を読み内容を把握する。		
				事後学習	授業内容プリントを見直し要点を確認する。		
⑪	保育の歴史と思想を学ぶ。(1)西洋とアメリカ			事前学習	(教)145～153Pを読み内容を把握する。		
				事後学習	授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
⑫	保育の歴史と思想を学ぶ。(2)日本			事前学習	(教)153～158Pを読み内容を把握する。		
				事後学習	授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
⑬	保育内容の歴史の変遷を学ぶ。(1)幼稚園			事前学習	(教)158～160Pを読み内容を把握する。		
				事後学習	授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
⑭	保育内容の歴史の変遷を学ぶ。(2)保育所			事前学習	(教)160～162Pを読み内容を把握する。		
				事後学習	授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
⑮	試験、講評			事前学習	これまでの学びとまとめプリントを確認する。		
				事後学習	講評の内容を把握する。		
学習上の留意点	<p>◎日頃から保育関連の事柄に関心を持って新聞やテレビ、ネット等を見ておくこと。また、実際の子どもの様子をよく見たり、ボランティアに参加したりする等、保育への理解に努めてほしい。</p> <p>◎授業中は私語・私事を慎み、将来の保育者としての自覚を持って授業に臨むこと。授業で出された課題を調べたり、話し合ったり、発表したりする等、自ら学ぶ姿勢を持つ。</p>						
成績評価の方法	定期試験 50% レポート 30% 授業参加状況や受講態度 20%			教科書	『保育原理(新しい保育講座)』渡邊英則他(編)ミネルヴァ書房 『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』及び各解説書		
				参考資料	必要に応じて適宜配布する。		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	保育原理Ⅱ			担当教員	牛田 弓子	幼稚園教諭として実務経験有	
全体目標	保育における計画の意義・位置づけや全体的な計画や指導計画とは何かを学ぶ。また、幼児期に育みたい資質・能力を「遊び」を通しての総合的な指導の中で、どのように捉え育てていくのか、保育内容・方法・環境や保育者のあり方等から考える。諸外国の保育理念について学び、理解を深める。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画や指導計画にはどのようなものがあるかを知り、実践例を通して計画の作成・実践・記録・省察・評価の関係を理解する。 ・保育の基本である「環境を通して行う」中で子どもが育つ環境(特に人的環境)の重要性を学ぶ。 ・子どもが遊びや生活の中で豊かな体験を通じて資質・能力を身につけていく保育の内容・方法について理解する。 ・フレーベル・モンテッソーリ等の保育理念に学ぶ。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画(教育課程、長期・短期指導計画等)の意味や作成・実践・記録・省察・評価の関係を理解できる。 ・子どもが育つ環境(特に保育者の環境構成や言葉かけ等)の重要性が理解できると共に教材の工夫ができる。 ・豊かな体験を通じて一人一人の資質・能力を育てていくための見通しを持った保育内容や方法、保育者のあり方を理解できる。 						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	保育の計画と実践の原理を考える。 (Ⅰ)教育課程・全体的な計画等			事前学習 事後学習	(教)91～96Pを読み内容を把握する。 授業内容を振り返り要点を整理しておく。	
	②	保育の計画と実践の原理を考える。 (Ⅱ)長期指導計画のたて方と実践・評価等			事前学習 事後学習	(教)97～102Pを読み内容を把握する。 授業内容を振り返り要点を整理しておく。	
	③	保育の計画と実践の原理を考える。 (Ⅲ)短期指導計画のたて方と実践・評価等			事前学習 事後学習	(教)102～107Pを読み内容を把握する。 授業内容を振り返り要点を整理しておく。	
	④	子どもが育つ環境を理解する。 (Ⅰ)物的環境と人的環境の関連について			事前学習 事後学習	(教)55～59Pを読み内容を把握する。 授業内容を振り返り要点を整理しておく。	
	⑤	子どもが育つ環境を理解する。 (Ⅱ)環境を通しての保育について(保育所保育指針)			事前学習 事後学習	保育所保育指針5・6Pを読み内容を把握する。 授業内容を振り返り要点を整理しておく。	
	⑥	DVD「光れどろだんご」を視聴して子どもにとっての環境と保育者の関わり方を学ぶ。			事前学習 事後学習	前回までの子どもの育つ環境を見直しておく。 DVDの内容を振り返り要点をレポートにまとめる。	
	⑦	保育内容・方法の原理を考える。 (Ⅰ)保育の基本と保育内容・方法について			事前学習 事後学習	(教)71～75Pを読み内容を把握する。 授業内容を振り返り要点を整理しておく。	
	⑧	保育内容・方法の原理を考える。 (Ⅱ)子どものための保育内容とは			事前学習 事後学習	(教)76～83Pを読み内容を把握する。 授業内容を振り返り要点を整理しておく。	
	⑨	保育内容・方法の原理を考える。 (Ⅲ)子どものための保育方法とは			事前学習 事後学習	(教)84～88Pを読み内容を把握する。 授業内容を振り返り要点を整理しておく。	
	⑩	保育者のあり方を学ぶ。 (Ⅰ)子どもとの関わりの中で求められるもの			事前学習 事後学習	(教)165～173Pを読み内容を把握する。 授業内容を振り返り要点を整理しておく。	
	⑪	保育者のあり方を学ぶ。 (Ⅱ)保護者との関わりの中で求められるもの			事前学習 事後学習	(教)174～179Pを読み内容を把握する。 授業内容を振り返り要点を整理しておく。	
	⑫	現代の子育てと子育て支援について考える。			事前学習 事後学習	(教)183～190Pを読み内容を把握する。 授業内容を振り返り要点を整理しておく。	
	⑬	諸外国の保育理念を考える。(Ⅰ)フレーベル教育			事前学習 事後学習	フレーベル教育についてネット等で調べておく。 DVDの内容を振り返り要点をレポートにまとめる。	
	⑭	保育の課題と現状を理解する。			事前学習 事後学習	新聞、ネット等で今の保育の問題点を見つけておく。 友達の発表等を振り返りまとめておく。	
⑮	試験、講評			事前学習 事後学習	これまでの学びとまとめプリントを確認する。 講評の内容を把握する。		
学習上の留意点	<p>◎実習での学びを生かし、子どもが何に気付いたり、どう考えたり、表現したりしているか、また、どんな情緒的な力が育っているかを常にキャッチできる保育者を目ざしてほしい。保育を含めた社会状況に関心をもち、自ら調べる姿勢をもって授業に臨むこと。</p> <p>◎グループの話合いには積極的に参加し、友達の意見を聞いたり、自分の意見をまとめたり、発表したりするように努力すること。</p>						
成績評価の方法	定期試験 50%			教科書	『保育原理(新しい保育講座)』渡邊英則他(編)ミネルヴァ書房		
	レポート 30%				『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』及び各解説書		
	授業参加状況や受講態度 20%			参考資料	必要に応じて適宜配布する。		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	子ども家庭福祉			担当教員	川上 恭代	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> 子ども及び家庭の生活実態及びそれらを取り巻く社会の状況を学び、福祉ニーズ、福祉サービスについて理解を深める。 子どもの権利を擁護する視点を確かなものとする。 						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> 子ども家庭福祉に関する制度や法律の成り立ちを社会状況と照らし合わせながら学ぶと共に、体系的に子ども家庭福祉サービスの基礎理論を理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもと家庭に関する福祉サービスの実践等の現状と課題について考え、福祉の専門職としての保育者の役割や専門性について考える。 						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	子ども家庭福祉の理念と概念			事前学習	教科書該当部分の予習	
					事後学習	理念と概念復習	
	②	子ども家庭福祉の歴史の変遷			事前学習	教科書該当部分の予習	
					事後学習	歴史の変遷の復習	
	③	現代社会と子ども家庭福祉			事前学習	教科書該当部分の予習	
					事後学習	現代社会を取り巻く状況の復習	
	④	子ども家庭福祉の一分野としての保育			事前学習	教科書該当部分の予習	
					事後学習	保育とソーシャルワークの復習	
	⑤	人権擁護と子ども家庭福祉			事前学習	教科書該当部分の予習	
					事後学習	人権擁護の復習	
	⑥	子ども家庭福祉の制度と法体系			事前学習	教科書該当部分の予習	
					事後学習	制度と法体系の復習	
	⑦	子ども家庭福祉行財政と実施機関			事前学習	教科書該当部分の予習	
					事後学習	行財政と実施機関の復習	
	⑧	児童福祉施設等			事前学習	教科書該当部分の予習	
				事後学習	児童福祉施設・専門職の復習		
⑨	少子化と子育て支援サービス			事前学習	教科書該当部分の予習		
				事後学習	子育て支援サービスの復習		
⑩	母子保健と子どもの健全育成			事前学習	教科書該当部分の予習		
				事後学習	母子保健と子どもの健全育成のしくみの復習		
⑪	多様な保育へのニーズ			事前学習	教科書該当部分の予習		
				事後学習	ニーズへの背景の復習		
⑫	児童虐待防止・ドメスティックバイオレンス			事前学習	教科書該当部分の予習		
				事後学習	児童虐待・DVにおける現状・予防の復習		
⑬	障がいのある子どもと家庭への支援			事前学習	教科書該当部分の予習		
				事後学習	障がいの分類及び支援の復習		
⑭	関係諸機関との連携とネットワーク			事前学習	教科書該当部分の予習		
				事後学習	ネットワークの必要性・構造の復習		
⑮	試験・まとめ			事前学習	試験出題箇所の学習		
				事後学習	試験内容の振り返り		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 毎回必ず教科書を持参し、配布物はファイルに綴じましょう 保育者を志す者として、主体的且つ積極的に授業に臨みましょう 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 70% 提出物 30% 			教科書	『子ども家庭福祉』 新保幸男・小林理(編著) 中央法規出版株式会社		
	上記に平常点(授業参加状況や受講態度等)を勘案して評価する。			参考資料			

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	社会福祉			担当教員	横井 直子	児童養護施設職員として 実務経験有	
全体目標	社会福祉の意義や現状を学び、子ども家庭支援の理解を深める						
一般目標	保育を必要とする子どもとその家庭が置かれている環境(社会)を理解する為、社会福祉の各分野の制度や仕組み、利用者保護について学ぶ						
到達目標	社会福祉の基本理念と動向、課題を学ぶことにより、社会の中で子どもを育てる為に必要な視点を学ぶ。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 社会福祉とは何か	事前学習	事後学習	自分の身近にある「社会福祉」には何があるのか考えておく	保育領域に近接する社会福祉を覚える		
	② 社会福祉に携わる人々・専門職	事前学習	事後学習	保育士資格とはどのようなものか調べておく	専門職とは何か意見をまとめておく		
	③ 社会福祉の歴史	事前学習	事後学習	保育において功績のある人物を調べる	歴史が現在に与える影響を整理する		
	④ 社会福祉の制度(法律など基本となる制度)	事前学習	事後学習	児童福祉に関わる法律を調べる	この回で学んだ主要な法律を覚える		
	⑤ 子ども・家庭に関わる福祉	事前学習	事後学習	児童福祉の抱える時事問題を調べる	家庭の役割とは何か整理する		
	⑥ 障害児・者に関わる福祉	事前学習	事後学習	発達障害についての予習	この回で学んだ概念を整理する		
	⑦ 高齢者福祉	事前学習	事後学習	年金とは何か調べる	年金制度の復習		
	⑧ 中間学習確認(レポートまたは簡易テスト)	事前学習	事後学習	7回目までの内容を見直す	理解できていなかった項目の復習		
	⑨ 地域福祉	事前学習	事後学習	自分の地域にある福祉サービスを調べる	要保護対策協議会について復習		
	⑩ 貧困と社会福祉	事前学習	事後学習	子どもの貧困とは何か調べる	生活保護制度について復習		
	⑪ 社会福祉援助技術(ケースワーク)	事前学習	事後学習	相談とは何か考えておく	相談援助の視点の復習		
	⑫ 社会福祉援助技術(グループワーク等)	事前学習	事後学習	自分の周りの「集団」には何があるか考える	各援助技術の整理		
	⑬ 社会福祉援助技術(連携・虐待防止等)	事前学習	事後学習	虐待とは何か予習	虐待防止の為にできることをまとめる		
	⑭ 保育と社会福祉	事前学習	事後学習	13回目までの内容を振り返る	社会における保育の役割について考える		
⑮ 試験とまとめ	事前学習	事後学習	各分野の重要項目を説明できるよう整理する	理解不足箇所の確認と復習			
学習上の留意点	知識は、生活の中で考えて場面に応じて使用することにより始めて活かされます。 関心を持ち、積極的に考え、自分の意見を述べてください。						
成績評価の方法	定期試験 60% 中間学習確認 30% 受講態度 10%			教科書	石垣儀郎 編集 「援助者を目指す人の社会福祉」 株式会社 創成社		
				参考資料	志濃原亜美・編集 「みらい×子どもの福祉ボックス 社会福祉」 株式会社みらい		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	子ども家庭支援論			担当教員	河野 遼	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> 現代の日本における、子ども家庭の状況を理解する。 子ども家庭支援の意義と現場での取り組みについて理解する。 						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> 現代の子ども家庭を取り巻く状況を様々な視点から理解する。 子ども家庭に対する様々な支援を理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 現代の子育て家庭のニーズを理解する。 様々な子ども家庭に応じた多様な支援の展開と社会資源の活用を理解する。 子ども家庭支援の現場における実践を学ぶ。 						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	子ども家庭支援の意義と必要性を今までの社会情勢から知学ぼう			事前学習 事後学習	教科書の下読み 授業の復習	
	②	子ども家庭支援の目的と機能を制度の観点から学ぼう			事前学習 事後学習	教科書の下読み 授業の復習	
	③	子育て支援施策の成り立ちと重要性を学ぼう			事前学習 事後学習	教科書の下読み 授業の復習	
	④	子育て家庭を取り巻く社会資源を知ろう			事前学習 事後学習	教科書の下読み 授業の復習	
	⑤	保育の専門性を活かした家庭支援を学ぼう			事前学習 事後学習	教科書の下読み 授業の復習	
	⑥	子どもの育ちの喜びの共有			事前学習 事後学習	教科書の下読み 授業の復習	
	⑦	地域での子育てについて学ぼう			事前学習 事後学習	教科書の下読み 授業の復習	
	⑧	保育士に求められる基本的態度を自己覚知という視点で考えよう			事前学習 事後学習	教科書の下読み 授業の復習	
	⑨	様々な子育て家庭を知り、その状況に応じた支援を学ぼう			事前学習 事後学習	教科書の下読み 授業の復習	
	⑩	子ども家庭のニーズを捉え、社会資源の活用を学ぼう			事前学習 事後学習	教科書の下読み 授業の復習	
	⑪	子ども家庭支援を具体的なアプローチから学ぼう			事前学習 事後学習	教科書の下読み 授業の復習	
	⑫	保育所等を利用する家庭のニーズと現状を理解し求められる支援とは？			事前学習 事後学習	教科書の下読み 授業の復習	
	⑬	要保護児童及びその家庭への支援を学ぼう			事前学習 事後学習	教科書の下読み 授業の復習	
	⑭	多様化する子ども家庭の潜在的ニーズを知り、支援を学ぶ			事前学習 事後学習	教科書の下読み 授業の復習	
⑮	定期試験・講評			事前学習 事後学習	これまでの学びの復習及び確認 講評の内容の整理		
学習上の留意点	適宜グループワークを行うので、積極的に取り組むこと						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 70% 授業参加状況など 30% 			教科書	新基本保育シリーズ5 「子ども家庭支援理論」中央法規		
				参考資料			

シラバス(授業計画)

部	昼間部 午前コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	子ども家庭支援論			担当教員	丹羽 加奈子	保育士として 実務経験有	
全体目標	現代の家族の社会的状況や子育てについての適切な支援のあり方を理解し、地域や関係機関と連携し、子どものための家庭支援の充実について理解する。						
一般目標	①家庭とその機能について理解する。 ②子育て家庭を取り巻く社会的状況について理解できる。		③子育て家庭の支援体制について理解する。 ④子育て家庭への支援の展開と関係機関との連携について理解する。				
到達目標	①家庭の意義とその機能について理解できる。 ②子育て家庭を取り巻く社会的状況について理解できる。		③子育て家庭への支援体制について理解できる。 ④他機関等の連携について理解できる。				
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 子ども家庭支援の意義と目的 ・子ども家庭支援の意義、必要性 ・子ども家庭支援への期待				事前学習	教科書P6～P12を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	② 子ども家庭支援の内容と対象 ・子ども家庭支援の内容 ・子育て支援の内容と対象				事前学習	教科書P14～P21を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	③ 保育の専門性を生かした子ども家庭支援とその意義 ・保育の専門性と子育て支援 ・保育士に求められる家庭支援				事前学習	教科書P26～P34を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	④ 子どもの育ちの喜びの共有 ・子どもの育ちと家庭支援 ・保育における子どもの育ちの喜びの共有				事前学習	教科書P38～P44を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑤ 保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援 ・保護者の理解 ・子育てを自ら実践する力の向上への支援				事前学習	教科書P48～P56を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑥ 保育士に求められる基本的態度① ・受容的関わり ・保護者との相互理解 ・信頼関係				事前学習	教科書P60～P68を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑦ 保育士に求められる基本的態度② ・関わりと信頼関係 ・関わりの方				事前学習	教科書P74～P84を読んでおく	
					事後学習	授業内容を振り返る	
⑧ 家庭の状況に応じた支援 ・保育士が担う保育に関する子育て支援				事前学習	教科書P88～P98を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑨ 地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力 ・地域の資源の活用 ・自治体、関係機関等との連携・協力				事前学習	教科書P102～P108を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑩ 子育て家庭の福祉を図るための社会資源 ・社会資源とは ・フォーマル、インフォーマルな社会資源				事前学習	教科書P116～P124を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑪ 子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進 ・子育て支援施策の流れ ・子ども、子育て支援新制度の概要				事前学習	教科書P128～P133を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑫ 保育所等を利用する子ども家庭への支援 ・子ども家庭支援からみる保育所等の役割				事前学習	教科書P138～P150を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑬ 地域の子育て家庭への支援 ・子育て家庭からみる地域の役割				事前学習	教科書P152～P164を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑭ 要保護児童等およびその家庭に対する支援 子ども家庭支援に関する現状と課題				事前学習	教科書P166～P173を読んでおく		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑮ 試験・まとめ				事前学習	学んだことを復習する		
				事後学習	授業内容が実践につながるよう復習する		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から子どもを取り巻く社会の動きに関心をもち、子育て家庭とのつながりを考え、自主学習をするなど意欲的に取り組むこと ・必要に応じて資料配布する。当日欠席した場合は、必ず取りにくること ・意見交換やグループワークには積極的に参加し、多様な意見や考え方を感じながら取り組むこと 						
成績評価の方法	定期試験	60%		教科書	「子ども家庭支援論 演習ブック」 株式会社 ミネルヴァ書房		
	提出物	10%					
	授業参加状況・課題	30%		参考資料	保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領		
	(授業での取り組み・グループワーク・レポート作成 等)						
	以上を総合的に評価する						

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	社会的養護 I			担当教員	柴田 瞳	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	保育士にとって必要な社会的養護の知識を身につける。						
一般目標	社会的養護を必要とする子どもたちの背景、社会的養護の法制度や体系、援助を行う機関や施設、社会的養護における人権擁護と自立支援、専門職の役割と意義、援助者として必要な視点などについて理解を深める。						
到達目標	1, 社会的養護について学び、用語等を覚える。 2, 学習を通して、自己覚知を行う。 3, 事例などを通して児童養護施設について理解する。						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	① 社会的養護とは何か オリエンテーション				事前学習	「はじめに」読んでおく	
					事後学習	板書内容の確認	
	② 社会的養護とは何か				事前学習	p1～13読んでおく	
					事後学習	社会的養護とは何か説明できるようにする	
	③ 現代社会に暮らす子どもと家庭				事前学習	p15～33読んでおく	
					事後学習	現代社会の特徴を理解する	
	④ 子どもの権利				事前学習	p35～49読んでおく	
					事後学習	子どもの権利の特徴を理解する	
	⑤ 子どもの養護の歴史				事前学習	p51～61読んでおく	
					事後学習	養護問題の質の変化について理解する	
	⑥ 社会的養護の体系:家庭養護と施設養護				事前学習	p63～70読んでおく	
					事後学習	社会的養護の体系図を頭に入れる	
	⑦ 社会的養護の制度				事前学習	p71～86読んでおく	
					事後学習	それぞれの機関の名称・特徴を頭に入れる	
⑧ 施設養護の特質				事前学習	p87～96読んでおく		
				事後学習	施設養護の役割を理解する		
⑨ 施設養護の基本原則				事前学習	p97～107読んでおく		
				事後学習	社会的養護の基本理念・原理を理解する		
⑩ 施設養護の実際:日常生活および自立支援				事前学習	p109～121読んでおく		
				事後学習	生活支援・自立支援について理解する		
⑪ 施設養護の実際:治療的・支援的援助				事前学習	p123～132読んでおく		
				事後学習	治療的援助について理解する		
⑫ 施設養護の実際:親子・地域との関係調整				事前学習	p133～145読んでおく		
				事後学習	家族支援について理解する		
⑬ 事例検討(試し行動)				事前学習	用語の復習をする		
				事後学習	事例について自宅学習する		
⑭ 事例検討(子どもの自立)				事前学習	プリントの復習をする		
				事後学習	事例について自宅学習する		
⑮ 試験・まとめ				事前学習	試験出題箇所学習		
				事後学習	試験内容の把握		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に合わせて教科書に目を通すことで、各章の全体を把握しましょう。 ・必ず教科書を持参してください。 ・プリントの記入が十分でない場合は、自宅学習してください。 						
成績評価の方法	50% 定期試験	・持ち込み不可			教科書	「社会的養護」 小池由佳／山縣文治(編著) ミネルヴァ書房	
	50% 平常点	・授業参加状況や受講態度等 ・プリント提出の状況と内容					
					参考資料		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	子ども家庭支援の心理学 I			担当教員	近藤 万莉		
全体目標	生涯発達に関する心理学の基礎を踏まえ、家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、子育て家庭をめぐる現状と課題、子どもの精神保健とその課題について理解する。						
一般目標	子どもの育ちに関する発達心理学的視点、および家族・家庭に関する社会学的視点を学ぶ。 保育者として子どもとその家庭を支援する際の基礎的な知識を習得する。						
到達目標	①生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を獲得し、初期経験の重要性、発達課題等を理解する。 ②家族・家庭の意義や機能を理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。 ③子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 ④子どもの精神保健とその課題について理解する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 発達理論とは			事前学習	シラバスを読む	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	②	生涯発達(1) 乳児期の発達			事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	③	生涯発達(2) 幼児期の発達			事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	④	生涯発達(3) 学童期・青年期の発達			事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	⑤	生涯発達(4) 成人期・老年期の発達			事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	⑥	家族・家庭の理解(1) 家族・家庭の意義と機能			事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
	⑦	家族・家庭の理解(2) 親子関係・家族関係の理解			事前学習	配布資料に目を通す	
					事後学習	授業内容の振り返り	
⑧	家族・家庭の理解(3) 子育て経験と親としての育ち			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑨	子育て家庭に関する現状と課題(1) 子育てを取り巻く社会的状況			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑩	子育て家庭に関する現状と課題(2) ライフコースと仕事・子育て			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑪	子育て家庭に関する現状と課題(3) 多様な家族とその理解			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑫	子育て家庭に関する現状と課題(4) 特別な配慮を要する家庭			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑬	子どもの精神保健とその課題(1) 子どもの生活・生育環境とその影響			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑭	子どもの精神保健とその課題(2) 子どもの心の健康に関わる問題			事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	授業内容の振り返り		
⑮	試験、まとめ			事前学習	これまでの学びの確認		
				事後学習	試験及び授業全体の振り返り		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 配布するプリントに授業内容を書き込み、自分なりに授業内容を整理すること。 日頃から新聞・ニュースなどで子どもを取り巻く社会情勢について関心をもち、知識を蓄え、自分なりの考えや意見を持てるよう心がけること。 						
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度	20%	教科書	なし	プリント資料を配布する。		
	提出物	20%					
	定期試験	60%	参考資料	子ども家庭支援の心理学 子どもの未来を支える家庭支援のあり方を探る ひとなる書房			

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	子ども家庭支援の心理学Ⅱ			担当教員	近藤 万莉			
全体目標	生涯発達、家族・家庭の理解、子育て家庭をめぐる現状と課題、子どもの精神保健とその課題という4つの視点から子どもとその家庭を理解・支援するための学びを深める。							
一般目標	子ども家庭支援の心理学での学びを土台に、保育者として子どもとその家庭を包括的に支援していくための視点を養う。							
到達目標	①生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を獲得し、初期経験の重要性、発達課題等を理解する。 ②家族・家庭の意義や機能を理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。 ③子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 ④子どもの精神保健とその課題について理解する。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	オリエンテーション			事前学習	シラバスを読む		
					事後学習	授業内容の振り返り		
	②	保育から支援を考える(1) 保育における子育て支援			事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	授業内容の振り返り		
	③	保育から支援を考える(2) 子育て支援センター、地域子育て支援拠点			事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	授業内容の振り返り		
	④	生涯発達から支援を考える(1) 乳児期			事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	授業内容の振り返り		
	⑤	生涯発達から支援を考える(2) 幼児期			事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	授業内容の振り返り		
	⑥	生涯発達から支援を考える(3) 学童期・青年期			事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	授業内容の振り返り		
	⑦	生涯発達から支援を考える(4) 成人期・老年期			事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	授業内容の振り返り		
⑧	家族・家庭の理解から支援を考える(1) 親子関係・家族関係			事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	授業内容の振り返り			
⑨	家族・家庭の理解から支援を考える(2) 子育ての経験と親としての育ち			事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	授業内容の振り返り			
⑩	子育て家庭をめぐる現状と課題から支援を考える(1) 子育てを取り巻く社会的状況			事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	授業内容の振り返り			
⑪	子育て家庭をめぐる現状と課題から支援を考える(2) 多様な子育て家庭			事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	授業内容の振り返り			
⑫	子育て家庭をめぐる現状と課題から支援を考える(3) 特別な配慮を必要とする家庭			事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	授業内容の振り返り			
⑬	子どもの精神保健とその課題から支援を考える(1) 子どもの心の健康			事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	授業内容の振り返り			
⑭	子どもの精神保健とその課題から支援を考える(2) 発達支援を必要とする子ども			事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	授業内容の振り返り			
⑮	試験、まとめ			事前学習	これまでの学びの確認			
				事後学習	試験及び授業全体の振り返り			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 授業内でのディスカッションやグループワークに積極的に参加すること。 日頃から新聞・ニュースなどで子どもを取り巻く社会情勢について関心をもち、知識を蓄え、自分なりの考えや意見を持てるよう心がけること。 							
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度 (グループワークへの取り組み)			30%	教科書	なし プリント資料を配布する。		
	提出物			20%		参考資料	子どもと保護者に寄り添う 「子ども家庭支援の心理学」 晃洋書房	
	定期試験			50%				

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	子どもの保健			担当教員	森 美香	看護師・保健師として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの健康増進を図る保健活動の意義と他職種間との連携・協働を理解する。 子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する。 子どもの心身の健康状態とその把握方法について理解する。 						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> 保育場面での保健活動と他職種との連携・協働を知る。 子どもの心身の特徴と発育・発達を理解する。 子どもの疾病の予防及び適切な対応ができる。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの心身の健康に関わる保健活動の意義と目的が理解できる。 子どもの生理機能、運動機能を理解する。 子どもにみられる主な疾患を理解する。 						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	生命保持と情緒安定に関わる保健活動の意義と目的 健康の概念と健康指標			事前学習 事後学習	教科書p9～p13を確認 教科書で復習する	
	②	現代社会における子どもの健康に関する現状と課題			事前学習 事後学習	教科書p13～p18を確認 教科書で復習する	
	③	生物としての人の成り立ち 乳幼児期の身体発育の概要			事前学習 事後学習	教科書p19～p27を確認 教科書で復習する	
	④	運動機能の発達			事前学習 事後学習	教科書p27～p29を確認 教科書で復習する	
	⑤	呼吸機能・循環機能・免疫機能の発達			事前学習 事後学習	教科書p30～p32を確認 教科書で復習する	
	⑥	消化機能・尿排泄・体温調節機能の発達			事前学習 事後学習	教科書p32～p35を確認 教科書で復習する	
	⑦	内分泌機能・感覚機能・神経機能の発達			事前学習 事後学習	教科書p35～p40を確認 教科書で復習する	
	⑧	発達に即応した基本的生活習慣の形成			事前学習 事後学習	教科書p41～p58を確認 教科書で復習する	
	⑨	健康状態の観察 心身の不調等の早期発見 発育・発達の把握と健康診断 身体発育の評価			事前学習 事後学習	教科書p59～p71を確認 教科書で復習する	
	⑩	子どもの疾病の特徴 感染症と予防接種			事前学習 事後学習	教科書p73～p79を確認 教科書で復習する	
	⑪	感染症 先天異常 アレルギー疾患			事前学習 事後学習	教科書p80～p89を確認 教科書で復習する	
	⑫	消化器疾患 呼吸器疾患 循環器疾患 血液疾患			事前学習 事後学習	教科書p89～p92を確認 教科書で復習する	
	⑬	神経系疾患 皮膚疾患 腎・泌尿生殖器疾患			事前学習 事後学習	教科書p92～p95を確認 教科書で復習する	
	⑭	眼・耳の疾患 整形外科疾患 内分泌・代謝疾患 SIDS			事前学習 事後学習	教科書p95～p100を確認 教科書で復習する	
	⑮	定期試験 まとめ			事前学習 事後学習	授業で話すポイントを押さえ学習しておく 総復習	
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 初日に話す授業マナーを守りましょう。 積極的に授業に参加しましょう。 						
成績評価の方法	定期試験・・・50% 授業態度(課題や小テストの取り組み、振返り 授業に臨む姿勢)・・・50%			教科書	『子どもの保健』 中根淳子他編 ななみ書房		
				参考資料	必要に応じて適宜配布する。		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	子どもの食と栄養			担当教員	加藤 美紀子	管理栄養士として実務経験有	
全体目標	子どもを健康でたくましく育てるために、保育者として食と栄養についての幅広い知識と実践を身につけ、一人一人の「食べる力」を支援できる保育士の要請を目指す。						
一般目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎的な栄養知識を習得し、実際にさらに調理技術を身に付け、食を提供できるようにする。 2 自分自身の食生活の状態を顧みて、普段の食を大切にする。 3 子どもの食生活の問題点や、食の安全性、小児を持つ家庭の食生活の現状を把握する。 						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 人間の身体と栄養のつながりをしっかり学習をする。 2 子どもや、保護者へ適切な食育ができるように「子どもの食と栄養」を学ぶ。 						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	人と食べ物の関係 子どもの健康と食生活の意義			事前学習	テキストP2～7予習	
					事後学習	子どもと自分自身食の現状を考える	
	②	栄養に関する基本的知識 炭水化物・脂質・たんぱく質・ミネラルを含む食品と機能			事前学習	テキストP8～17予習	
					事後学習	自分が食している食品の栄養成分を考える	
	③	ビタミン・水を含む食品と機能 食べたものの消化吸収について(ビデオ)			事前学習	テキストP16～20予習	
					事後学習	消化吸収のビデオを見て感想を提出	
	④	食事摂取基準と献立作成・調理の基本			事前学習	テキストP20～32予習	
					事後学習	栄養のバランスを考え献立を立ててみる	
	⑤	子どもの発育・発達と食生活 授乳期の食生活 母乳栄養・人工栄養・混合栄養			事前学習	テキストP38～55予習	
					事後学習	母乳の利点・人工栄養の留意点の復習	
	⑥	離乳期の食生活と栄養 離乳食の役割・進め方			事前学習	テキストP56～67予習	
					事後学習	市販されているベビーフードを調べてみる	
	⑦	離乳食の与え方・調理上の注意 楽しい離乳食(ビデオ)			事前学習	テキストP58～68予習	
					事後学習	離乳食のビデオを見て感想を提出	
⑧	幼児期の食生活と栄養 幼児期の献立・間食・幼児期の食生活の問題点			事前学習	テキストP73～80予習		
				事後学習	実習園での食事の問題点を書き出してみる		
⑨	学童期・思春期の食生活と栄養 食生活の注意点・学校給食			事前学習	テキストP84～93予習		
				事後学習	学童期・思春期の食生活の問題点の復習		
⑩	生涯発育・発達と食生活 成人期・妊娠期の食生活と栄養			事前学習	テキストP93～99予習		
				事後学習	成人期の食の問題点の復習		
⑪	食育の基本と内容 食育の意義・目的と基本的考え・内容・計画・評価			事前学習	テキストP100～110予習		
				事後学習	保護者への食の支援の方法を考えてみる		
⑫	家庭や児童福祉施設における食事と栄養 家庭・保育所・その他の児童福祉施設の食事と食の自立支援			事前学習	テキストP112～132予習		
				事後学習	栄養・食事・食中毒予防について復習		
⑬	特別な配慮を要する子どもの食と栄養 疾病および食物アレルギー・障害のある子どもへの対応			事前学習	テキストP134～143予習		
				事後学習	P141アレルギー児の受け入れを復習する		
⑭	保育所での食育の実践 食育を漫画で作成(提出)			事前学習	食育のタイトルを決め準備をしてくる。		
				事後学習	食育に適した他の媒体を考える。		
⑮	定期試験・講評			事前学習	試験の勉強		
				事後学習	講評の把握		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の自らの食生活を子どもの食と栄養を学びながら考え直していく。 ・ 「食べる」ということを正しい関心を持つために意欲的に基礎知識を習得し、さらに調理技術を身に付けるよう努力をする。 ・ 課題の提出を必ず守る。 						
成績評価の方法	定期試験	80%			教科書	発育期の子どもの食生活と栄養	
	提出物	20%				学建書院	
	平常点(授業参加状況や受講態度など)勘案する。				参考資料	八訂 日本食品成分表	

シラバス(授業計画)

部	昼間部 午前コース	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	子どもの食と栄養			担当教員	大谷 香代		
全体目標	子どもの栄養と食生活は、身体の発達発育だけでなく、生涯にわたり心身の健康・発達に大きく影響する。日々の食事の目的と意義を考え、食の知識や実践力を身につけることを目標とする。また、子どもを取り巻く多様な生活環境や食生活の現状を理解し、食物アレルギーなども含め、具体的な支援やどのように対応すべきかを考える。						
一般目標	生涯においての食に関する特徴や問題点を意識し、各時期に応じた正しい食の知識を身につける。保育者としても食に関して学び、自分自身の食生活も見直す。子どもの食生活を学ぶことを通して、食や栄養の支援について考えられるようになる。						
到達目標	子どもの個々の食生活の問題点を探り、個々に合わせた食事の支援を行えることを目指す。栄養について理解し、自分自身の食生活を管理した上で、子どもや保護者との関わりの中で望ましい食生活を考え、支援していくための力を身につける。						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 子どもの健康と食生活の意義	事前学習	事後学習	テキストp10～19予習	p20演習課題		
	② 栄養に関する基礎知識①(炭水化物、脂質、たんぱく質)	事前学習	事後学習	テキストp22～29予習	各栄養素の働きをまとめる		
	③ 栄養に関する基礎知識②(ビタミン、ミネラル、水分)	事前学習	事後学習	テキストp29～33予習	各栄養素の働きをまとめる		
	④ 栄養に関する制度	事前学習	事後学習	テキストp36～45予習	p47演習課題		
	⑤ 妊娠期と授乳期の食生活	事前学習	事後学習	テキストp48～59予習	p60演習課題		
	⑥ 乳汁期の栄養①(母乳栄養)(人工乳栄養)	事前学習	事後学習	テキストp62～68予習	母乳・人工乳栄養の利点欠点をまとめる		
	⑦ 離乳期の栄養	事前学習	事後学習	テキストp68～74予習	p75演習課題		
	⑧ 幼児期の発育・発達と食生活①(問題点と特徴)	事前学習	事後学習	テキストp76～86予習	p88演習課題		
	⑨ 幼児期の発育・発達と食生活②(間食を考える)	事前学習	事後学習	テキストp80～81復習	食生活の問題点のまとめと復習		
	⑩ 演習 離乳食、ベビーフード	事前学習	事後学習	テキストp68～74復習	離乳食の実際をまとめる		
	⑪ 特別な配慮を要する子どもの食と栄養	事前学習	事後学習	テキストp144～158予習	p159演習課題		
	⑫ アレルギー疾患をもつ子どもの食と栄養	事前学習	事後学習	テキストp161～168予習	p169演習課題		
	⑬ 食育の基本と内容	事前学習	事後学習	テキストp117～129予習	食育に関わる内容の復習		
	⑭ 演習 食育媒体の作成	事前学習	事後学習	食育を考える	演習以外の食育媒体を考える		
⑮ 試験、まとめ	事前学習	事後学習	試験出題範囲の勉強/まとめ	総復習			
学習上の留意点	子どもや保護者に対する食育を考え、適切な食育を行えるようにすることを意識する。 自身を取り巻く食環境について、食の外部化、和食離れ、朝食習慣、生活習慣病など身近な食の問題を考える。						
成績評価の方法	定期試験 70% 提出物、平常点(授業参加状況、受講態度など) 30%			教科書	子どもの食と栄養 第3版 羊土社		
				参考資料			

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	乳児保育 I			担当教員	川合 真由美	保育士として 実務経験有	
全体目標	「乳児保育」の意義・目的・役割・歴史的変遷及について理解する。保育所等集団の場で育つ3歳未満児の発達を理解し、その援助を習得する。						
一般目標	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容と運営体制について把握する。「乳児保育」における職員間の連携・協働及び保護者・地域の関係機関との連携について理解する。						
到達目標	「乳児保育」の意義・目的を理解し、3歳未満児の発達とその援助について理解する。						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	乳児保育の意義・目的			事前学習	乳児保育について問題意識を持つ	
					事後学習	授業の進め方を確認する	
	②	乳児保育の歴史的変遷と子育て支援			事前学習	3歳未満児が育つ子育て環境に関心を持つ	
					事後学習	乳児保育の現状や課題を理解する	
	③	0・1・2歳児の発達と保育内容			事前学習	乳児期の愛着の形成などに関心を持つ	
					事後学習	0歳児の発達と保育内容を理解する	
	④	1歳以上3歳未満児の保育で大切にすること			事前学習	1・2歳児の発達と保育内容に関心を持つ	
					事後学習	1・2歳児の発達と保育内容を理解する	
	⑤	0・1・2歳児の生活と環境(育児担当制と食事)			事前学習	乳児クラスの生活の場としての環境に興味を持つ	
					事後学習	乳児クラスの生活の場としての環境を理解する	
	⑥	0・1・2歳児の生活と環境(睡眠着脱等)			事前学習	乳児クラスの生活の場としての環境に興味を持つ	
					事後学習	乳児クラスの生活の場としての環境を理解する	
	⑦	0・1・2歳児の生活と環境(排泄と清潔等)			事前学習	乳児クラスの生活の場としての環境に興味を持つ	
					事後学習	乳児クラスの生活の場としての環境を理解する	
	⑧	0歳児の遊びと環境			事前学習	0歳児の遊びと環境について興味を持つ	
				事後学習	0歳児の遊びと環境について理解する		
⑨	1歳児の遊びと環境			事前学習	1歳児の遊びと環境について興味を持つ		
				事後学習	1歳児の遊びと環境について理解する		
⑩	2歳児の遊びと環境			事前学習	2歳児の遊びと環境について興味を持つ		
				事後学習	2歳児の遊びと環境について理解する		
⑪	乳児にとっての遊びとおもちゃの役割			事前学習	乳児にとってのおもちゃを把握しておく		
				事後学習	乳児にとっての遊びやおもちゃの役割を理解する		
⑫	健康および安全			事前学習	乳児保育における危機管理の情報を把握しておく		
				事後学習	健康・安全に対する重要性を理解し知識を身に着ける		
⑬	職員間の連携・協働			事前学習	複数担任で保育をすることの意味を考える		
				事後学習	職員間の連携・協働の重要性を理解する		
⑭	乳児保育における全体的な計画			事前学習	保育計画と記録の必要性に関心を持つ		
				事後学習	保育記録の重要性を理解する		
⑮	試験、講評			事前学習	授業の復習をしておく		
				事後学習	試験内容について振り返る		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を守る ・提出物は速やかに出す ・人の話には耳を傾ける ・授業の資料は1冊のファイルにまとめる 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参加状況・受講態度 30% ・試験成績 70% 			教科書	講義で学ぶ乳児保育 小山朝子 わかば社 2024		
				参考資料	平成30年保育所保育指針解説書		

シラバス(授業計画)

部	昼間部 午前コース	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	乳児保育 I			担当教員	吉村 壽子	保育士として 実務経験有	
全体目標	「乳児保育」の意義・目的と歴史的変遷及び役割について理解する。保育所・乳児院など多様な保育の場における「乳児保育」の現状と課題について理解する						
一般目標	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容と運営体制について把握する。「乳児保育」における職員間の連携・協働及び保護者・地域の関係機関との連携について理解する						
到達目標	「乳児保育」の意義・目的を理解し、「乳児保育」の現状と課題について理解する						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 乳児保育の目的と役割				事前学習	乳児保育について問題意識を持つ	
					事後学習	授業の進め方を確認する	
	② 乳児保育の基本				事前学習	3歳未満児の保育や歴史に関心を持つ	
					事後学習	乳児保育の現状や課題を理解する	
	③ 0・1・2歳児の発達				事前学習	0・1・2歳児の発達と保育内容に関心を持つ	
					事後学習	0・1・2歳児の発達と保育内容を理解する	
	④ 乳児(0歳児)の保育内容				事前学習	乳児(0歳児)の発達と保育内容に関心を持つ	
					事後学習	乳児(0歳児)の発達と保育内容を理解する	
	⑤ 1歳以上3歳未満児の保育内容				事前学習	1・2歳児の発達と保育内容に関心を持つ	
					事後学習	1・2歳児の発達と保育内容を理解する	
	⑥ 乳児の生活と遊びの基本的事項				事前学習	乳児クラスの生活と遊びに関心を持つ	
					事後学習	乳児クラスの生活と遊びを理解する	
	⑦ 乳児の生活の基本				事前学習	乳児クラスの生活に関心を持つ	
					事後学習	乳児クラスの生活の基本について理解する	
⑧ 乳児の遊び				事前学習	乳児クラスの遊びとおもちゃを把握しておく		
				事後学習	乳児クラスの遊びとおもちゃの役割を理解する		
⑨ 乳児保育の環境構成				事前学習	乳児クラスの生活の場としての環境に関心を持つ		
				事後学習	乳児クラスの生活の場としての環境を理解する		
⑩ 乳児保育における全体的な計画				事前学習	保育計画の必要性に関心を持つ		
				事後学習	保育記録の重要性を理解する		
⑪ 乳児保育における子育て支援				事前学習	乳児保育での子育て支援に関心を持つ		
				事後学習	保護者への対応や実際について理解する		
⑫ 乳児保育における連携				事前学習	複数担任で保育をすることの意味を考える		
				事後学習	職員間の連携・協働の重要性を理解する		
⑬ 一人一人を健やかに育てていくために				事前学習	保育者としての専門性について考える		
				事後学習	保育者として専門性と資質向上の確認をする		
⑭ 健康及び安全				事前学習	乳児保育における危機管理の情報を把握しておく		
				事後学習	健康・安全に対する重要性を理解し知識を身に付ける		
⑮ 試験、講評				事前学習	授業の復習をしておく		
				事後学習	試験内容について振り返る		
学習上の留意点	時間を守る・提出物は速やかに出す・人の話には耳を傾ける ・プリントは1冊のファイルにまとめる						
成績評価の方法	授業参加状況、受講態度、提出物 40%			教科書	『講義で学ぶ乳児保育』小山朝子 わかば社		
	試験成績 60%				『私の歩んだ道』吉村壽子		
				参考資料	平成30年保育所保育指針、解説書		
					平成30年幼保連携型認定こども園教育保育要領、解説書		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	乳児保育Ⅱ			担当教員	森 節子	保育士として実務経験有	
全体目標	3歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について学ぶ。						
一般目標	養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について具体的に理解する。						
到達目標	乳児保育における配慮の実践について具体的に理解する						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]		課外学習			
	①	乳児保育Ⅰの振り返り 乳児保育における保育者の専門性		事前学習	乳児保育Ⅰの振り返りをしておく		
				事後学習	乳児保育の保育者の専門性について理解をする		
	②	乳児保育の育児担当制と継続的な日課 (流れる日課)		事前学習	育児担当制・継続的な日課について調べる		
				事後学習	育児担当制・継続的な日課について理解する		
	③	乳児保育の内容と方法及び環境①(おむつ替え、おんぶ・着替え)		事前学習	着替えとおむつ替えの復習、おんぶの仕方を調べておく		
				事後学習	着替えとおむつ替え、おんぶのポイントの理解をする		
	④	乳児保育の内容と方法及び環境②(授乳、離乳食、睡眠)		事前学習	授乳、離乳食の援助と睡眠の復習		
				事後学習	授乳、離乳食の援助のポイント、睡眠について理解する		
	⑤	乳児のあそびとおもちゃ、手作り玩具づくり		事前学習	3歳未満児の発達について復習しておく		
				事後学習	手作り玩具づくり、教材研究をする		
	⑥	手作り玩具の完成・発表		事前学習	手作り玩具を完成させる		
				事後学習	手作り玩具の発表、他者の作品から学ぶ		
	⑦	家庭との連携・連絡帳の書き方		事前学習	家庭との連携について調べる		
				事後学習	連絡帳、書き方のポイントについて理解する		
⑧	保護者との相互理解と連携 ドキュメンテーションの作成の意義		事前学習	ドキュメンテーションについて調べる			
			事後学習	視聴したDVDの中の子どもの育ちについて考える			
⑨	ドキュメンテーションの作成		事前学習	視聴したDVDの中の子どもの育ちをまとめておく			
			事後学習	他者のドキュメンテーションから学ぶ			
⑩	個別の計画と集団の計画		事前学習	指導計画について調べる			
			事後学習	個別の指導計画について理解する			
⑪	人形、絵本を使った保育場面・保育内容を計画する		事前学習	指導計画の書き方について調べる			
			事後学習	指導計画の書き方について理解する			
⑫	指導計画の模擬保育		事前学習	模擬保育の準備			
			事後学習	模擬保育についての評価反省			
⑬	子育て支援		事前学習	子育て支援の復習			
			事後学習	子育て支援の重要性について理解する			
⑭	子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮		事前学習	乳児保育における危機管理について調べる			
			事後学習	乳児保育における危機管理について理解する			
⑮	試験・まとめ		事前学習	授業の復習をしておく			
			事後学習	試験内容について振り返る			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 配布されたプリントはファイルに綴り、重要な箇所への追記をすること。 日頃から、子どもに関わるニュースに関心を持ち、自分なりに考えてみる。 グループワークには積極的に参加し、自分の意見を持つこと。 演習活動は自主的に行い、実習などの保育場面に結び付けるように学ぶこと。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験60% 平常点 40% 受講態度 グループワークや演習活動参加姿勢 提出物			教科書	講義で学ぶ乳児保育 わかば社		
				参考資料	保育所保育指針 「乳児保育Ⅰ・Ⅱ」児童育成協会監修 中央法規 乳児保育Ⅰ・Ⅱ児童育成協会監修 中央法規		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	子どもの健康と安全			担当教員	森 美香	看護師・保健師として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。 子どもの体調不良等に対する適切な対応について理解する。 子どもの健康および安全の管理に関わる組織的取組や保健活動の計画や評価について理解する。 						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> 保育における保健活動の内容を理解する。 保育における保健的対応に関連する各種ガイドラインを理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 心身の健康に関する保健活動や環境を理解する。 体調不良などに対する適切な対応を理解する。 感染症対策、衛生管理、および安全管理・教育についての取り組みを理解する。 						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	子どもの健康と保育環境	オリエンテーション	演習に臨む姿勢	事前学習	教科書p1～p5を確認	事後学習 教科書で復習する
	②	子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康	および安全の管理		事前学習	教科書p2～p10を確認	事後学習 教科書で復習する
	③	衛生管理			事前学習	教科書p11～p26を確認	事後学習 教科書で復習する
	④	事故防止および安全管理			事前学習	教科書p27～p40を確認	事後学習 教科書で復習する
	⑤	危機管理と災害への備え			事前学習	教科書p41～p51を確認	事後学習 教科書で復習する
	⑥	体調不良や傷害が発生した場合の対応			事前学習	教科書p52～p77を確認	事後学習 教科書で復習する
	⑦	子どもと薬			事前学習	教科書p78～p82を確認	事後学習 教科書で復習する
	⑧	応急手当と一次救命処置			事前学習	教科書p83～p118を確認	事後学習 教科書で復習する
	⑨	感染症の集団発生の予防	予防接種		事前学習	教科書p119～p143を確認	事後学習 教科書で復習する
	⑩	感染症発生時と罹患後の対応			事前学習	教科書p143～p148を確認	事後学習 教科書で復習する
	⑪	保育における保健的対応の基本的な考え方			事前学習	教科書p149～p179を確認	事後学習 教科書で復習する
	⑫	3歳未満児への対応			事前学習	教科書p180～p213を確認	事後学習 教科書で復習する
	⑬	個別的な配慮を要する子どもへの対応		障害をもつ子への対応	事前学習	教科書p214～p245を確認	事後学習 教科書で復習する
	⑭	健康および安全の管理の実施体制			事前学習	教科書p246～p259を確認	事後学習 教科書で復習する
	⑮	定期試験	まとめ		事前学習	授業で話すポイントを押さえ学習しておく	
				事後学習	総復習		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 演習の内容によりエプロン・タオル、のり、ハサミ、輪ゴム等を持参していただくことがあります。 持ち物は授業時に伝達いたします。 積極的な態度で演習に臨んでください。 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験50% 受講態度(演習に臨む姿勢・準備・取組・片付け・振返り)50% 			教科書	『これだけはおさえない!保育者のための子どもの健康と安全』改訂2版 鈴木美枝子編 創成社		
				参考資料	必要に応じて適宜配布する。		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	2単位
科目名	障がい児保育			担当教員	小川 潤子		保育士として実務経験有	
全体目標	障がい児保育の理念や概要、障害児や特別な配慮を要する子どもの保育の現状と課題について理解し、保育士に求められる障がい児保育に必要な基本的姿勢や基本的知識、保育方法・技術、そして保護者支援などについて理解する。							
一般目標	子どもの発達過程を理解し、様々な障がいのある子どもの特性や援助方法を学ぶ。またインクルーシブ保育に近づくための環境構成を考える。							
到達目標	<p>障がい児保育の歴史の変遷を理解し、障がい児保育がどのように発展してきたのかを理解している。</p> <p>個々の子どもの障がいを発達の観点から理解し、実際の保育を想定した配慮や環境構成をについて考えることができる。</p> <p>障がいのある子どもの保護者支援のあり方(理解と育児支援)に理解している。</p> <p>障がいのある子どもの保育を園全体で行う、職員間の連携・協働、また関係機関との連携のあり方について理解している。</p>							
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習			
	①	障がい児保育を支える理念と歴史の変遷			事前学習	教科書P.3～22を読む		
					事後学習	配布資料等を読み直し振り返りをする		
	②	障がい児保育の基本 合理的配慮の理解			事前学習	教科書P.23～38を読む		
					事後学習	配布資料等を読み直し振り返りをする		
	③	知的障がいの理解と保育			事前学習	教科書P.40～50を読む		
					事後学習	配布資料等を読み直し振り返りをする		
	④	肢体不自由の理解と保育			事前学習	教科書P.51～59を読む		
					事後学習	配布資料等を読み直し振り返りをする		
	⑤	聴覚・視覚・言語障がいの理解と保育			事前学習	教科書P.60～76を読む		
					事後学習	配布資料等を読み直し振り返りをする		
	⑥	発達障がいの理解 自閉スペクトラム症の理解 DVD「星の国から孫二人」の視聴			事前学習	教科書P.77～95を読む		
					事後学習	DVDの中のASD児特徴・支援の記入		
	⑦	発達障がいの理解 自閉スペクトラム症の理解と保育 保護者や家族に対する理解と支援			事前学習	DVDの中の保護者支援を考える		
					事後学習	ASDの特徴を理解して保育を考える		
⑧	発達障がいの理解 注意欠如多動症・限局性学習症の理解と保育			事前学習	教科書P.96～105を読む			
				事後学習	配布資料等を読み直し振り返りをする			
⑨	重症心身障がい・医療的ケアの理解と保育 インクルーシブ保育の理解 その他の特別な配慮を必要とする子どもの理解と保育			事前学習	教科書P.77～86 P.106～114を読む			
				事後学習	配布資料等を読み直し振り返りをする			
⑩	子ども理解に基づく個別の計画の理解			事前学習	教科書P.116～130を読む			
				事後学習	個別の計画について考える			
⑪	個々の発達を促す生活や遊びの環境			事前学習	教科書P.131～142を読む			
				事後学習	配布資料等を読み直し振り返りをする			
⑫	他者との関わりと育ち合い 職員間の協力関係			事前学習	教科書P.143～165を読む			
				事後学習	配布資料等を読み直し振り返りをする			
⑬	家庭や関係機関との連携及び今後の課題			事前学習	教科書P.168～を読む			
				事後学習	配布資料等を読み直し振り返りをする			
⑭	実習で出会った気になる子のエピソード記録記入 意見交流			事前学習	エピソードのメモを取ってくる			
				事後学習	他者の事例を振り返る			
⑮	まとめ・試験			事前学習	授業を振り返りまとめる			
				事後学習	障がい児保育を振り返る			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・実習などの機会積極的に関わり、気になる子などへの配慮の方法や保育の方法を学ぶ。 ・社会の中で障がい者に向けた対応が必要なことに気がつく。 ・他者の意見をよく聴き、参考にしたりして自分の意見を持つ。 							
成績評価の方法	平常点 40点 ・受講態度 積極的に参加する (意見を聴く・発表する・話し合いに協力する等) ・提出物 試験 60点			教科書	「実践に生かす障害児保育・特別支援教育」 前田泰弘編著 萌文書林			
				参考資料	「子どもが共に育つための障がい児保育」 齋藤勇紀・守巧 萌文書林 「障がい児保育」小橋明子 中山書店 保育所保育指針 等			

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	社会的養護Ⅱ			担当教員	寺井 陽一	児童養護施設職員として 実務経験有	
全体目標	保育士は、保育所以外にも乳児院、児童養護施設、障害児施設などさまざまな施設で必要とされている。そこで働く上で必要な専門性を身につけてほしい。						
一般目標	①施設に対する基礎的な知識を学ぶ。 ②児童養護施設に入所する児童の入所経緯や家族背景の理解を深める。 ③子どもの自立に向けての援助のあり方、親に対するアプローチを通しての支援のあり方を学ぶ。						
到達目標	施設に対する基礎的な理解や職場での人間関係のあり方の理解を深め、社会人に向けての自覚を高めていきたい。						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 自己紹介 社会的子育てを考える	事前学習	自己PRを考える	事後学習	配布プリント確認		
	② 自己紹介 保育所以外で保育士が活躍する現場	事前学習	自己PRを考える	事後学習	配布プリント確認		
	③ 児童養護施設で生活する子どもたち 児童養護施設のDVDを見る	事前学習	児童養護施設を調べる	事後学習	DVDを見た感想・意見を書く		
	④ 虐待を受けた子どもたち 小規模児童養護施設・ファミリーホームのDVDを見る	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	DVDを見た感想・意見を書く		
	⑤ 児童養護施設に入所する子どもの入所経緯や家族背景1(ケース1、ケース2) 目黒区5歳女児虐待死事件の検証	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	5歳女子虐待死事件を読んだ感想・意見を書く		
	⑥ 児童養護施設に入所する子どもの入所経緯や家族背景1(ケース3、ケース4) 大阪2幼児放置死事件の検証	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	2幼児放置死事件を読んだ感想・意見を書く		
	⑦ 職員に求められる援助技術 乳児院のDVDを見る	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	乳児院のDVDを見た感想・意見を書く		
	⑧ 施設内での子どもへの援助のあり方 アドミッションケアとインケアの基礎理解	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	配布プリント確認		
	⑨ 子どもの自立に向けての援助のあり方 リビングケアとアフターケアの基礎理解	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	配布プリント確認		
	⑩ 問題行動への対応 児童養護施設のDVDを見る事例を通して理解を深める(教科書P118~122)	事前学習	問題行動の実際の例を考える	事後学習	問題行動の実際の対応策を考える		
	⑪ 性と生についての取り組み 性に関するQ&A	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	性に関するQ&Aの復習		
	⑫ 愛着障害について、愛着障害児との治療的な関わり	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	愛着障害についてまとめる		
	⑬ 施設と地域社会との関わり(ボランティア)活動を通して考える 自立支援計画の作成例を考える	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	自立支援計画を作成する		
	⑭ 自立支援計画を発表する 施設実習に向けて・・・施設職員とは、職場の人間関係のあり方	事前学習	実習の抱負を箇条書きにする	事後学習	実習の課題をまとめる		
	⑮ 試験、まとめ	事前学習	テスト(小論文)を考える	事後学習	総復習		
学習上の留意点	授業は、虐待を受けた子ども達が施設に入所してどんな生活をしていくのか、入所後どのように自立に向けてステップを踏んでいくのかを中心に進めていきます。それに合わせて、職員の援助・支援の在り方や子どもの理解を深めていってほしいと思っています。 *授業中に知り得た児童・家族等に関する情報は、守秘すること						
成績評価の方法	定期試験の結果	60%	教科書	参考資料	『児童の社会的養護内容』 神戸賢次・喜多一憲編		
	小レポート	20%					
	授業参加状況・受講態度	20%					

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	児童文化			担当教員	桃乃 カナコ		保育士として実務経験有	
全体目標	様々な児童文化財に触れ、実践を通して子どもたちの心身の成長に大切な役割を果たすことを知る。							
一般目標	伝承遊び・パネルシアター・人形劇などの具体的な遊び方や演出法を習得する。							
到達目標	①伝統的な遊びを学び、習得する。 ②児童文化財の必要性について理解し、積極的に保育に生かす姿勢を持つ。							
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習			
	① わらべ歌・手遊びの魅力・実技				事前学習	わらべ歌・手遊びを練習する		
					事後学習	実技を確認・復習をする		
	② 折り紙(自分人形制作・発表)				事前学習	折り紙等の材料を準備する		
					事後学習	実技を確認・復習をする		
	③ 伝承遊び(あやとり、けん玉等)				事前学習	あやとり等を準備・練習をする		
					事後学習	実技を確認・復習をする		
	④ タオル遊び・タオルパペット製作				事前学習	タオルを準備する		
					事後学習	実技を確認・復習をする		
	⑤ 言葉遊び・大型かるた製作				事前学習	画用紙を準備する		
					事後学習	かるたの絵札を完成させる		
	⑥ 指編みマフラー製作				事前学習	毛糸を準備する		
					事後学習	実技を確認・復習をする		
	⑦ パネルシアター製作				事前学習	パネルシアターの材料を準備する		
					事後学習	実技を確認・復習をする		
⑧ パネルシアター製作・実技				事前学習	パネルシアターの材料を準備する			
				事後学習	指摘箇所の確認をする			
⑨ 紙コップパペット製作				事前学習	パペットの材料を準備する			
				事後学習	実技試験のチームを決めておく			
⑩ 大型かるた大会・パネルシアター鑑賞				事前学習	絵札を準備する			
				事後学習	出し物を調べておく			
⑪ お楽しみ会(内容話し合い)				事前学習	出し物の候補を用意する			
				事後学習	作り方を確認し材料を用意する			
⑫ お楽しみ会(製作)				事前学習	製作の材料を準備する			
				事後学習	製作を進めておく			
⑬ お楽しみ会(製作仕上げ)				事前学習	出し物の展開を確認しておく			
				事後学習	製作物を仕上げる			
⑭ お楽しみ会(演習)				事前学習	発表の準備をする			
				事後学習	細かい部分の確認をする			
⑮ 実技試験、まとめ				事前学習	発表の最終確認をする			
				事後学習	指摘箇所の確認をする			
学習上の留意点	理論を学ぶだけでなく、実際に保育現場で活用できるものを製作・実践し、保育のレパトリーを増やせるようにする。自分の好きなもの・得意なことを発見し、自信を持って自らの保育につなげていけるよう、積極的に参加し、体感する。							
成績評価の方法	授業参加状況や提出物 50%、定期試験(実技) 50%			教科書				
				参考資料	演習 児童文化 萌文書林			

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	子育て支援			担当教員	後藤 加代子		保育士として実務経験有	
全体目標	保育者の行う専門性を背景として、保護者に対する相談、助言、情報提供などが求められる現場において、必要となる基本的な知識と技術を習得することを目標とする。							
一般目標	現代の家庭を取り巻く環境や多様なニーズを踏まえ、保育者として求められる様々な場や対象に即した支援の内容及び方法及び技術を実践を通して具体的に理解する。							
到達目標	保育相談支援の実際を学び、内容や方法を理解する。 保育者が行う子育て支援の特性を理解し、様々な場面で対応出来る技術を身につける。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	子育て支援の意義と社会的背景			事前学習	シラバス・教科書P1～10を読む		
					事後学習	自分出来る子育て支援は何かを考える		
	②	子どもの権利に基づいた子育て支援			事前学習	保育所保育指針第4章を読む		
					事後学習	最善の利益について考える		
	③	保育者に求められる子育て支援の基本			事前学習	教科書P51～65を読む		
					事後学習	相談技術についてまとめる		
	④	保育者による子育て支援の特性 (行事等から行う子育て支援)			事前学習	教科書P11～22を読む		
					事後学習	保育士の特性をまとめる		
	⑤	保育所等における支援 (日常の生活のなかでの支援)			事前学習	P67～P82を読む		
					事後学習	事例についてまとめる		
	⑥	保育所等における支援 (文書やおたよりを利用した支援)			事前学習	配布資料を参考に学ぶ		
					事後学習	保育者として保護者対応について考える		
	⑦	乳児を持つ保護者の支援			事前学習	教科書P99～115を読む		
					事後学習	保育者として保護者対応について考える		
⑧	気になる子や発達障がいのある子どもと家庭に対する支援			事前学習	教科書P129～143を読む			
				事後学習	保育者として保護者対応について考える			
⑨	特別な配慮を必要とする子ども及び家庭に対する支援 (外国籍・貧困・親の病気)			事前学習	教科書P145～160を読む			
				事後学習	特別な配慮を必要とする家庭の定義をまとめる			
⑩	虐待予防と対応と対応の実際			事前学習	教科書P163～176			
				事後学習	事例を読み虐待に対して対応を考える			
⑪	多様な保育ニーズを抱える子育て家庭への理解とその支援			事前学習	教科書P191～P201を読む			
				事後学習	事例についてまとめる			
⑫	支援のための連携と協働			事前学習	教科書P39～49を読む			
				事後学習	子育て支援における連携機関をまとめる			
⑬	地域の子育て家庭に対する支援			事前学習	教科書P83～95を読む			
				事後学習	地域の子育て支援について考える			
⑭	子育て支援をめぐる今後の課題			事前学習	教科書P207～218を読む			
				事後学習	保育者が行う子育て支援を学びから考える			
⑮	試験・まとめ			事前学習	授業での課題や小テストなどを参考に復習する			
				事後学習	これまでの授業の内容を見直しまとめる			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てにおける社会の状況に関心を持ち保育者として、子どもや保護者の現状を知る。 ・保育者として、保育の中で子育て支援を実施していくことが出来るように授業中は事例検討やロールプレイに参加して学びを深めること。 ・欠席した場合は資料を取りにくるようにする 							
成績評価の方法	平常点(受講態度・発表)	20%		教科書	保育ニュー・スタンダード 子育て支援 同文書院 太田光洋 著			
	課題提出	30%			参考資料	「保育所保育指針解説」厚労省・フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」内閣府		
	定期試験	50%						

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	音楽基礎			担当教員	奥野 靖子 藤田 桂子		
全体目標	子どもの音楽的表現を援助し、引き出すための、音楽全般における基礎的な知識を習得する。 子どもの歌を伸びやかに歌唱するために必要な発声、発音、表現を学習する。						
一般目標	音楽についての基礎的な知識を習得し、自身の演奏に生かすことができる。 子どもの歌の歌唱表現について学習し、子どもにとって心地よい発声、正しい日本語の発音、生き生きとした表現など、子どもの感性の芽生えを支えることのできる歌唱の力を身に着ける。						
到達目標	楽典の基礎について理解し、演奏に反映できる。 子どもの歌を表情豊かにのびのびと歌唱できる。						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 保育者と音楽 子どもの音楽表現を引き出すために必要な学習とは	事前学習	自身の音楽経験について確認しておく	事後学習	配布課題		
	② 楽典(1)譜表と音名 歌唱の基礎(1)呼吸と姿勢・生活の歌	事前学習	教科書の該当部分を読み込む	事後学習	設問部分の回答・歌の復習		
	③ 楽典(2)音符と休符 歌唱の基礎(2)季節の歌「春1」	事前学習	教科書の該当部分を読み込む	事後学習	設問部分の回答・歌の復習		
	④ 楽典(3)リズムと拍子 歌唱の基礎(3)季節の歌「春2」	事前学習	教科書の該当部分を読み込む	事後学習	設問部分の回答・歌の復習		
	⑤ 楽典(4)記号、用語 歌唱の基礎(4)季節の歌「夏1」	事前学習	教科書の該当部分を読み込む	事後学習	設問部分の回答・歌の復習		
	⑥ 楽典(5)音程1 歌唱の基礎(5)季節の歌「夏2」	事前学習	教科書の該当部分を読み込む	事後学習	設問部分の回答・歌の復習		
	⑦ 楽典(6)音程2 歌唱の基礎(6)季節の歌「秋1」	事前学習	教科書の該当部分を読み込む	事後学習	設問部分の回答・歌の復習		
	⑧ 楽典(7)復習 写譜 歌唱の基礎(7)季節の歌「秋2」	事前学習	教科書の該当部分を読み込む	事後学習	提出課題		
	⑨ 楽典(8)音階1 歌唱の基礎(8)季節の歌「冬1」	事前学習	教科書の該当部分を読み込む	事後学習	設問部分の回答・歌の復習		
	⑩ 楽典(9)音階2 歌唱の基礎(9)季節の歌「冬2」	事前学習	教科書の該当部分を読み込む	事後学習	設問部分の回答・歌の復習		
	⑪ 楽典(10)調1 歌唱の基礎(10)「行事の歌1」	事前学習	教科書の該当部分を読み込む	事後学習	設問部分の回答・歌の復習		
	⑫ 楽典(11)調2 歌唱の基礎(11)「行事の歌2」	事前学習	教科書の該当部分を読み込む	事後学習	設問部分の回答・歌の復習		
	⑬ 楽典(12)和音とコードネーム1 歌唱の基礎(12)「そのほかの歌」	事前学習	教科書の該当部分を読み込む	事後学習	設問部分の回答・歌唱課題曲の復習		
	⑭ 楽典(13)和音とコードネーム2 歌唱の基礎(13)「授業内歌唱試験」	事前学習	教科書の該当部分を読み込む	事後学習	設問部分の回答・試験準備		
	⑮ 楽典「試験」 授業のまとめ	事前学習	試験準備	事後学習	授業全体の振り返り・学習の定着		
学習上の留意点	保育者にとって必要な音楽の知識を確実に習得するために、毎回の復習を欠かさないこと。 楽典の知識を演奏に生かすことができているかを常に意識すること。 子どもの歌の歌唱については、自身の歌唱が子どもにとってどのように聞こえているかを常に意識し、レポートを増やすこと。五線ノートは毎回持参すること。						
成績評価の方法	授業に対する意欲、受講態度20%			教科書	音楽の基礎と表現～楽典とソルフェージュ～/楠井淳子/ふくろう出版 幼児のうたとあそび/ふくろう出版		
	授業内試験30%				参考資料	幼稚園教育要領・幼稚園教育要領解説(最新版) 保育所保育指針・保育所保育指針解説(最新版) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(最新版) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(最新版)	
筆記試験50%							
以上の総合的評価とする ただし、授業内試験、筆記試験の双方が基準点に達していることを単位取得の最低条件とする。							

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位	
科目名	ピアノ実技 I			担当教員	ピアノ: 桐生他 グループ: 田中(午前)、桐生(総園)		ピアノ講師として 実務経験有		
全体目標	こどもの感性や創造性を豊かにする音楽表現の一つである、ピアノ演奏の基礎技術力と知識を身につける。								
一般目標	ピアノの基本的な奏法を習得するとともに、こどもが使用する楽器の奏法を学び、音楽理論の復習によって読譜力を向上させる。								
到達目標	個人レッスンでは習熟度別にピアノ演奏の基礎技術を高める。 グループ授業では簡易楽器の奏法を学び、楽譜を読み解くための知識を深める。								
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習				
	①	全体ガイダンス、楽器の取り扱い方、音楽学習歴調査 練習開始曲の決定、個人レッスン開始			事前学習	シラバスの確認			
					事後学習	説明内容の把握			
	②	個人レッスン(Step I A-1、Step II B-1など) グループ授業(音程のない打楽器について)			事前学習	曲の譜読み・練習			
					事後学習	指摘箇所の確認			
	③	個人レッスン(Step I A-2、Step II B-2など) グループ授業(合奏楽器1)			事前学習	曲の譜読み・練習			
					事後学習	指摘箇所の確認			
	④	個人レッスン(Step I A-3、Step II B-3など) グループ授業(合奏楽器2)			事前学習	曲の譜読み・練習			
					事後学習	指摘箇所の確認			
	⑤	個人レッスン(Step I A-4、Step II B-4など) グループ授業(合奏楽器3)			事前学習	曲の譜読み・練習			
					事後学習	指摘箇所の確認			
	⑥	個人レッスン(Step I A-5、Step II B-5など) グループ授業(合奏楽器4)			事前学習	曲の譜読み・練習			
					事後学習	指摘箇所の確認			
	⑦	個人レッスン(Step I A-6、Step II B-6など) グループ授業(カスタネットアンサンブル)			事前学習	曲の譜読み・練習			
					事後学習	指摘箇所の確認			
⑧	個人レッスン(Step I A-7、Step II B-7など) グループ授業(ミュージックベル1)			事前学習	曲の譜読み・練習				
				事後学習	指摘箇所の確認				
⑨	個人レッスン(Step I A-8、Step II B-8など) グループ授業(ミュージックベル2)			事前学習	曲の譜読み・練習				
				事後学習	指摘箇所の確認				
⑩	個人レッスン(Step I A-9、Step II B-9など) グループ授業(リズムと拍子復習)			事前学習	曲の譜読み・練習				
				事後学習	指摘箇所の確認				
⑪	個人レッスン(Step I A-10、Step II B-10など) グループ授業(音程復習)			事前学習	曲の譜読み・練習				
				事後学習	指摘箇所の確認				
⑫	個人レッスン(Step I A-11、Step II B-11など) グループ授業(音階と調復習)			事前学習	曲の譜読み・練習				
				事後学習	指摘箇所の確認				
⑬	個人レッスン(Step I A-12、Step II B-12など) グループ授業(コードネーム復習)			事前学習	曲の譜読み・練習				
				事後学習	試験曲の把握				
⑭	試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意 グループ授業(楽典模擬試験)			事前学習	記録票の点検				
				事後学習	指摘箇所の練習				
⑮	ピアノ実技試験・講評・まとめ			事前学習	試験曲の練習				
				事後学習	講評内容の把握				
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、個人レッスンとグループ授業を受講する。礼節をわきまえ、速やかに移動すること。 ・教員の助言したポイントに気をつけ、毎日の練習を欠かさないこと。特に自宅に鍵盤楽器を所有しない学生は、学校のピアノを朝、昼、帰りなどの空き時間に有効利用すること。 ・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。 								
成績評価の方法	ピアノ実技試験	70%						教科書	「ピアノへのアプローチ4Steps」音楽之友社 「音楽の基礎と表現～楽典とソルフェージュ～改訂版」 ふくろう出版 五線ノート、適宜プリント教材を使用
	平常点 (グループ授業評価、合格曲の難易度と曲数、受講態度、 授業参加状況)	30%							
	以上を総合的に評価する			※記録票の提出必須				参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	ピアノ実技Ⅱ			担当教員	ピアノ: 桐生他 グループ: 吉田(午前)、守屋(総園)		ピアノ講師として 実務経験有	
全体目標	ピアノ実技Ⅰと音楽基礎で学習した技術と知識を基に、ピアノ演奏技術を向上させる。							
一般目標	保育現場で使用される生活のうたや行進曲の演奏を通して、応用的な奏法を習得し、歌唱における音楽表現を学ぶ。							
到達目標	個人レッスンの前半は教育実習に向けた生活のうた、後半は行進曲を習得する。 グループ授業では子どもの歌のワークブックから曲の理解を深め、視唱やリズム打ちを通して読譜の力をつける。							
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	初回ガイダンス、生活のうたの位置づけ、個人レッスン開始 グループ授業(子どもの歌ワーク1)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	説明内容の把握		
	②	個人レッスン(おべんとうなど) グループ授業(子どもの歌ワーク2)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	③	個人レッスン(おはようなど) グループ授業(子どもの歌ワーク3)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	④	個人レッスン(おかえりのうたなど) グループ授業(子どもの歌ワーク4)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑤	個人レッスン(おはようのうたなど) グループ授業(子どもの歌ワーク5)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑥	個人レッスン(さよならのうたなど) グループ授業(子どもの歌ワーク6)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	試験曲の把握		
	⑦	中間試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意 グループ授業(生活の歌)			事前学習	試験曲の練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
⑧	ピアノ実技中間試験・講評 試験後、個人レッスン(グランド・マーチなど)			事前学習	試験曲の練習			
				事後学習	講評内容の把握			
⑨	個人レッスン(アレキサンダー・マーチなど) グループ授業(季節の歌)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑩	個人レッスン(ジョン・ブラウズ・ボディなど) グループ授業(実習特別ピアノレッスン1)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑪	個人レッスン(ルイヴィル・マーチなど) グループ授業(実習特別ピアノレッスン2)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑫	個人レッスン(結婚行進曲(ワグナー)など) グループ授業(実習特別ピアノレッスン3)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑬	個人レッスン(結婚行進曲(メンデルスゾーン)など) グループ授業(行事の歌)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	試験曲の把握			
⑭	試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意 グループ授業(ピアノ試験曲練習)			事前学習	記録票の点検			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑮	ピアノ実技期末試験・講評・まとめ			事前学習	試験曲の練習			
				事後学習	講評内容の把握			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、個人レッスンとグループ授業を受講する。礼節をわきまえ、速やかに移動すること。 ・教員の助言したポイントに気をつけ、毎日の練習を欠かさないこと。特に自宅に鍵盤楽器を所有しない学生は、学校のピアノを朝、昼、帰りなどの空き時間に有効利用すること。 ・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。 							
成績評価の方法	ピアノ実技試験	70%		教科書	「幼児のうたとあそび」ふくろう出版			
	平常点	30%			「ピアノへのアプローチ4Steps」音楽之友社			
	(グループ授業評価、合格曲の難易度と曲数、受講態度、授業参加状況)				「音楽の基礎と表現～楽典とソルフェージュ～改訂版」 ふくろう出版			
	以上を総合的に評価する				適宜プリント教材を使用			
	※記録票の提出必須			参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説			

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	基礎造形			担当教員	桑原 恒和	芸術系教員として実務経験有	
全体目標	各学生が図画工作に於ける基礎的な造形・絵画表現についての知識を、実際の制作と各指導を基に習得する事を目標とする。						
一般目標	各学生が制作に専念し、各課題を楽しみながら自発的に工夫を加えつつ発展させて行く事を目標とする。						
到達目標	各学生が身近な素材を基に将来、指導する事を念頭に効果的な教育活動を行える様、体験を通して知識を習得する事を目標とする。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 自分の体から(1)手を描く	事前学習	事後学習	各部分の向きや厚みを意識する	指摘箇所の確認		
	② 自分の体から(2)耳を描く	事前学習	事後学習	不思議な形を描く	指摘箇所の確認		
	③ 自分の体から(3)頭部を描く	事前学習	事後学習	左右非対称を意識する	指摘箇所の確認		
	④ 音楽による想像画(1)イメージを描く	事前学習	事後学習	頭に浮かんだものを描く	指摘箇所の確認		
	⑤ 音楽による想像画(2)仕上げる	事前学習	事後学習	説得力を持つ様、細部を仕上げる	指摘箇所の確認		
	⑥ 個別指導、採点、講評、お面作りの下絵制作	事前学習	事後学習	どんなお面を作るのかを考える	指摘箇所の確認		
	⑦ 紙粘土によるお面制作(1)面芯の準備と土台作り	事前学習	事後学習	全体の大きさやボリュームを考える	指摘箇所の確認		
	⑧ 紙粘土によるお面制作(2)バランスを考え、盛る	事前学習	事後学習	立体感を意識して制作する	指摘箇所の確認		
	⑨ 紙粘土によるお面制作(3)各部分の制作	事前学習	事後学習	細部を工夫する	指摘箇所の確認		
	⑩ 紙粘土によるお面制作(4)修正	事前学習	事後学習	丁寧にひび割れた所を修正する	指摘箇所の確認		
	⑪ 紙粘土によるお面制作(5)着色	事前学習	事後学習	色の組み合わせに注意する	指摘箇所の確認		
	⑫ 紙粘土によるお面制作(6)仕上げ	事前学習	事後学習	違う素材との組み合わせを考える	指摘箇所の確認		
	⑬ 画面に楽器全体を閉じ込める(1)ギター	事前学習	事後学習	膨らませる、曲げるのデフォルメ	指摘箇所の確認		
	⑭ 画面に楽器全体を閉じ込める(2)サクソフォン	事前学習	事後学習	引き延ばす、丸めるのデフォルメ	指摘箇所の確認		
⑮ 試験、まとめ	事前学習	事後学習	登校時に形の面白いものを見つけ、モデルとし、デッサンする	指摘箇所の確認			
学習上の留意点	美術が出来ない、苦手という思い込みやコンプレックスを乗り越え、自分は他人とどう違い、どんな個性を持っているのかを認識し、各制作を通して自信を付けて行く事を目指します。						
成績評価の方法	通常の各課題	70%	教科書	無し、必要に応じて資料を配布します。			
	定期試験	20%					
	授業参加状況や受講態度(提出期限の厳守、画材、材料を忘れない事も含む)	10%	参考資料	「絵画制作・造形」東京書籍 「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 及び各解説書			

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	あそびと造形			担当教員	松葉 百香	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	造形することの楽しさや喜びを味わう 具体的な場面から子どもたちの楽しめる造形あそびや工作を考える						
一般目標	幼児の造形についての理解を深め、現場で使うことができる様々な技法や、廃材を使用した工作を考えることができる						
到達目標	様々な素材を使って造形あそびを楽しみ、子どもたちに表現することの楽しさを伝えることができるようになる						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 紙であそぼう			事前学習	シラバスの確認をしておく	
					事後学習	道具を用意する	
	②	切り紙1 花・つながる模様			事前学習	初回到説明した道具を持参する	
					事後学習	さまざまな切り紙を作成する	
	③	切り紙2 花・つながる模様からイメージを広げる			事前学習	事前に伝えた内容のもので計画を立てる	
					事後学習	切り紙のおもしろさを感じる	
	④	貼り絵 1 切り紙を使った貼り絵			事前学習	事前に伝えた内容のもので計画を立てる	
					事後学習	貼り絵を仕上げる	
	⑤	貼り絵 2 切り紙を使った貼り絵 食べ物			事前学習	事前に伝えたテーマに対して調べておく	
					事後学習	イメージをふくらませながら作成する	
	⑥	廃材を使った工作「食べ物」1 テーマを決めて作っていく			事前学習	作成するための素材集め・計画・作成	
					事後学習	自分の思いを表現することを楽しむ	
	⑦	廃材を使った工作「食べ物」2 材料を工夫する			事前学習	作成するための素材集め・計画・作成	
					事後学習	イメージをふくらませながら作成する	
⑧	廃材を使った工作「食べ物」3 仕上げ			事前学習	前回の作成状況の振り返り、仕上げ		
				事後学習	「食べ物」を仕上げる		
⑨	廃材を使った工作「おみせやさんごっこ」1 テーマを決めて作っていく			事前学習	事前に伝えたテーマについて計画を立てる		
				事後学習	作成するための素材集め・作成		
⑩	廃材を使った工作「おみせやさんごっこ」2 お店屋さんの品物や使うものを作る			事前学習	子どもたちが喜びそうなものを考える		
				事後学習	「お店屋さん」で使えるえるおもちゃを作る		
⑪	廃材を使った工作「おみせやさんごっこ」3 お店屋さんで使えるおもちゃ作り			事前学習	子どもたちが楽しめるもの考える		
				事後学習	「お店屋さん」で使えるおもちゃを仕上げる		
⑫	壁面作り 1「動物や人がテーマ」 顔の表情			事前学習	事前に伝えたテーマに対して調べておく		
				事後学習	イメージをふくらませながら作成する		
⑬	壁面作り 2「立体」 季節			事前学習	前回の作成状況に応じて進める		
				事後学習	飾りを仕上げる		
⑭	おみせやさんごっこ 作品発表と仕上げ			事前学習	おみせやさんごっこができるように準備しておく		
				事後学習	友達作品への思いを知り、学んだことをまとめる		
⑮	まとめ おみせやさんごっこ 作品鑑賞 作成ノートまとめる			事前学習	これまでの内容の確認・作成ノートをまとめる		
				事後学習	講評のフィードバック		
学習上の留意点	丁寧な作成し授業に臨む姿勢を大切にすること 個人だけではなくグループで作成や作品鑑賞会等をおこなうため、コミュニケーションを大切にすること 日常から、造形あそびや作成のヒントになる素材やテーマを見つける習慣をつけるようにすること						
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度(忘れ物等)	40%	教科書	必要に応じて資料を配布			
	作品、提出物	30%		参考資料	「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示 文部科学省)「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省)「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 (平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		
	作成ノート	30%					
	準備物を忘れることや課題の未提出や3回以上の欠席がある場合は厳しい評価となります。						

シラバス(授業計画)

部	昼間部 午前コース	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位	
科目名	あそびと造形			担当教員	松葉 百香		幼稚園教諭・保育士として実務経験有		
全体目標	造形することの楽しさや喜びを味わう 具体的な場面から子どもたちの楽しめる造形あそびや工作を考える								
一般目標	幼児の造形についての理解を深め、現場で使うことができる様々な技法や、廃材を使用した工作を考えることができる								
到達目標	様々な素材を使って造形あそびを楽しみ、子どもたちに表現することの楽しさを伝えることができるようになる								
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習				
	①	オリエンテーション 紙であそぼう			事前学習	シラバスの確認しておく			
					事後学習	道具を用意する			
	②	切り紙1 花・つながる模様			事前学習	初めに説明した道具を持参する			
					事後学習	さまざまな切り紙を作成する			
	③	切り紙2 花・つながる模様からイメージを広げる			事前学習	事前に伝えた内容のもので計画を立てる			
					事後学習	作品を仕上げる			
	④	貼り絵 1 切り紙を使った貼り絵			事前学習	事前に伝えた内容のもので計画を立てる			
					事後学習	貼り絵を仕上げる			
	⑤	貼り絵 2 切り紙を使った貼り絵 食べ物			事前学習	事前に伝えたテーマに対して調べておく			
					事後学習	イメージをふくらませながら作成する			
	⑥	実習で使えるシアター 1 計画・作成			事前学習	前回の作成状況の振り返り、仕上げ			
					事後学習	シアターを練習する			
	⑦	実習で使えるシアター 2 作成・仕上げ			事前学習	シアターを練習する			
					事後学習	発表した内容を振り返る			
⑧	廃材を使った工作「食べ物プレート」1 テーマを決めて作っていく			事前学習	前回の作成状況の振り返り、仕上げ				
				事後学習	シアターを練習する				
⑨	廃材を使った工作「食べ物プレート」2 材料を工夫する			事前学習	作成するための素材集め・計画・作成				
				事後学習	自分の思いを表現することを楽しむ				
⑩	廃材を使った工作「食べ物プレート」3 仕上げ			事前学習	作成するための素材集め・計画・作成				
				事後学習	イメージをふくらませながら作成する				
⑪	遊びの中で使うもの 1 計画・作成			事前学習	どのような遊びで使うものを作るのか考える				
				事後学習	子どもたちが使うものを作成する				
⑫	遊びの中で使うもの 2 作成・仕上げ			事前学習	子どもたちが使いやすいように考える				
				事後学習	作っているものを仕上げる				
⑬	廃材を使った工作「おみせやさんごっこ」1 おもちゃ作り			事前学習	作成するための素材集め				
				事後学習	子どもたちが楽しめることを考える				
⑭	廃材を使った工作「おみせやさんごっこ」2 作品発表・仕上げ			事前学習	子どもたちが楽しめることを考えながら作成する				
				事後学習	「ままごとで使えるおもちゃ」を仕上げる				
⑮	まとめ 作成ノートをまとめる			事前学習	これまでの内容の復習				
				事後学習	講評のフィードバック				
学習上の留意点	丁寧に行う授業に臨む姿勢を大切にすること 個人だけではなくグループで作成や作品鑑賞会等をおこなうため、コミュニケーションを大切にすること 日常から、造形あそびや作成のヒントになる素材やテーマを見つける習慣をつけるようにすること								
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度(忘れ物等)	40%	教科書	必要に応じて資料を配布					
	作品、提出物	30%		参考資料	「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示 文部科学省)「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省)「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 (平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」				
	作成ノート	30%							
	準備物を忘れることや課題の未提出や3回以上の欠席がある場合は厳しい評価となります。								

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	あそびと運動 I			担当教員	田島 宗忠		幼稚園教諭として 実務経験有	
全体目標	幼児教育における「あそびと運動」についてその意義を理解する。							
一般目標	保育における「集団遊び」について、幼児の発達を踏まえた指導の基礎を学ぶ。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団遊びの意義を理解する。 ・ 集団遊びの立案及び指導法を理解する。 ・ 保育者としての心構えを身につける。 							
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	① オリエンテーション				事前学習	シラバス下読み		
					事後学習	授業内容の理解		
	② 集団遊び①(コミュニケーション)				事前学習	事前配布資料下読み		
					事後学習	指導内容の確認		
	③ 集団遊び②(園での遊びを中心に)				事前学習	事前配布資料下読み		
					事後学習	指導内容の確認		
	④ ダンス①(コミュニケーション)				事前学習	事前配布資料下読み		
					事後学習	指導内容の確認		
	⑤ ダンス②(フォークダンス)				事前学習	事前配布資料下読み		
					事後学習	指導内容の確認		
	⑥ 素材遊び①(ボール)				事前学習	事前配布資料下読み		
					事後学習	指導内容の確認		
	⑦ 素材遊び②(身近な素材を使って)				事前学習	事前配布資料下読み		
					事後学習	指導内容の確認		
⑧ 鬼遊び				事前学習	事前配布資料下読み			
				事後学習	指導内容の確認			
⑨ 実践研究①(計画作成・グループワーク)				事前学習	事前配布資料下読み			
				事後学習	計画内容の検討			
⑩ 実践研究②(3歳児)				事前学習	指導計画確認			
				事後学習	実践内容の検討			
⑪ 実践研究③(4歳児)				事前学習	指導計画確認			
				事後学習	実践内容の検討			
⑫ 実践研究④(5歳児)				事前学習	指導計画確認			
				事後学習	実践内容の検討			
⑬ 実践研究⑤(振り返り・自己評価)				事前学習	指導計画確認			
				事後学習	実践内容の検討			
⑭ まとめ				事前学習	授業内容の確認			
				事後学習	授業内容の確認			
⑮ 試験・講評				事前学習	試験内容の確認			
				事後学習	講評内容の確認			
学習上の留意点	<p>以下の点に留意して、講義に望むこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーション活動への積極的な参加 ・ 立場(保育者・幼児)による視点の理解 							
成績評価の方法	平常点(授業参加状況、受講姿勢)			教科書	プリント配布			
	実践研究、定期試験				参考資料	「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説書		
	50%							
	50%							

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	あそびと運動Ⅱ			担当教員	浦田 一	幼稚園教諭・保育教諭として実務経験有	
全体目標	幼児期における発達の違い、遊びの重要性を理解する。						
一般目標	集団遊びを通じ、遊びの楽しさと運営方法を具体的に学ぶ。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の能力や体力の違いを理解する。 ・子どもたちの遊びの中における保育者の役割を学ぶ。 ・保育現場で実際に使える力を身につける。 						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 【講義】 「あそび」の基本的考えと本科目の目的を把握する			事前学習 事後学習	シラバスの考察 事例の検討	
	②	遊びを通じたコミュニケーション 【演習】 コミュニケーションの楽しさ、大切さを知る			事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ	
	③	音楽を使った遊びのコミュニケーション 【演習】 コミュニケーションの楽しさ、大切さを知る			事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ	
	④	じゃんけん遊び 【演習】 遊びの様々な発展を考える			事前学習 事後学習	プリント学習 講義内容の確認	
	⑤	器具を使った遊び 【演習】 遊びの様々な工夫を考える			事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ	
	⑥	子どもの遊びを考える(遊びとは) 【講義】 授業で学習した内容を知識として知得する			事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ	
	⑦	伝承遊び 【演習】 伝承遊びを継承する大切さを考える			事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ	
	⑧	運動と遊びの関係 【演習】 幼児期の運動と遊びを考える			事前学習 事後学習	プリント学習 講義内容の確認	
	⑨	集団ゲーム(仲間との交流) 【演習】 仲間との交流を意識した運動遊びを考える			事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ	
	⑩	子どもの遊びを考える(集団ゲームの価値) 【講義】 授業で学習した内容を知識として知得する			事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ	
	⑪	集団ゲーム(ルール工夫と発展) 【演習】 ルール工夫と発展を意識した運動遊びを考える			事前学習 事後学習	プリント学習 講義内容の確認	
	⑫	集団ゲーム(数量・時間・空間) 【演習】 数量・時間・空間を意識した運動遊びを考える			事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ	
	⑬	集団ゲーム(脱中心化) 【演習】 脱中心化を意識した運動遊びを考える			事前学習 事後学習	プリント学習 実践内容のまとめ	
	⑭	まとめ・遊び集作成 【講義】 授業で学習した内容を知識として知得する			事前学習 事後学習	ゲームを一つ創作してくる 講義内容の確認	
⑮	試験・講評			事前学習 事後学習	試験内容の確認 講評内容の確認		
学習上の留意点	<p>以下の点に留意して、授業に臨んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション活動に積極的に参加してください。 ・現場に出たときの、自分の姿を想像しながら参加してください。 <p>* 授業は実技を中心に行う為、運動着・運動靴を着用ください。</p>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 50% ・授業参加状況・態度 50% 			教科書	配布プリント		
				参考資料	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」各解説書 「幼児期における 運動発達と運動遊びの指導」 「新訂 のびのび遊べる子に」		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位	
科目名	こどもと音楽 I			担当教員	ピアノ:桐生他 グループ:守屋		ピアノ講師として 実務経験有		
全体目標	こどものうたを中心とした、弾き歌い演奏の知識・技術と表現力を身につける。								
一般目標	1年生で履修したピアノ実技 I・II の演奏技術から更に高い技能を習得する。 幼児の感性、表現する力、創造性を育む伴奏を理解し、より音楽的な演奏力と表現力を向上させる。								
到達目標	個人レッスンでは各曲の適切な伴奏法を考察しながら、弾き歌いのレパートリーを1曲でも多く習得する。 グループ授業では子どもの歌のワークブックから曲の理解を深め、歌唱法について学ぶ。								
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習				
	①	全体ガイダンス、記録票と曲目リストの配布、個人レッスン開始 グループ授業(子どもの歌ワーク1)			事前学習	シラバスの確認			
					事後学習	説明内容の把握			
	②	個人レッスン(生活のうた おはようなど) グループ授業(子どもの歌ワーク2)			事前学習	曲の譜読み・練習			
					事後学習	指摘箇所の確認			
	③	個人レッスン(生活のうた おべんとうなど) グループ授業(実習特別ピアノレッスン1)			事前学習	曲の譜読み・練習			
					事後学習	指摘箇所の確認			
	④	個人レッスン(生活のうた おかえりのうたなど) グループ授業(実習特別ピアノレッスン2)			事前学習	曲の譜読み・練習			
					事後学習	指摘箇所の確認			
	⑤	個人レッスン(春のうた おはながわらったなど) グループ授業(実習特別ピアノレッスン3)			事前学習	曲の譜読み・練習			
					事後学習	指摘箇所の確認			
	⑥	個人レッスン(春のうた ちょうちょうなど) グループ授業(子どもの歌ワーク3)			事前学習	曲の譜読み・練習			
					事後学習	指摘箇所の確認			
	⑦	個人レッスン(春のうた ぶんぶんぶんなど) グループ授業(子どもの歌ワーク4)			事前学習	曲の譜読み・練習			
					事後学習	指摘箇所の確認			
⑧	個人レッスン(春のうた めだかのがっこうなど) グループ授業(子どもの歌ワーク5)			事前学習	曲の譜読み・練習				
				事後学習	指摘箇所の確認				
⑨	個人レッスン(夏のうた はをみがきましょうなど) グループ授業(子どもの歌ワーク6)			事前学習	曲の譜読み・練習				
				事後学習	指摘箇所の確認				
⑩	個人レッスン(夏のうた あめふりくまのこなど) グループ授業(まとめ)			事前学習	曲の譜読み・練習				
				事後学習	指摘箇所の確認				
⑪	個人レッスン(夏のうた しゃぼん玉など) グループ授業(合唱1)			事前学習	曲の譜読み・練習				
				事後学習	指摘箇所の確認				
⑫	個人レッスン(夏のうた ありさんのおはなしなど) グループ授業(合唱2)			事前学習	曲の譜読み・練習				
				事後学習	指摘箇所の確認				
⑬	個人レッスン(夏のうた うみなど) グループ授業(合唱3)			事前学習	曲の譜読み・練習				
				事後学習	試験曲の把握				
⑭	試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意 グループ授業(合唱4)			事前学習	記録票の点検				
				事後学習	試験曲の練習				
⑮	ピアノ実技試験・講評・まとめ			事前学習	試験曲の練習				
				事後学習	講評内容の把握				
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、個人レッスンとグループ授業を受講する。礼節をわきまえ、速やかに移動すること。 ・教員の助言したポイントに気をつけ、毎日の練習を欠かさないこと。特に自宅に鍵盤楽器を所有しない学生は、学校のピアノを朝、昼、帰りなどの空き時間に有効利用すること。 ・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。 								
成績評価の方法	ピアノ実技試験	70%	教 科 書	「幼児のうたとあそび」ふくろう出版				単 位 数	1 単 位
	グループ授業評価	20%		「音楽の基礎と表現～楽典とソルフェージュ～改訂版」 ふくろう出版					
	平常点 (授業参加状況、受講態度、合格曲の難易度と曲数)	10%		適宜プリント教材を使用					
	以上を総合的に評価する ※記録票の提出必須			参 考 資 料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説				

シラバス(授業計画)

部	昼間部 午前コース	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位	
科目名	こどもと音楽Ⅰ			担当教員	ピアノ: 桐生他 グループ: 吉田	ピアノ教室講師として 実務経験有			
全体目標	こどものうたを中心とした、弾き歌い演奏の知識・技術と表現力を身につける。								
一般目標	1年生で履修したピアノ実技Ⅰ・Ⅱの演奏技術から更に高い技能を習得する。 幼児の感性、表現する力、創造性を育む伴奏を理解し、より音楽的な演奏力と表現力を向上させる。								
到達目標	個人レッスンでは各曲の適切な伴奏法を考察しながら、弾き歌いのレパートリーを1曲でも多く習得する。 グループ授業では子どもの歌のワークブックから曲の理解を深め、歌唱法について学び、視唱やリズム打ちを通して読譜の力をつける。								
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習				
	①	全体ガイダンス、記録票と曲目リストの配布、個人レッスン開始 グループ授業(子どもの歌ワーク1)	事前学習	シラバスの確認	事後学習	説明内容の把握			
	②	個人レッスン(生活のうた おはようなど) グループ授業(子どもの歌ワーク2)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認			
	③	個人レッスン(生活のうた おべんとうなど) グループ授業(子どもの歌ワーク3)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認			
	④	個人レッスン(生活のうた おかえりのうたなど) グループ授業(子どもの歌ワーク4)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認			
	⑤	個人レッスン(春のうた おはながわらったなど) グループ授業(子どもの歌ワーク5)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認			
	⑥	個人レッスン(春のうた ちょうちょうなど) グループ授業(子どもの歌ワーク6)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認			
	⑦	個人レッスン(春のうた ぶんぶんぶんなど) グループ授業(まとめ)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認			
	⑧	個人レッスン(春のうた めだかのがっこうなど) グループ授業(生活の歌)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認			
	⑨	個人レッスン(夏のうた はをみがきましようなど) グループ授業(季節の歌)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認			
	⑩	個人レッスン(夏のうた あめふりくまのこなど) グループ授業(行事の歌)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認			
	⑪	個人レッスン(夏のうた しゃぼん玉など) グループ授業(合唱1)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認			
	⑫	個人レッスン(夏のうた ありさんのおはなしなど) グループ授業(合唱2)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	指摘箇所の確認			
	⑬	個人レッスン(夏のうた うみなど) グループ授業(合唱3)	事前学習	曲の譜読み・練習	事後学習	試験曲の把握			
	⑭	試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意 グループ授業(合唱4)	事前学習	記録票の点検	事後学習	試験曲の練習			
	⑮	ピアノ実技試験・講評・まとめ	事前学習	試験曲の練習	事後学習	講評内容の把握			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、個人レッスンとグループ授業を受講する。礼節をわきまえ、速やかに移動すること。 ・教員の助言したポイントに気をつけ、毎日の練習を欠かさないこと。特に自宅に鍵盤楽器を所有しない学生は、学校のピアノを朝、昼、帰りなどの空き時間に有効利用すること。 ・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。 								
成績 評価 の方法	ピアノ実技試験	70%	教科書	「幼児のうたとあそび」ふくろう出版				単位数	1単位
	グループ授業評価	20%		「音楽の基礎と表現～楽典とソルフェージュ～改訂版」 ふくろう出版					
	平常点 (授業参加状況、受講態度、合格曲の難易度と曲数)	10%		適宜プリント教材を使用					
	以上を総合的に評価する	※記録票の提出必須		参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説				

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	こどもと音楽Ⅱ			担当教員	ピアノ:桐生他 グループ:奥野	ピアノ講師として 実務経験有		
全体目標	こどものうたを中心とした、弾き歌い演奏の知識・技術と表現力を身につける。							
一般目標	より保育現場に即した伴奏方法やレパートリーを習得する。(こどもと音楽Ⅰの合格曲を除く)							
到達目標	個人レッスンでは各曲の適切な伴奏法を考察しながら、弾き歌いのレパートリーを1曲でも多く習得する。グループ授業ではコードネームを理解し、簡易伴奏法を身につける。							
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	初回ガイダンス、個人レッスン開始 グループ授業(コードネームとは)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	説明内容の把握		
	②	個人レッスン(秋のうた きのこなど) グループ授業(コードネームの種類)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	③	個人レッスン(秋のうた どんぐりころころなど) グループ授業(メジャーコード)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	④	個人レッスン(秋のうた こぎつねなど) グループ授業(マイナーコード)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑤	個人レッスン(冬のうた 赤鼻のトナカイなど) グループ授業(オーギュメントコード)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑥	個人レッスン(冬のうた 雪など) グループ授業(デミニッシュコード)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑦	個人レッスン(冬のうた ゆげのあさなど) グループ授業(セブンスコード)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
⑧	個人レッスン(行事のうた こいのぼりなど) グループ授業(コードの転回)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑨	個人レッスン(行事のうた お正月など) グループ授業(ハ長調のコード)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑩	個人レッスン(行事のうた 思い出のアルバムなど) グループ授業(ヘ長調のコード)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑪	個人レッスン(行事のうた Happy Birthday To Youなど) グループ授業(ト長調のコード)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑫	個人レッスン(みんなのうた にじなど) グループ授業(カデンツと伴奏形)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑬	個人レッスン(みんなのうた さんぽなど) グループ授業(まとめ)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	試験曲の把握			
⑭	試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意 グループ授業(弾き歌い試験曲練習)			事前学習	記録票の点検			
				事後学習	試験曲の練習			
⑮	ピアノ実技試験・講評・まとめ			事前学習	試験曲の練習			
				事後学習	講評内容の把握			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、個人レッスンとグループ授業を受講する。礼節をわきまえ、速やかに移動すること。 ・教員の助言したポイントに気をつけ、毎日の練習を欠かさないこと。特に自宅に鍵盤楽器を所有しない学生は、学校のピアノを朝、昼、帰りなどの空き時間に有効利用すること。 ・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。 							
成績 評価 の 方法	ピアノ実技試験	70%			教科書	「幼児のうたとあそび」ふくろう出版		
	グループ授業評価	20%				「音楽の基礎と表現～楽典とソルフェージュ～改訂版」 ふくろう出版		
	平常点 (授業参加状況、受講態度、合格曲の難易度と曲数)	10%			適宜プリント教材を使用			
	以上を総合的に評価する		※記録票の提出必須		参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説		

シラバス(授業計画)

部	昼間部 午前コース	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	こどもと音楽Ⅱ			担当教員	ピアノ:桐生他 グループ:佐久間	ピアノ教室講師として 実務経験有		
全体目標	こどものうたを中心とした、弾き歌い演奏の知識・技術と表現力を身につける。							
一般目標	より保育現場に即した伴奏方法やレパートリーを習得する。(こどもと音楽Ⅰの合格曲を除く)							
到達目標	個人レッスンでは各曲の適切な伴奏法を考察しながら、弾き歌いのレパートリーを1曲でも多く習得する。 グループ授業ではコードネームを理解し、簡易伴奏法を身につける。							
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	初回ガイダンス、個人レッスン開始 グループ授業(実習特別ピアノレッスン1)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	説明内容の把握		
	②	個人レッスン(秋のうた きのこなど) グループ授業(実習特別ピアノレッスン2)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	③	個人レッスン(秋のうた どんぐりころころなど) グループ授業(実習特別ピアノレッスン3)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	④	個人レッスン(秋のうた こぎつねなど) グループ授業(コードネームの種類)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑤	個人レッスン(冬のうた 赤鼻のトナカイなど) グループ授業(メジャー、マイナーコード)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑥	個人レッスン(冬のうた 雪など) グループ授業(オーギュメント、ディミニッシュコード)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
	⑦	個人レッスン(冬のうた ゆげのあさなど) グループ授業(セブンスコード)			事前学習	曲の譜読み・練習		
					事後学習	指摘箇所の確認		
⑧	個人レッスン(行事のうた こいのぼりなど) グループ授業(コードの転回)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑨	個人レッスン(行事のうた お正月など) グループ授業(ハ長調のコード)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑩	個人レッスン(行事のうた 思い出のアルバムなど) グループ授業(ヘ長調のコード)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑪	個人レッスン(行事のうた Happy Birthday To Youなど) グループ授業(ト長調のコード)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑫	個人レッスン(みんなのうた にじなど) グループ授業(カデンツと伴奏形)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑬	個人レッスン(みんなのうた さんぽなど) グループ授業(まとめ)			事前学習	曲の譜読み・練習			
				事後学習	試験曲の把握			
⑭	試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意 グループ授業(弾き歌い試験曲練習)			事前学習	記録票の点検			
				事後学習	試験曲の練習			
⑮	ピアノ実技試験・講評・まとめ			事前学習	試験曲の練習			
				事後学習	講評内容の把握			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、個人レッスンとグループ授業を受講する。礼節をわきまえ、速やかに移動すること。 ・教員の助言したポイントに気をつけ、毎日の練習を欠かさないこと。特に自宅に鍵盤楽器を所有しない学生は、学校のピアノを朝、昼、帰りなどの空き時間に有効利用すること。 ・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。 							
成績評価の方法	ピアノ実技試験	70%		教科書	「幼児のうたとあそび」ふくろう出版			
	グループ授業評価	20%			「音楽の基礎と表現～楽典とソルフェージュ～改訂版」 ふくろう出版			
	平常点 (授業参加状況、受講態度、合格曲の難易度と曲数)	10%			適宜プリント教材を使用			
	以上を総合的に評価する	※記録票の提出必須		参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説			

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと音楽Ⅲ			担当教員	吉田 結加		
全体目標	幼児の音楽について理解を深め、幼児教育者としての音楽的能力と感性を磨き、創造性を豊かにする。						
一般目標	他者と協調して音楽活動に取り組み、音楽の楽しさや喜びを共有する。						
到達目標	さまざまな音楽の特性を理解した上で、音楽表現の知見を深め、実用的な技術を身につける。 幼児教育実践の場を想定した音楽発表会を制作し、発表できる。						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	① 初回ガイダンス、こどもと音楽の関わり				事前学習	シラバス確認	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	② 幼児音楽教育の成り立ち				事前学習	配布プリントの確認	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	③ 身体を使った音楽活動1 歌唱によるアンサンブル				事前学習	配布プリントの確認	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	④ 身体を使った音楽活動2 ボイスパーカッション、ボディパーカッションの実践				事前学習	配布プリントの確認	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑤ 身体を使った音楽活動3 ボイスパーカッション、ボディパーカッションの創作				事前学習	配布プリントの確認	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑥ 簡易楽器を使った音楽活動1 対象年齢別のアレンジを比較、実践				事前学習	配布プリントの確認	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑦ 簡易楽器を使った音楽活動2 対象年齢に合わせた合奏の編曲				事前学習	配布プリントの確認	
					事後学習	授業内容を振り返る	
⑧ 簡易楽器を使った音楽活動3 編曲した作品の実践と発表				事前学習	配布プリントの確認		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑨ 音楽発表会の制作①				事前学習	発表に向けた準備、練習		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑩ 音楽発表会の制作②				事前学習	発表に向けた準備、練習		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑪ 音楽発表会の制作③				事前学習	発表に向けた準備、練習		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑫ 音楽発表会の制作④				事前学習	発表に向けた準備、練習		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑬ グループごとのリハーサル				事前学習	発表に向けた準備、練習		
				事後学習	授業内容を振り返る		
⑭ グループごとの発表				事前学習	発表に向けた準備、練習		
				事後学習	発表の感想、これまでの授業内容を確認する		
⑮ まとめ、振り返り				事前学習	発表の感想、これまでの授業内容をまとめる		
				事後学習	講評、振り返り		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席せず、真面目に授業に取り組むこと。 ・グループでの活動が中心となるため、共有、コミュニケーションを大切に、準備・練習を協力して行うこと。 ・さまざまな音楽に普段から触れ、興味を持って楽しむこと。 						
成績評価の方法	発表	40%		教科書	「幼児のうたとあそび」ふくろう出版 適宜プリント教材を使用		
	グループワークにおける貢献度	30%			参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説	
	平常点(授業参加状況、受講態度、提出物)	30%					
	以上を総合的に評価する						

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	表現技術演習(身体) I			担当教員	南部 紗世	幼稚園教諭として実務経験有	
全体目標	身体で表現することから、器用性の発達、表現の自由、踊ることの楽しさを感じる。						
一般目標	子どもの発達に応じた音楽表現と保育者の指導・援助方法を習得する。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を動かすことで様々な表現方法を知り、楽しむことでイメージを豊かにし、表現することに興味を持つ。 ・子どもの経験と身体表現を結びつける遊びの展開方法を身につける。 ・作品創作を通じて、子どもの発達に応じた身体表現を考えることができる。 						
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習		
	① オリエンテーション【講義】	「身体表現」の基本的考えと本教科の目的を把握する			事前学習	シラバスの考察	
					事後学習	授業内容の検討	
	② 幼児向けダンス【演習】	様々な表現技法を習得する			事前学習	プリント学習	
					事後学習	実践内容のまとめ	
	③ フォークダンス【演習】	フォークダンスの発展を考える			事前学習	プリント学習	
					事後学習	実践内容のまとめ	
	④ リズムあそび【演習】	遊びの発展を考える			事前学習	プリント学習	
					事後学習	実践内容のまとめ	
	⑤ 子どもの表現を考える(表現とは)【講義】	表現について考え、学んだ内容を知識として習得する			事前学習	プリント学習	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑥ 表現技法を知る【演習】	様々な表現技法を知る			事前学習	プリント学習	
					事後学習	実践内容のまとめ	
	⑦ 表現技法を知る(ポンポンダンス)【演習】	表現の多様性を学ぶ			事前学習	プリント学習	
					事後学習	実践内容のまとめ	
⑧ 創作について知る【演習】	作品のイメージを深めた表現活動に取り組む			事前学習	プリント学習		
				事後学習	実践内容のまとめ		
⑨ 発表作品創作①【演習】	楽曲選択・隊形を検討する			事前学習	発表内容の検討		
				事後学習	発表内容の作成		
⑩ 発表作品創作②【演習】	振り付けを検討する			事前学習	発表内容の検討		
				事後学習	発表内容の作成		
⑪ 発表作品創作③【演習】	振り付けを共有する			事前学習	発表内容の検討		
				事後学習	発表内容の作成		
⑫ 発表作品創作④【演習】	見せ方を検討する			事前学習	発表内容の検討		
				事後学習	発表内容の確認		
⑬ 研究発表【演習】	作品のイメージを深めた創作表現を行う			事前学習	発表内容の確認		
				事後学習	発表内容のまとめ		
⑭ 研究内容 まとめ・考察【講義】				事前学習	統一的に復習		
				事後学習	試験内容の確認		
⑮ 試験・講評				事前学習	試験内容の確認		
				事後学習	講評内容の確認		
学習上の留意点	<p>以下の点に留意して、授業に臨んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育者として実技ができるように、習慣的に復習すること。 ・目標をもって基本を身につけること。 <p>*授業は実技を中心に行う為、運動着・運動靴を着用してください。忘れた場合は必ず申し出ること。</p>						
成績評価の方法	・定期試験	50%	教科書	特に指定しない			
	・授業参加状況・態度	30%					
	・研究発表	20%	参考資料	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」各解説書 「幼児のうたとあそび」 配布プリント			

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	集中	授業形態	実習	単位数	2単位
科目名	保育実習 I (児童福祉施設等)			担当教員	川上 恭代	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> 施設での体験的な学びの中で子どもや利用者を理解し、実践的な保育・養育・支援方法を学ぶ。 施設の役割や施設保育士の職務や役割について学ぶ。 実習を通して自己覚知をすることで、自己課題を明確化し、今後の学びに繋げる。 						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> 保育実習指導 I (児童福祉施設等)やその他の福祉系科目を中心に学んだ知識や技術を反映させ、積極的に取り組む。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 机上での学びと合わせて、現場での応用力や福祉的な視点を養う。 子どもや利用者、施設職員の様子を観察し、一つひとつの支援や援助の意味や意図を考察する。 						
授業のながれ	<ul style="list-style-type: none"> 実習の期間 後期の定期試験終了後から3月末まで(春休み)の期間に、宿泊実習の場合は8泊10日、通いの実習の場合は10日間実施。 実習の内容 子どもや利用者の生活支援を主とした実習を行う。 施設により、指導実習(部分)や宿直体験を行うこともある。 事前訪問 実習施設の概要および方針、周りの環境や実習時に必要な物品等を確認し、実習に備える。 実習施設の入所児者や利用者、職員の様子を知り、実習に向けての気持ちを高める。 事前課題が提示された場合、期日までに準備し、取り組む。 実習施設巡回指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習施設を訪問する。 施設の実習担当者と教員が面談した後、実習生は現地で教員の指導を受ける。 事後訪問 最終日の実習記録や「実習を終えて」等を記入し、原則、実習施設に持参する。 受け取り日や方法については、実習施設の指示に従う。 						
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 社会人・実習生としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 実習施設と学校へ必要に応じて「報告・連絡・相談」をする。提出物は期限を厳守する。 実習施設で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。 <p>注:本校が定める「実習実施基準」により実施の可否を判断する。</p>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 実習施設の評価を基に実習記録、巡回指導時の状況、報告会を含む実習の取り組み状況を勘案して評価する 最終的には保育実習 I (施設実習・第一回保育所実習)および保育実習指導 I の授業を合わせて評価する 			教科書	<ul style="list-style-type: none"> 「教育・保育実習テキスト」 「保育士をめざす人の福祉施設実習 第2版」 愛知県保育実習連絡協議会他(編)みらい 		
				参考資料	<ul style="list-style-type: none"> 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」 		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	保育実習指導 I (児童福祉施設等)			担当教員	川上 恭代	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	・保育実習 I (児童福祉施設等)とは、これまでに学んだ知識や技術を元に保育の応用力を養う機会である。そこで、本科目では実習に備え、各施設の役割、目的、援助の方法や必要な視点などの基礎的事項について学び、実習への自己学習課題を明確化していく。						
一般目標	・福祉施設及び子ども・利用者への正しい理解と知識を身に付ける。 ・子どもや利用者への内面への共感的理解のあり方を考える。						
到達目標	・多様な施設の現場の実情を学び、事例検討をする中で、施設で生活する子どもや利用者を理解し、様々な視点による支援や援助のあり方を学ぶ。						
授業のながれ	回数 [授業内容]	課外学習					
	① 保育実習の意義～実習の目的～	事前学習 事後学習	教科書該当部分 予習 実習の目的の復習				
	② 保育実習の意義～実習の概要～	事前学習 事後学習	教科書該当部分 予習 実習の概要の復習				
	③ 実習の内容	事前学習 事後学習	教科書該当部分 予習 各指導、支援の意味や意図の復習				
	④ 実習課題の明確化	事前学習 事後学習	教科書該当部分 予習 課題設定の整理				
	⑤ 実習に際しての留意事項 ～人権と最善の利益について～	事前学習 事後学習	人権、最善の利益の意味調べ 子ども・利用者の最善の利益の復習				
	⑥ 実習に際しての留意事項 ～プライバシーの保護と守秘義務～	事前学習 事後学習	プライバシー、守秘義務の意味調べ 施設での守秘義務の意味と重要性の復習				
	⑦ 実習に際しての留意事項 ～実習生としての心構え～	事前学習 事後学習	教科書該当部分 予習 自らの課題と目標の整理				
	⑧ 施設実習とは	事前学習 事後学習	教科書該当部分 予習 養護系、障害系の施設の復習				
	⑨ 施設での生活と子ども・利用者の理解	事前学習 事後学習	教科書該当部分 予習 実習施設について調べる				
	⑩ 施設実習の事前準備(1) 事前訪問と報告書について	事前学習 事後学習	教科書該当部分 予習 各実習グループでの打ち合わせ				
	⑪ 施設実習の事前準備(2)「朋」から学ぶ	事前学習 事後学習	「朋」施設実習を考える 予習 実習生アンケートから自身の生活を見直す				
	⑫ 施設実習の事前準備(3)実習計画と心構え	事前学習 事後学習	教科書該当部分 予習 施設実習計画書の作成				
	⑬ 施設実習の事前準備(4)記録の書き方	事前学習 事後学習	教科書該当部分 予習 記録の書き方の整理及び復習				
	⑭ 施設実習の事後指導 ～実習における学び(反省と課題等)～	事前学習 事後学習	教科書該当部分 予習 実習に向けての目標及び課題確認				
⑮ 試験・まとめ	事前学習 事後学習	これまでの学びの復習及び確認 試験内容の振り返り					
学習上の留意点	・授業を通して、実習生(保育者)としての在るべき姿勢や態度に自ら気付き、身に付くように努力すること。 ・教科書・テキストを毎回持参し、授業で配付する資料は必ずファイルに綴じて保管すること。 ・日頃から社会福祉に関心を持ち、新聞や関連書籍を読み理解を深めること。 ・積極的に授業に取り組み、提出物は期限を厳守すること。						
成績評価の方法	・定期試験 70% ・提出物 30%			教科書 参考資料	「教育・保育実習テキスト」 「保育士をめざす人の福祉施設実習 第2版」 愛知県保育実習連絡協議会他(編)みらい		
	上記に平常点(授業参加状況や受講態度等)を勘案して評価する。				・「保育所保育指針」 ・「保育所保育指針解説」		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	集中	授業形態	実習		単位数	2単位
科目名	保育実習 I (保育所等)			担当教員	加藤 由美		保育士として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の役割や機能を具体的に理解し、保育実践の基礎的な力を身につける。 ・保育所保育の実際を体験的に理解し、自己課題を明確にする。 							
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・観察及び参加実習を通して、子どもの実態と保育所保育について理解する。 ・既習の教科目の内容を踏まえ、専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する力の基礎を養う。 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や子どもとのかかわりを通して、子どもへの理解を深める。 ・既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育について理解している。 ・保育の計画、観察、記録及び自己評価について具体的に理解している。 ・自分の反省点や課題を見つけて、今後の保育につながるようにする。 							
授業のながれ	[授 業 内 容]							
	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の期間 前期7月に10日間実施。 ・実習の内容 観察実習・参加実習を行う。 状況に応じて部分実習・半日実習を行うこともある。 ・事前訪問 実習開始の約3週間前までに実施。 実習園の概要および実習方針を知る。 ・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に 本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。 教員と園長・実習担当者等との面談後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 ・事後訪問 実習終了後、すみやかに実施する。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に持参する。 							
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・積極的・意欲的に実習に取り組む。 ・実習園と学校に必要なに応じて「報告・連絡・相談」をする。 ・実習園で知り得た個人情報等の守秘義務を遵守する。 <p>注: 本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。 実習に臨む姿勢や未提出課題等事前準備が整わない場合は、実習を見送る場合がある。</p>							
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実習園の評価を基に実習記録、巡回訪問指導時の状況、オリエンテーションを含む実習の取り組み状況を勘案して評価する。 			教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・「保育の活動・遊び パーフェクトガイド」 ・「教育・保育実習テキスト」 ・「あかちゃんふれあい実習テキスト」 ・「保育所保育指針解説」 			
				参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・実習関係書類 			

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	保育実習指導 I (保育所等)			担当教員	加藤 由美	保育士として実務経験有	
全体目標	・保育実習 I の意義や目的を理解し、実習に対する目的意識を高めるとともに保育所等における保育士等の役割や子どもへの援助方法など基礎的な事項について学ぶ。						
一般目標	・保育実習 I の意義や目的を理解し、実習に臨む心構えを持って取り組む。 ・子どもの最善の利益の具体化に向けた保育士の役割について理解し、保育実習 I における必要な知識、技能、態度等を総合的に習得する。						
到達目標	・保育実習 I の意義、目的を理解する。 ・実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。 ・実習園における子どもの人権と最善の利益の考慮、守秘義務等について理解する。 ・実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。 ・事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。						
授業のながれ	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	あかちゃんふれあい実習 I	事前学習	「あかちゃんふれあい実習テキスト」を読む	事後学習	3歳未満児の発達過程を知る	
	②	あかちゃんふれあい実習 I	事前学習	3歳未満児の発達過程を知る	事後学習	3歳未満児の発達過程を知る	
	③	あかちゃんふれあい実習 I	事前学習	3歳未満児の発達過程を知る	事後学習	3歳未満児の発達過程を知る	
	④	あかちゃんふれあい実習 I	事前学習	3歳未満児の発達過程を知る	事後学習	実習記録を作成し、実習を振り返り考察する	
	⑤	オリエンテーション 実習の意義と目的の理解 赤ちゃんふれあい実習の振り返り(乳児保育について)	事前学習	教育・保育実習テキストを読む	事後学習	乳児保育について整理する	
	⑥	保育所保育の役割及び保育内容の理解 事前訪問について確認及び実習書類の作成	事前学習	保育所保育の特徴について調べる	事後学習	実習書類の清書	
	⑦	養護と教育の一体化の理解 実習の心構え及び自己課題について	事前学習	保育所保育指針の該当箇所を読む	事後学習	自己課題を明確に心構え作成	
	⑧	実習記録の意義と書き方の理解(1) 保育の流れの記録	事前学習	実習記録の書き方の確認	事後学習	場面を捉えた実習記録作成	
	⑨	実習記録の意義と書き方の理解(2) エピソード記録	事前学習	教育・保育実習テキストを読む	事後学習	エピソード記録の作成	
	⑩	指導実習について 指導案の意義と書き方の理解	事前学習	指導実習の内容について考える	事後学習	指導計画立案について復習	
	⑪	指導実習について 児童文化財を使った指導実習の実際	事前学習	児童文化財の選定	事後学習	指導計画立案	
	⑫	指導実習について グループ内での模擬保育	事前学習	模擬保育の練習	事後学習	模擬保育の振り返り	
	⑬	実習直前指導 実習中の留意点及び実習後の対応について	事前学習	実習に向けての準備の確認	事後学習	実習準備	
	⑭	保育実習 I の総括と自己評価 実習の振り返り及び保育実習 II に向けての課題の明確化	事前学習	実習記録等をまとめる	事後学習	PDCAサイクルをもとに課題を明らかにする	
⑮	試験とまとめ	事前学習	授業の復習	事後学習	試験の内容を振り返る		
学習上の留意点	・授業には積極的に取り組み、事前準備や学んだことを復習して実習についての理解を深める努力をすること ・乳児及び幼児や保育所保育に関心をもって、保育者を目指すものとして自覚をもって学ぶこと ・日頃から「保育所保育指針解説」を見るようにし、内容について理解すること ・課題や提出物は丁寧に作成し、見直し確認したうえで必ず期限内に提出すること						
成績評価の方法	授業参加状況 (出席状況・授業の取り組み姿勢・グループワーク等)	30%	教科書	「教育・保育実習テキスト」 「あかちゃんふれあい実習テキスト」 「保育の活動・遊びパーフェクトガイド」わかば社 「保育所保育指針解説」厚生労働省編 フレーベル館			
	課題等の提出及び内容 定期試験	40% 30%		参考資料	「0・1・2歳児の子どもの姿ベースの指導計画」フレーベル館 「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」 萌文書林 「0～2歳児編 ワークで学ぶ子どもの『育ち』を捉える保育記録の書き方」中央法規		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	集中	授業形態	実習	単位数	2単位
科目名	保育実習Ⅱ			担当教員	加藤 由美	保育士として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の役割や機能について、具体的な保育実践を通して理解を深める。 ・保育所保育の実践を体験的、総合的に理解し、自己課題を明確にする。 						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・参加及び指導実習を通して、子どもの実態と保育所保育と保育所の役割を理解する。 ・既習の教科目や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する力の基礎を身につける。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育の理解を深める。 ・既習の教科目や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援について総合的に理解する。 ・保育の計画、実践、記録及び自己評価等について、実際に取り組み、理解を深める。 ・保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて理解する。 ・実習における自己の課題を明確化する。 						
	[授 業 内 容]						
授 業 の な が れ	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の期間 後期9～10月に10日間実施。 ・実習の内容 参加実習に加え、指導実習(一日)を行う。 状況に応じて半日実習・部分実習を数回行うこともある。 ・事前訪問 夏休み中に実施。 実習園の概要および実習方針を知る。 ・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。 教員と園長・実習担当教諭等との面談後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 ・事後訪問 実習終了後、すみやかに実施する。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。 						
学 習 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・積極的・意欲的に実習に取り組む。 ・実習園と学校に必要に応じて「報告・連絡・相談」をする。 ・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。 <p>注:本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。 実習に臨む姿勢や未提出課題等事前準備が整わない場合は、実習を見送る場合がある。</p>						
成 績 評 価 の 方 法	実習園の評価を基に実習記録、巡回訪問指導時の状況、オリエンテーションを含む実習の取り組み状況を勘案して評価する。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・「保育の活動・遊び パーフェクトガイド」 ・「教育・保育実習テキスト」 ・「あかちゃんふれあい実習テキスト」 ・「保育所保育指針解説」 				
		参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・実習関係書類 				

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	保育実習指導Ⅱ			担当教員	加藤 由美	保育士として実務経験有	
全体目標	・保育実習Ⅱの意義や目的を理解し、保育について総合的に理解するとともに実習に対する自己課題を明確にする。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人権と最善の利益の尊重、個人情報保護と守秘義務について理解を深める。 ・保育所の保育を実際に体験し、保育士として必要な資質・能力、知識や技能など保育の実践力を身につける。 ・保育士の専門性と職業倫理について理解する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習Ⅱの意義、目的、内容を理解し、保育について総合的に理解する。 ・保育実習Ⅰや既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。 ・保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。 ・実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。 						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	あかちゃんふれあい実習Ⅱ			事前学習	「あかちゃんふれあい実習テキスト」を読む	
					事後学習	子どもの育ちを理解する	
	②	あかちゃんふれあい実習Ⅱ			事前学習	子どもの育ちを理解する	
					事後学習	子どもの育ちを理解する	
	③	あかちゃんふれあい実習Ⅱ			事前学習	子どもの育ちを理解する	
					事後学習	子どもの育ちを理解する	
	④	あかちゃんふれあい実習Ⅱ			事前学習	子どもの育ちを理解する	
					事後学習	実習記録を作成し、実習を振り返り考察する	
	⑤	保育実習Ⅱの意義と目的の理解 子どもの最善の利益を考慮した保育について			事前学習	保育所保育指針解説第1章総則を読む	
					事後学習	心構え作成に向けて保育実習Ⅰを整理する	
	⑥	実習内容の理解及び心構え作成 事前訪問について			事前学習	教育・保育実習テキストの該当箇所を読む	
					事後学習	事前訪問準備をする	
	⑦	保育の知識・技術をいかした保育実践 ① 実習記録(保育の流れ)の作成について			事前学習	教育・保育実習テキストの該当箇所を読む	
					事後学習	子どもが主体となるような援助を理解する	
⑧	保育の知識・技術をいかした保育実践 ② エピソード記録について			事前学習	教育・保育実習テキストの該当箇所を読む		
				事後学習	子どもの姿を肯定的に捉えた記述を理解する		
⑨	保育の具体的な計画と実践① 指導計画の作成			事前学習	指導実習の内容を考案する		
				事後学習	指導計画を作成する		
⑩	保育の具体的な計画と実践② 模擬保育及びグループワーク			事前学習	模擬保育の準備をする		
				事後学習	模擬保育について考察する		
⑪	保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善 模擬保育の評価反省			事前学習	保育所保育指針解説第1章総則を読む		
				事後学習	実習の事前準備をする(手遊び・絵本など)		
⑫	保育士の専門性と職業倫理についての理解 実習直前オリエンテーション			事前学習	保育所保育指針解説第1章総則を読む		
				事後学習	実習に向けての準備をする		
⑬	実習の総括及び評価 実習の振り返り(実習体験交流)			事前学習	保育実習Ⅱの体験をまとめておく		
				事後学習	保育実習Ⅱにおける学びと課題を整理する		
⑭	実習の総括と評価 実習事後レポート作成			事前学習	保育実習Ⅱにおける学びと課題を整理する		
				事後学習	実習事後レポート作成		
⑮	課題の明確化			事前学習	実習事後レポート作成		
				事後学習	実習事後レポート提出		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業には積極的に取り組み、事前準備や学んだことを復習して実習についての理解を深める努力をすること ・乳児及び幼児や保育所保育に関心をもって、保育者を目指すものとして自覚をもって学ぶこと ・日頃から「保育所保育指針解説」を見るようにし、内容について理解すること ・課題や提出物は丁寧に作成し、見直し確認したうえで必ず期限内に提出すること 						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参加状況 (出席状況・授業内での取り組み姿勢・グループワーク等) 30% ・課題等の提出及び内容 50% ・実習事後レポート提出及び内容 20% 			教科書	「教育・保育実習テキスト」 「あかちゃんふれあい実習テキスト」 「保育の活動・遊びパーフェクトガイド」わかば社 「保育所保育指針解説」厚生労働省編 フレーベル館		
				参考資料	「0・1・2歳児の子どもの姿ベースの指導計画」 フレーベル館 「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」 萌文書林 「0～2歳児編 ワークで学ぶ子どもの『育ち』を捉える保育記録の書き方」 中央法規		

シラバス(授業計画)

部	昼間部	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	保育実践演習			担当教員	村上 友香		
全体目標	保育者としての自らの課題を見つけ、それを解決する具体的な手立てを考えることができる。						
一般目標	①これまでの学内・学外での学びを振り返り把握する。 ②保育に関する現代的課題について情報を収集して現状を分析し、その課題への対応を考察する。 ③①、②を踏まえ、自己の課題を明確化する。						
到達目標	①これまでの学習の振り返りを通じて、さらに学びを深めたい関心のあるテーマを見つけ、自ら問いを立て、解決すべき課題を見つける。 ②自ら立てた問いに関連する現状や背景、その課題解決の方向性及び具体的方法等について検討する。 ③適切な情報の収集・整理・分析の方法について理解する。 ④研究発表や討論を行うことで、自身の習得した知識・技術等を確認し、自己の課題を把握する。						
授業のながれ	回数	[授業内容]		課外学習			
	① オリエンテーション	事前学習	これまでの学習の振り返り	事後学習	自身の研究関心を探る		
	② 研究テーマの検討(1) 自身の研究関心を探る	事前学習	自身の研究関心を探る	事後学習	先行研究を探す		
	③ 研究テーマの検討(2) 先行研究を探す	事前学習	先行研究を探す	事後学習	研究テーマを決定する		
	④ 情報収集(1) 文献	事前学習	研究テーマに関する文献を収集する	事後学習	文献による情報収集の特徴を理解する		
	⑤ 情報収集(2) インターネット	事前学習	研究テーマに関するインターネット上の情報を収集する	事後学習	インターネットによる情報収集の特徴を理解する		
	⑥ 情報整理・分析(1) 読み方のヒント	事前学習	収集した情報を理解・整理する	事後学習	読み方のヒントを踏まえ、収集した情報を見直す		
	⑦ 情報整理・分析(2) クリティカルシンキング	事前学習	収集した情報を理解・整理する	事後学習	クリティカルシンキングを働かせた読み方をする		
	⑧ 資料作成・発表準備(1) 発表の流れをつくる 中間発表	事前学習	収集・分析した情報をもとに、発表課題を設定する	事後学習	発表課題にもとづいた構成を考える		
	⑨ 資料作成・発表準備(2) 資料作成のルール	事前学習	収集した情報を精査し、発表資料を作成する	事後学習	資料作成のルールにもとづいて自らの資料を確認する		
	⑩ 資料作成・発表準備(3) 聞き手を意識する	事前学習	発表方法を考える	事後学習	聞き手を意識して発表方法を見直す		
	⑪ 発表(1) 子どもの発達理解	事前学習	発表の練習	事後学習	自分以外の人の発表から自らを振り返る		
	⑫ 発表(2) 保育の計画、方法、評価	事前学習	発表の練習	事後学習	自分以外の人の発表から自らを振り返る		
	⑬ 発表(3) 子育て支援	事前学習	発表の練習	事後学習	自分以外の人の発表から自らを振り返る		
	⑭ 発表(4) 保育のこれからの課題	事前学習	発表の練習	事後学習	自分以外の人の発表から自らを振り返る		
⑮ 研究経過の振り返りとまとめ	事前学習	これまでの学習の振り返り	事後学習	自己課題を明確にし、改善の見通しを立てる			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文献やインターネットの情報のみでなく、積極的にインタビューやアンケートなどの調査を行うこと。 ・ 発表資料は、Word等のソフトを利用してPCで作成すること。 ・ 発表準備は、グループで協力して行うこと。 ・ 発表は、聞き手を意識しわかりやすいものを心がけること。 						
成績評価の方法	発表	40%	教科書	参考資料			
	研究過程での取り組み 提出物等	30%					
	以上を総合的に評価する			・石黒圭『この1冊できちんと書ける！ 論文・レポートの基本』日本実業出版社、2012年 ・中島常安・清水玲子編著『事例からみえる子どもの育ちと保育—保育・教職実践演習のために—』同文書院、2015年 ・山田剛史・林創『大学生のためのリサーチリテラシー入門—研究のための8つのカー—』ミネルヴァ書房、2011年			

_____ コース 年 組 番

氏名 _____